2024年夏季
日本語キャンプ

東海×甲南×愛知県立









東海大學　日本語言文化學系
甲南大学　日本語教員養成課程
愛知県立大学　日本語教員課程

日本語キャンプを通して実習生とともに成長

張瑜珊（東海大学）

担当教師になって 3 年目、2022 年のコロナ禍におけるオンライン実習、そしてコロナ後の 2023 年の対面実習を経て、ようやく 2024 年の実習は、実習生の最大人数（東海大学 9 名、甲南大学 6 名、愛知県立大学 8 名）を迎え、無事に開催・終了することができました。

昨年に引き続き、内容言語統合型学習（CLIL：Content and Language Integrated Learning）を実習生に挑戦してもらいました。私が指導担当したクラスは、既修者からゼロスタートの受講者が多い入門クラスであり、試行錯誤の連続でした。初心者の受講者に対して 50 音を逐一教えずに、5 日間という限られた期間でどのように内容から文法項目を抽出し、一つの大きなテーマに基づいて 5 日間の授業をデザインすべきか、私は緊張しながら実習生を見守っていました。時には、手を放して実習生の創造力に委ね、そのアイディアに感銘を受けることもありましたが、一方で、自分のアイディアを強く押し付けて、授業内容をコントロールしてしまうこともありました。このように過度な介入に葛藤を感じながらも、CLIL の理念に則り、日本語キャンプらしい学習デザインを参加者に提供すべきだと考え、ついつい手を出してしまいました。

入門クラスを担当して今回得た一つの大きな収穫は、「旅行日本語」というテーマにおいて、実習生と教案を検討する中で、各場面で共通する文型や単語が実は非常に多いということに気づいたことです。つまり、短期間の中でも場面は変わるものの、これらの文型を学習することで（あるいは、チャンクとして覚えることで）、参加者に達成感をもたらすことができる日本語学習が可能であるということです。当然ながら、我々の CLIL クラスでは、日本語を教えるだけでなく、情報収集の方法、インターネット情報の活用方法、地図の読み方、計画の立て方、意見の述べ方なども各授業に組み込んでいました。

今年は実習生が多かったため、3 つのクラスを設けました。オンラインでの全体会議の時間はあったものの、細部まで情報を共有することは難しく、指導教師が自分のクラス以外でどのような内容が行われていたかを十分に把握できていなかったと思われます。これは少々残念な点です。また、1 クラスあたり実習生が 7 名から 8 名と多く、その中での関係づくりは以前に比べて複雑だったのではないかと思います。特に、東海大学の学生たちは母語ではない日本語でコミュニケーションを取るため、従来と同様の困難に直面しましたが、IT 技術の進歩によって、Teams の会議中にライブキャプションを利用し、音声で聞き取れない内容を文字で追うことができました。このように、多文化交流が新しい時代に適応していることに感銘を受けました。

毎年の日本語キャンプを通して、一つひとつ新しいことを身につけ、新たな気づきを得られることを楽しみにしています。

東海大学での「初仕事」を終えて

菅田陽平（東海大学）

この文章を書きながら、「日本語教育実習」を振り返ってみると、たくさんの光景が浮かんできます。特に、3 大学からそれぞれ集まってきた実習生の皆さんの表情が鮮明に思い出されます。

初めてのオンライン会議での皆さんの緊張した表情（実は、私自身もかなり緊張していました！）、先生方からのフィードバックに戸惑う表情、そして、長時間にわたる議論の末にテーマや授業の方向性が固まった時の安堵の表情、8 月 22 日、東海大学の教室に皆さんが一堂に会した時の期待に満ちた表情……。

そして、いよいよ始まった実習授業――準備万端のはずだったのに、予想外の質問に面食らい、必死にフォローを試みる表情、説明がうまく伝わらない時の焦りの表情、それでもやり切ろうとする熱意にあふれた表情、授業を終えた後のほっとしたような表情、授業後に反省点を話し合う時の真剣な表情、ミルクティーを飲みながら、夜の自由時間に雑談に興じる楽しげな表情、これ以外にも数え上げればきりがありませんね。

それに、各クラスの受講生の皆さんの表情も日に日に豊かになっていきました。初日はやや身構えるような様子もありましたが、授業が進むにつれて、そして、理解が深まっていくにつれて、笑顔が増えていきました。実習生の皆さんの説明に耳を傾け、目を輝かせながら質問する姿、授業後に感謝の言葉を伝えようとする少し恥ずかしげな表情、きっと受講生の皆さんにとっても、忘れられない 5 日間になったことでしょう。

今回の日本語教育実習を通して、実習生の皆さんには、きっとたくさんの発見があったはずです。そして、この実習が「何かを教える・学ぶというのは、そもそもどういうことなのか？」ということについて、振り返る機会にもなったとしたら、嬉しく思います。私自身、日本語教師として活動する中で、外国語の教え方に「絶対の正解」はないという気持ちを年々強くしています。確かに、教授内容について、事前に十分な下調べをして、「わかりやすい」内容説明の準備が大事だとわかっていても、それが実現したところで、授業が必ずうまくいくというわけではないですよね。教師の表情や視線、立ち位置や身体の向きだったり、学習者に寄り添うちょっとした一言だったり、学習者が「よしやってみよう！」と思えるようなワークの導入だったり、教室の机や席の配置だったり、教師のやり方に違和感を持った時に、学習者が「異議申し立て」ができるような雰囲気づくりだったり、複数の要素が複雑に絡み合い、それが授業の成否を左右するのだと思います。

授業準備や授業実践を通して、実習生の皆さんが、こうした要素に気づき、自分たちに何ができるのかを考えること、こうした過程は、たとえ将来日本語教師にならなくても、実習生の皆さんのこれからの生活に何らかの形で学びとして残っていくのではないでしょうか。それは皆さんがどんな仕事を選んでも、或いは、どんなフィールドを選ぶにしても、私たちが他者との関係性の中で生きている以上、試行錯誤しながら、誰かに働きかけて関係を築いていくという行為から離れることができないからです。

今回の日本語教育実習は、記念すべき（！）東海大学での初めての仕事になりました。約3か月にわたるプロジェクトに参画し、いっしょ考える時間を得る中で、私自身、日本語学習に奮闘する学習者の皆さんに対するリスペクトの気持ちが改めて芽生えたように感じています。先生方、実習生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、心から感謝しています。どうもありがとうございました。

ことばを使って考える授業づくりのために私たちは何をすべきか

野々口ちとせ（甲南大学）

2024 年度の台湾東海大学での日本語教育実習は，昨年度に引き続き，あるテーマについて日本語や中国語など自分たちの持てることばのすべてを使って考える授業づくりを目指しました。これは，聞く・話す・読む・書くといった言語の4技能を中心としたコミュニケーション能力に加え，言語の重要な機能である〈思考〉も重視する日本語教育への挑戦です。ともすれば，海外における日本語教育は，日本や日本文化の「広報」のような役割を担いがちですが，そうではなく，台湾の人々と日本の人々との間で異なる見方や意見を交わすことで，自分の考え方を広げたり深めたり変えたりしていく，そのために言語を使いながら学ぶ言語教育に私たちは挑んでいます。

私は，昨年度の実習報告書のふり返りに「何のために、どのような内容について、どのような問いを設定し、どのような働きかけをしながら学習者とともに思考を深めるのか」という課題を挙げました。思考を重視する日本語教育では，まずは実習生自身が，何のために何をどのように考えるかに取り組まなければなりません。これは実習生が現状をどう認識し，その現状の中で自分はどう歩んでいきたいかを思考することから始まると考えられます。

しかし，東海大学に全員が集まる前のオンライン・ミーティングで，内容について深く話し合うことは容易ではありません。対面で会ってからオンラインという順番なら，オンラインでももう少し打ち解けて話し合えるかもしれませんが，オンラインで初対面の学生同士が議論を進めるのには，何かしらの工夫が必要だということが，実習生への聞き取りからわかりました。3 つの大学の実習生と教員全員の都合の合う時間帯は限られており，頻繁に全体ミーティングをするのは困難です。また，実習指導教員として私自身が，クラスで取り上げたい内容について実習生とともに考えることができたかについても改善すべき点があると感じています。教壇実習の直前の準備では技術面の確認と改善に時間がかかりがちなので，渡台前に，クラスで取り上げる内容について実習生と教員が一緒に考える時間をより多く持つ必要があります。まずは各大学において，対面で実習生同士が教員とともに授業内容を検討し，話し合いを通して各自がじっくり考えた上で，それをオンライン・ミーティングで検討するという形を追求することが次の目標だと考えます。

一方，今年度の実習で達成できたことは，まず，実習生が全員体調をひどく崩すことなく，自分たちで計画した授業を無事に実施できたという点です。普段とは異なる環境下で，各々が持てる力を十全に発揮することは最も大切な到達目標です。また，東海大学に集合してからは，3 大学の実習生が協働で作業を進めることを通して仲間意識を育み，上手に支援を求めたり，互いのアイデアや実践から学び合ったりする様子が窺えました。さらに，観光や食という身近なテーマから，異文化理解だけでなくグローバル化によって生じている社会的な問題を授業で取り上げることもできたのはとても大きな収穫でした。この種を次年度以降に大きく育てていきたいと思います。

学習者と実習生を見守るという教師の実践

東　弘子（愛知県立大学）

2024 年、愛知県立大学にとって 2 回目となる台湾での日本語教育実習でした。三大学国際協働学習に昨年度から参加したものの、昨年度は渡航直後に引率教員の私が感染症によりほぼ戦力外となり、さらに実習生のほうも 3 名のうち 2 名が体調を崩してしい、あれだけオンラインで事前準備をして臨んだにもかかわらず、現地では、ただただ涙をのむ、といった経験をすることになりました。世界的なパンデミックを経た私たちに新たに課された責務を、身を持って突きつけられたことから、今年度は、何より「健康第一・安全第一」を、肝に銘じて臨んだ次第です。教員にとっては、このように翌年があるのですが、実習生にとっては唯一無二の経験です。まずは、大切に、丁寧に実施したいと考えました。

二度目の私にとっても、実質、今回が東海大学「日本語キャンプ」への初参加となったと言えるでしょう。まず、今回は定員を超える 10 名の応募があり、事前に選抜を行いました。コロナ以前のように国際交流に活発に取り組む風が大学においても感じられるようになってきており、そうした流れもあったのでしょうか。慣れた台中への渡航とはいえ、8 名という大グループの引率に、緊張感をもちつつ、まずは、安全面や衛生面を中心に、学内での準備を進めました。一方で、事前のクラス活動の指導のほうも、今年はクラス毎に教員一人の担当となり、それに関しても、日本語教育に関する専門性が不足している私だけで、はたして指導できるのか、といういささかの不安もありました。「初級 II」の担当を申し出たのは、高齢の学習者が多い可能性があると聞き、2022 年度の台中での研究滞在期間に高齢者の日本語学習者に関するフィールド調査をした経験から、それが生かせればと思ってのことでした。

事前指導や現場での指導については、「できるだけ笑顔で見守る」ことに徹しようとしました。「初級 II」の事前オンライン会議は、発言者が限られ、どちらかというと「おとなしい」会議で、とくに東海大学の学部生 2 人が、会議の場ではなかなか声を出せないでいました。彼らの学年を考慮すれば、もう少し配慮を持って介入すべきだったかもしれませんが、県大や甲南の学生もふくめ、実習生たちはみな自分のできることを考え、相互に敬意を持って着実に進めようという姿勢を持っていました。信頼できる学生たちだと確信し、「見守る」姿勢をとろうと決めました。いつも「ついつい口を挟んでしまう私にしては」、という自己評価なので、みなさんからしたら「結構お節介なことを言ってきた」とか、逆に「もっとちゃんと指導してほしかった」という評価を受けるかも知れません。実は、現在、東海大学の先生方との共同研究において、学習者の自律学習における教師役割をテーマにしており、その中で、活動の場を設計するという積極的な役割と共に、いかに「あえて介入しないか」ということの重要性を議論していることから、私なりに実践をしてみたつもりです。

シャイだったり積極的だったり、さまざまな個性をもった「初級 II」の学習者のみなさんでしたが、盛夏の中、毎日大学に足を運んで大学生と学ぼうという気持ちを、実習生がいかに受け止めて、ともに学ぶ場を醸成するかを重視したいと考えていました。毎日のふりかえり活動も大変でしたが、そこでの対話が、よいクラス活動に繋がっていたのだと感じています。こうした活動実践は、教員経験が長い私にとっても新たな学習の積み重ねとなっています。ともに学ぶ同志として、学習者、実習生、教員のみなさんに感謝申し上げます。

目錄

前言 1

目錄 5

活動海報 6

參與人員名單 7

入門クラス 8

入門クラス 会議記録 9

入門クラス 日程と担当一覧 13

第一日 15

第二日 26

第三日 37

第四日 49

第五日 60

アンケート集計結果（入門クラス） 70

初級一クラス 72

初級一クラス 会議記録 73

初級一クラス 日程と担当一覧 77

第一日 78

第二日 86

第三日 99

第四日 112

第五日 123

アンケート集計結果（初級一クラス） 131

初級二クラス 141

初級二クラス 会議記録 142

初級二クラス 日程と担当一覧 146

第一日 147

第二日 159

第三日 172

第四日 183

第五日 194

アンケート集計結果（初級二クラス） 207

實習生心得與反思 211

活動海報


東海大學
高等教育深耕計畫
Tunghai Higher Education Sprout Project
2024｜東海x甲南x愛知縣立大
日語學習營
在暑假的結尾
一起來跟日本及台灣的大學生
認識日本社會、快樂學日文
時間:8/23(五)~24(六)，8/26(一)~28(三)
共五日，早上9:00~12:00
地點:東海大學
報名請掃描下方表單QR碼，7/31(三)截止
完全免費，限額90名
不限年齡、程度，歡迎初學者參加
報名即代表五天全程參加
報名表單
負責人:彭嘉誠、廖凰君
電話:0970-705-189
LINE ID:tunghai2024

參與人員名單

		東海大學	甲南大学	愛知県立大学
指導老師		張瑜珊 菅田陽平	野々口ちとせ	東弘子
參與實習生	入門クラス	彭嘉誠 謝欣妤 曾品晶	ジョリーサンスステラ 佐藤和	朝岡沙月 村林芽明
	初級一クラス	黃妍欣 張家怡 吳沛恩	蓮井明莉 梶井万葉	井上稚葉 豊岡菜帆 前川礼奈
	初級二クラス	李妤柔 廖凰君 詹佳倩	駒橋由梨乃 西村穂香	手塚渚月 深田琴音 曾田優奈



入門クラス

入門クラス　会議記録

全體會議紀錄
時間：5/28
地點：Teams 線上會議
1. 參加者自我介紹。
2. 本次日語營形式與規則介紹。
3. 小組內自我介紹。

小組第一次會議紀錄
時間：6/7
地點：Teams 線上會議
1. 討論教學的大主題。
2. 決定大主題為「食物」;五日間的主題分別為「祭典的食物」、「活動的食物」、「日常生活的食物」、「伴手禮」、「結論、回顧」。

全體會議紀錄
時間：6/14
地點：Teams 線上會議
1. 決定要使用的教室。
2. 確認各組課程大主題、每日課程主題。

小組第二次會議紀錄(全體會議分組進行)
時間：6/14
地點：Teams 線上會議
1. 向老師說明教學的大主題及每日課程主題。

小組第三次會議紀錄
時間：6/25
地點：Teams 線上會議
1. 改大主題為「到老師們的家鄉旅遊」,並提案討論每日課程的主題。
2. 確立每日課程小主題分別為「大阪」、「神戶」、「愛知」、「北海道」、「角色扮演」。

小組第四次會議紀錄
時間：7/2
地點：Teams 線上會議
1. 討論每日授課流程大綱及課堂內小活動進行細節。
2. 改第五日主題為「製作旅遊計畫」。

小組第五次會議紀錄
時間：7/3
地點：Teams 線上會議

1. 討論每日授課流程大綱及課堂內小活動進行細節。
2. 討論第二天、第三天、第四天的第三節課的遊戲。

小組第六次會議紀錄
時間：7/8
地點：Teams 線上會議
1. 決定每節課的人員安排。
2. 討論自我介紹、提供給學員之課程內容。
3. 確定下次小組會議討論事項。

全體會議紀錄
時間：7/17
地點：Teams 線上會議
1. 確認各組每天的課程安排。
2. 確認各組最終發表形式。
3. 確認之後的全體會議時間。
4. 建立本次營隊執行人員之 LINE 群組。

小組第七次會議紀錄(全體會議分組進行)
時間：7/17
地點：Teams 線上會議
1. 向老師說明五日間的課程大綱。

小組第八次會議紀錄
時間：7/24
地點：Teams 線上會議
1. 討論第一天與第五天的內容

小組第九次會議紀錄
時間：7/31
地點：Teams 線上會議
1. 討論第五天的遊戲

小組第十次會議紀錄
時間：8/14
地點：Teams 線上會議
1. 向老師說明每日的教案內容。
2. 討論每日教案內容需再修改的地方以及如何修改。

小組第十一次會議紀錄
時間：8/16
地點：Teams 線上會議

1. 向老師說明第一、二日教案的修正案。

2. 討論第一、二日教案內容需再修改的地方以及如何修改。

全體會議紀錄
時間：8/18
地點：Teams 線上會議
1. 各班進度報告。
2. 確認日方兩校預計抵達時間與接機事宜。

小組第十二次會議紀錄(全體會議分組進行)
時間：8/18
地點：Teams 線上會議

1. 向老師說明第一、二日教案的修正案。

小組第十三次會議紀錄
時間：8/19
地點：Teams 線上會議
1. 確認第一、二日教案

小組第十四次會議紀錄
時間：8/22
地點：HT2 樓討論室
1. 五日課程模擬。

小組第十五次會議紀錄
時間：8/23
地點：HT2 樓討論室

1. 確認第一、二天授課內容、流程與教材。

小組第十六次會議紀錄
時間：8/24
地點：HT2 樓討論室
1. 確認第一日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十七次會議紀錄
時間：8/25
地點：HT2 樓討論室
1. 確認第二日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十八次會議紀錄

時間：8/26
地點：HT2 樓討論室
1. 確認第三日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十九次會議紀錄
時間：8/27
地點：HT2 樓討論室
1. 確認第四日回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第二十次會議紀錄
時間：8/28
地點：HT2 樓討論室
1. 確認第五日回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 完結心得分享。

全體會議紀錄
時間：8/28
地點：HT104
主持：張瑜珊老師
1. 各組活動整體概要。
2. 反省不足之處。
3. 完結心得分享。

入門クラス　日程と担当一覧

全体のテーマ：旅行 実際に使えるフレーズを学ぼう

	1 限目 9:00～9:50	2 限目 10:00～10:50	3 限目 11:00～11:50	午後 14:00～
8/23(金) 自己紹介 50 音の練習 五日間の計画説明	・自己紹介 ・50 音	「[OOOO] の1/ 2/ 3/4年生です」 「[数字]さいです」 「[OOOO] が好きです」 「すみません」 「ありがとうございます」 「おはようございます」 「さようなら」	・二日目から四日目授業の導入 ・旅行プランを説明する ・漢字から注意事項を推測する	反省会 次の日の授業内容の確認と教具の準備
	MT：彭嘉誠 AT：全員	MT：彭嘉誠 AT：全員	MT：彭嘉誠 AT：全員	
8/24(土) 大阪と神戸を旅行 移動で使えるフレーズ	・～から～まで ・「すみません、大阪駅に行きたいです。ホームはどこですか。」 ・「これは、三ノ宮まで行きますか。」	「(ループバスのバス停)はどこですか。」 「あそこ・ここです。」 「(1Day チケット)を買いたいです。」	RPG ゲームを通して、1限目と2限目で学んだ内容を応用する。	反省会 次の日の授業内容の確認と教具の準備
	MT：佐藤和 AT：全員	MT：ジョリーサンスステラ AT：全員	MT：曾品晶 AT：全員	
8/26(月) 愛知の紹介 レストランと買い物時使えるフレーズを	「〇人です」 「〇〇でお願いします」 「〇〇はありますか」 「〇〇をください」	「これ、お願いします。」 「～は要りません」	RPG ゲームを通して、1限目と2限目で学んだ内容を応用する。	反省会 次の日の授業内容の確認と教具の準備
	MT：朝岡沙月 AT：全員	MT：朝岡沙月 AT：全員	MT：曾品晶 AT：全員	
8/27(火) 北海道の紹介とホテルで使えるフレーズや単語	「N＋お願いします」 「チェックインお願いします」 チェックイン方法	「すみません」 「N はありますか？」 「N はどこですか？」 「何時からですか？」 「何時までですか？」 「Wi-Fi のパスワードを教えてください」	RPG ゲームを通して、1限目と2限目で学んだ内容を応用する。	四日目の反省会と五日目の授業準備 反省会 次の日の授

		「チェックアウトお願いします」 「荷物お願いします。大丈夫ですか」		業内容の確認と教具の準備
	MT：村林芽明 AT：全員	MT：村林芽明 AT：全員	MT：謝欣妤 AT：全員	
8/28（水） 5 日間のまとめ	RPG ゲームを通して、一日目から四日目で学んだ内容を応用する。	旅のしおり作成	修了式	
	MT：ジョリーサンスステラ、曾品晶 AT：全員	MT：佐藤和 AT：全員	MT：全員	

第一日

8月23日(金) 1日目　担当者名 MT:　彭嘉誠　AT:　全員

学習目標

内容 Contents

- ひらがなの読み方を学ぶ
- 挨拶と自己紹介を学ぶ
- 授業で使うフレーズを知る
- 簡単な日本の地理知識と旅行の注意事項を知る

言語 Communication

- ひらがなを読めること
- 簡単な日本語挨拶と自己紹介の練習
- 数字の練習

思考 Cognition

- 中国語の漢字と日本語の漢字の違いを理解する
- 日本で旅行する時注意すべきことを知る

協学・異文化理解 Community/Culture

- グループ内で自己紹介する
- 旅行に持っていきたいものをグループのメンバーと一緒に考える
- 日本語の漢字で注意事項を推測する

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0	全体	最初からグループごとに座る	プリントと50音表を配布する	名札
				スライド
		約束事: ・日本人の実習生は中国語をあまりわからない ・わからないとき手を挙げる ・わかるときは反応してください	授業前の約束	
1	教師		ATとMTの自己紹介 (事前で書いたテンプレを出す。3コマと一言を話す。日本語に訳す。)	スライド
5	教師		五日間の計画説明 (テーマは旅行、旅行用の日本語を教える。)	スライド
7	個人	学生にテンプレを埋めてもらう (年齢は教えたくないなら適当に	ATがサポートする	テンプレ

		数字をいれる。）		
12	グループ	グループ初対面と自己紹介 （三つを選んでグループに共有） 翻訳アプリとかで書いた中国語を実習生に伝える。	AT がグループ内の進行役で、話す人を指定する。	テンプレ
15	全体	日本語の挨拶を説明する ・はじめまして、[OOO]です。 ・よろしく お願いします。	日本人の実習生がお手本を見せる。 ・はじめましては初対面のとき使う ・最後は「よろしくお願いします。」	スライド プリント
20	全体	日本語で自己紹介する （名前は中国語を使ってもいい。）	グループ活動で、AT が進行する。 （初めて日本語しゃべるから、AT のサポートが必要）	スライド プリント
25	教師		「よくできました、それでは日本語の授業をします。」 「日本語は難しいですか？」 （色々な答えが出ると予測される。）	
26	全体	日本語ニュースを見て、キーワードをまとめて、話す	二分くらいで日本語で作成するニュースを見せる。 見ながらたくさんのキーワードが出てくる、「なんでわかるか？」と聞いてもいい。 「日本語は簡単ですよ。全然日本語が勉強しなくても意味が推測できるから。」	スライド
28	全体	日本語の文字種類を知る	日本語の文字種類を説明する。 「日本語は漢字のほかに、ひらがなとカタカナがある。 」	スライド

			説明：仮名は読み方を教えるもの、アルファベットや注音にあたる。 日本語で一番よくみるのはひらがな。草書からできていて、曲がりが多い。 外来語とかで使うが、頻度は高くない、今回は勉強しない。楷書かできていて、四角い。	
31	全体	50音の発音方法を勉強する 実習生の後に続いてリピート	50オン表を使って発音の説明 「あいうえお」との組み合わせ、簡単なものを言わせる。 （K と A を組むと「か」…） 50 音表は大事だよ。授業の中にわからない場合は引いてください。 （発音の手本は、日本人の実習生をお願いします。）	スライド 50音表
33	全体	いくつか単語の読み方を練習する。	学習者に単語の読み方を練習させる	スライド
35	全体	実習生の名前をリピートする。	実習生が自分の名前を言います。 リピートさせます。	スライド
37	個人	50音表を見ながら、自分の名前の読み方を探して、読んでみる	AT は学習者の名前が読めるようにサポートする	50音表
42	グループ	グループで挨拶を練習する（名前→日本語）		プリント
47	全体	中国語の漢字と日本語の漢字の違いを理解する	漢字の紹介（時間があれば） ・日本で使う漢字はちょっと違う。	スライド
50				

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 5	グループ	自己紹介を復習する。		プリント
7	教師		もっと複雑な自己紹介しましょう。 年齢を言うためになにが必要ですか？ （数字です）	スライド
12	教師		1～10の読み方を紹介する 十位数の規則を紹介する。 （補足として百とゼロ）	スライド
15	全体	実習生の後に続いてリピートする	発音の手本は、日本人の実習生にお願いします。 （一つの数字は二つの読み方がある。説明する方法は相談したいです。）	スライド
20	グループ	クイズ：数字の発音を練習しましょう。	6問がある。グループごとに一問を指定したい。	スライド プリント
28	全体	フレーズを練習する	三つのフレイズを紹介します。 ・[OOOO] の1／2／3／4年生です ・[数字]　さい　です ・[OOOO] が　好き　です ・好きなもの（名詞）は中国語を使ってもいい。	スライド プリント
38 40	グループ	自己紹介をもう一度見ましょう。 日本語を使って自己紹介しましょう！	AT は学習者が数字、自己紹介が言えるようにサポートする。 （自己紹介がはやく終わるグループは数字の練習。）	プリント
	全体			スライド

45 50	全体 全体	簡単な日本語で挨拶しましょう。 ・すみません ・ありがとうございます。 ・おはようございます ・さようなら これからの授業は、こんなフレーズが出てくるから、聞くたびに反応してください。 ・見てください ・聞いてください ・書いてください	使う場面を説明して発音の練習をする。 その場でお手本を見せることもする。 時間の余裕があると思います。何らかの形で練習させたい。	プリント スライド

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
2	教師		明日からの授業の導入 「それでは、日本旅行に行きましょう！」 ルールの説明 ・三時間目はロールプレイをします、勉強した日本語で頑張ってください。 ・最終日は発表会がある。	スライド
5	全体	日本旅行の知識と注意すべきことを分かる	旅行プランを説明する。 日本の地理を紹介する。 ・日本のエリア分け ・日本の気候 ・授業の旅のルート	スライド
10	グループ	スーツケースの画像（ポスター）を配って、旅行に持っていきたいものを書く。 ・必ずもっていくもの	AT がサポートして作成してもらう。	スーツケースの画像 カラーペン
15	グループ	・自分が持ってほしいもの		

		旅行に持っていきたいものをみんなの前に発表する		
20	教師			スライド
22			VISIT JAPAN WEB を紹介する ・日本へ旅行する前に記入すると、入国の手続きがはやくなる。	
	グループ			スライド
			習慣推測ゲームルール説明	
		グループメンバーと日本の面白い文化を推測して当ててください。	（問題2と5、サポートしてもいいが、日本語だけ。）	
		問題1：エスカレーター	・エスカレーターは右乗り？左乗り？	
		問題2：特急券	・なんで二つのチケットもらうの？	
			・なんで価格表示は二つあるの？	
		問題3：消費税	・免税品を日本国内で開封すると…	
		問題4：免税		
30			・なんで二つの税金表示があるの？	
	グループ	問題5：経験税率		日本語の注意事項
			ルールを説明しながら、ハンドアウトを配ってください。	
		もっと難しい推測ゲームしましょう		
			配点基準を教える。	
40			・TA はサポートしてもいいが、日本語しか話せない。	
		クエスト：日本語の漢字で注意書きを推測しましょう		
	全体			
50			答え合わせて、各グループの得点を計算する	
	全体	答え合わせる		
			大阪での写真があれば、持ってきてください。	
		大阪の旅行写真はありますか？（二日の授業との繋がり）		
			困る人に助ける。	
		アンケートの記入		

学習者アンケートの結果

授業の速さ→ちょうどよい：86.7%　やや遅い：13.3%

内容の難しさ→ちょうどよい：66.7%　やや易しい：20%　やや難しい：13.3%

授業の満足度→満足：66.7%　やや満足：26.7%　どちらでもない：6.7%

一日を通じての意見や感想：

初めて日本人とお喋りして、アニメから勉強した単語だけ使えるが、とても新鮮で、面白かったと思う。

実習生たちがとても優しいので、日本語の勉強はつまらなくならなって、もっと頑張りたいと思う。

1日目のふり返り

一緒に授業をするのは初めだ。最初はちょっと緊張したけど、先生からアドバイスを聞いて、その場でリアルタイムに修正ができた。二限目からはだんだん緊張感がほぐれて、学習者とATに指示をより明確に出して、ATとの連携も一限目より順調になった。

自己紹介シートは基本情報以外に好きな作品や音楽など入れてよかったと思った。初対面の学習者と実習生の間に話題を作ることができ、アイスブレイクに役立った。

三限目の意味推測のイベントはだいたい作問の予想通り進めていたが、少し難しいめの問題もある。学習者が話し合って、雰囲気は思った以上に盛り上がった。

一時間目

認識實習生

這幾天會由我們跟各位一起學習日文喔

破冰、自我介紹

- 請用三分鐘的時間完成這份自我介紹表
- 如果有任何困難都可以問旁邊的TA喔。

- 這五天裡面，你將要跟你的組員們合作...
- 選三個項目，互相分享自我介紹的表格，以及彼此的名字

日文自我介紹

- 試著用日文跟周圍的人打招呼吧

ha ji me ma shi te de su
- はじめまして、［ooo］です。

yo ro shi ku o nega i shi ma su
- よろしく　お願いします。

日文簡單嗎?
相信你看得懂

- 台風、明日、關東、最接近
- 交通機関、警戒
- 影響、高、期間



這篇新聞寫了什麼?

- 就算你完全不懂日文，也可以大概猜到這篇新聞的主題。
- 因為日文是除了中文圈之外唯一保留「漢字」的語言。
- 但是用法好像又跟熟悉的漢字不一樣?
- 除了漢字之外，日文還有「平假名」、「片假名」。

假名是什麼呢

- 英文有「ABC」，中文有「ㄅㄆㄇ」
- 日文有「あいうえお」
- 假名就是日文裡面的發音
- 就跟學英文要從26個字母開始學，日文要從50音開始。

發音

W	R	Y	M	H	N	T	S	K	
わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	a
	り		み	ひ	に	ち	し	き	い	i
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	u
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	e
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	o

- 母音「AIUEO」
- 跟各種不同的子音排列組合。
- R行不捲舌!

一起念念看

hoo mu ko u be
- 長音:月台（ほーむ）、神戶（こうべ）
  - 把母音延伸到下一拍!

me nyu u cyo u syo ku
- 拗音:菜單（めにゅー）、早餐（ちょうしょく）
  - 小字跟前面連起來念，變成一個音節!

一起念念看

ki ppu chike tto
- 促音：車票（きっぷ）、票券（ちけっと）
  - 有點像是停一拍的感覺!

ni kuman a n ma n
- 鼻音:にくまん　あんまん
  - 發出ㄣ的聲音，再加上一點鼻腔共鳴

ha ccyo u mi so raa me n
- はっちょうみそらーめん

二時間目

數字

0	100	1000
ze ro ぜろ	hya ku ひゃく	Senn せん

1	2	3	4	5
i chi いち	ni に	sa n さん	Shi/yon し/よん	go ご

6	7	8	9	10
roku ろく	shichi しち nana なな	hachi はち	kyu u きゅう ku く	jyu u じゅう

10	+1	=11
jyu u じゅう	i chi いち	jyu u i chi じゅういち

2	x10	+1	=21
ni に	jyu u じゅう	i chi いち	ni jyu u i chi にじゅういち

17	33	78

46	52	90

[自己的學校] no ichi ni sann yon nen sei de su

[0000]の1／2／3／4年生です

- 我是[學校]的[數字]年級生
- 學校的名稱可以用中文~

[數字] sa i de su

[數字] さい です

- 現在[數字]歲

[名詞] ga su ki de su

[0000] が 好き です

- 我喜歡....[名詞]

de su

です

- 上面的三句話有一個共通點.....全部都用「です」結束。
- 總之，日文只要加上「です」/「ます」(ma su)就很禮貌
- 所以我們會學的日文會常常看到這兩句話。

打招呼、上課的指示

Su mi ma se n

すみません

- 不好意思，對不起.....

a ri ga to u go za i ma su

ありがとうございます

- 謝謝你~

o ha yo u go za i ma su

おはようございます

- 早安
- 每天早上抵達教室之後，就可以用這句話跟大家打招呼

Sa yo u na ra

さようなら

- 再見~
- 每天要離開前可以用這句話道別

Mi te ku da sa i

見てください

- 請看這裡

Ki I te ku da sa i

聞いてください

- 請注意聽這邊

Ka I te ku da sa i

書いてください

- 請寫下.....

三時間目

規則說明

- 每天前兩個小時我們會學習在各種場面會用到的日文
- 在每天的最後一小時，我們會進行RPG遊戲
- 實習生們化身站員、店員，要用學到的日文努力溝通。
- 完成任務的時候會拿到分數，最後一天總計算。
- 可以拿到實習生們帶來的日本土產
- 最後一天要請大家自己安排旅遊行程，還會有一個挑戰。
- 如果拿到第一名??!





收行李

- 請大家在各組的海報上列出自己想帶的東西
- 什麼是出國旅行一定要帶的呢
- 什麼是自己想帶的呢?



接下來要請大家小組合作

- 去旅遊的時候會發現許多與台灣不一樣的地方，接下來要請大家與你的小組成員合作猜猜看。
- 前半部是熱身，後半部就會開始計分，請大家與組員同心協力達成任務吧!

手扶梯靠右?靠左?

- 在台灣，我們都習慣搭手扶梯的時候要靠右。
- 但是在日本，根據地區有不同習慣，例如東京靠左，大阪靠右。

「特急券」

- 搭乘部分列車的時候，要另外購買一張「特急券」才能上車

消費税

- 在日本，消費稅是10%。
- 大多時候，價格牌上會有兩個價格，「税込み」才是結帳時要付的錢。

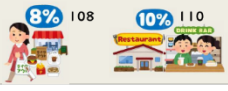


退税

- 外國人在日本購買滿5000日圓可以退稅
- 商品會封在一次性的袋子裡，紀錄跟護照綁在一起，離開日本前不能打開
- 打開了有機率被海關抽查，然後罰錢。

軽減税率

- 在餐廳內用跟外帶要付的稅金不一樣



推測這些規定的意思

- 接下來會發給各組3~5張有可能在旅行中看到的使用規定...
- 發揮台灣人看得懂漢字的特殊能力，推測這些規定的意思吧。
- 前四題一題一分，後兩題一題兩分，最後一題答對一點一分，如果全部答對會再追加一分。

第二日

8 月 24 日(土)2 日目　担当者名 MT: 佐藤和、ジョリーサンスステラ、曽品晶　　AT: 全員

学習目標

内容 Contents

- 公共交通機関を利用して移動をする際に仕えそうなフレーズを知る
- 大阪と神戸の特徴を知る

言語 Communication

- 「すみません」「○○たいです」「どこですか」「○○ますか」「あそこ・ここ」

思考 Cognition

- 複数ある目的地までのルートの中で、どれを使って行くかを考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- チームで協力して目的地を探す

1 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 分	全体		1 時間目で学内容を提示する	スライド
1 分		MT の自己紹介を聴く	自己紹介をする(名前と出身地)	
2 分		MT の説明を聴く	2 時間目では台湾→大阪→神戸の順番で旅行をするていで授業を進めていくことを伝える	
5 分		スライドを見る	大阪の観光スポットを地図とともに見せて、＜場所＞から＜場所＞までの導入をする。	
7 分		MT と AT の説明を聴く	台湾と日本が載っている地図を見せる 「ここは台湾です。ここは日本です。(地図を指しながら)」 「台湾から日本まで行きます。」 「台湾から日本まで 3 時間です。」	
10 分	個人 グループ	MT と AT の説明を聴く	日本語と中国語の語順の違いについての説明をする。 AT は中国語で説明する	
15 分	全体 全体グループ	QR コードを読み取って、関西空港から大阪駅までの行き方を検索する	AT は QR コードの読み取りがうまくいっていない学習者のフォローをする	スライド ハンドアウト スマホ
18		グループで、どの行き方で行きた	話し合いがうまくいっていない場合	

分		いかを決めて、理由とともに発表 発表をする/聴く	は AT が促す	
	全体		学習者の発表を聴く	スライド
		説明を聴く		
			「すみません、大阪駅に行きたいです。ホームはどこですか。」の解説をする	
20 分	全体 グループ	読む練習をする	フレーズを読む	
		MT の話を聞く	大阪駅周辺のおすすめの場所を紹介する	
30 分	全体			ハンドアウト
		ワークシートに、自分の行きたい場所とグループで行きたい場所を書く。	これまで出てきた大阪の場所の中で、自分が行きたい場所とグループで行きたい場所を決めてもらう	
40 分		グループで行く場所を発表		スライド
			大阪駅にはホームがたくさんあることを説明。この時、ホームの数で数字の復習をする	
45 分		MT の説明を聴く		
			「これは三ノ宮駅までいきます行きますか」のフレーズを解説する	
48 分		読む練習をする	フレーズを読む	
			1 時間目に文型・フレーズの一覧を見せる	
50 分		スライドを見る		
			「これで 1 時間目を終わります」	

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 分	全体		「こんにちは、今から 2 時間目を始めます。よろしくお願いします。私の名前はステラです。」（他の日本人実習生の名前と比べる）	スライド
			「私の名前はカタカナです。」（外来語の説明をする）	
			「私は日本生まれ日本育ちの外国人です。どういう意味ですか？」	
		日本語の文だけを見て意味を考える。手を挙げて答える。	（中国語訳を見せる）	
		答え合わせをする。	クイズ「日本はどれですか？」（ジェスチャーで手を挙げてもらうことを指示）	
5 分		答えだと思う写真に手を挙げる	正解を表示「すべて日本です。」	
			神戸の紹介 神戸の導入「皆さん神戸を知っていますか？」 日本地図から神戸の場所を説明 神戸の特徴を説明	
			「地図から三ノ宮を探そう！」	スライド、パンフレット
10 分	グループ	パンフレットを開いて三宮を探す	パンフレットを配る	
			TA 確認する 「ここですね！」	
15 分				
	全体		電車を降りて、 スケジュールを説明	スライド
			バスのサイトを紹介	スライド、スマホ
		QR コードを読み取って、指示に従いながらサイトを見る	（QR コードを表示） 指示する	
			場面① バス停の場所を人に聞く	スライド、プリント
		反復練習	「すみません。ループバスのバス停はどこですか？」反復練習	
	グループ	グループ内でも練習（置換練習）	各グループに TA がついて練習（置換練習）	プリント
20				

分				
	全体	反復練習	「あそこです。」を説明 反復練習	スライド
25分			「○○（実習生の名前）さんはどこですか？」―「あそこです・ここです。」（TA とデモンストレーションして意味を推測してもらう）	
			バスの乗り方を説明 前と後ろを強調する （プリントにメモするように指示）	スライド、プリント
			「運転手に伝えましょう！」	
		反復練習	「1day チケットを買いたいです。」反復練習	
30分			文法説明	
	グループ	グループ内で練習（置換練習）	各グループに TA がついて練習（置換練習）	プリント
	全体		お金の払い方と両替を説明	スライド、プリント
35分				
	グループ	地図から探す 「ここです。」	「北野異人館はどこですか？」 各グループに TA がついて確認する	スライド、パンフレット
			「南京町はどこですか？」	
	グループ	地図から探す 「ここです。」		
			「旧居留地はどこですか？」	
45分	グループ	地図から探す 「ここです。」	「帰りましょう！三ノ宮駅はどこですか？」	
	グループ	地図から探す		
			「到着です。」	
	全体			スライド
			まとめ 「今日はこれらのことを学びました。ありがとうございました。」	
50分			パンフレットを配る	パンフレット

			「観光地のガイドマップです。またあとで読んでください。」	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 分	全体	3時間目は何をするか理解する。 ゲームの設定を理解する。	3時間目にすることを説明する。 ゲームの設定の説明をする。	スライド
1分	グループ	例題を見ながら、ウォーミングアップの進め方を理解する。 グループ内で答えを考えて、答えの読み方も調べる。 答えが分かるグループが手を挙げる。 指定された学習者が答えを日本語で言う。	ウォーミングアップ 例題を見せながら、ウォーミングアップの進め方を説明する。 進め方: 30 秒で答えを考えさせて、答えの読み方も調べさせる。 【 AT:学習者が答えと読み方を分かるようにサポートする】 30 秒で経過したら、MT がもっと時間が必要かどうかを確認する。 【AT:もっと時間が必要かどうか、MT に知らせる】 もっと時間が必要の場合はもう少し時間を与える。 必要ない場合は、「答えが分かるグループがいますか。」と聞く。 一番早く手を挙げたグループの中で、回答者を指定する。 例題が一つで、問題が三つある。 例題:「ループバスのバス停」(「ここ」と数字の読み方について) 問題1:「神戸のループバスに乗ります」(神戸ループバスのバスの乗り方と「前／後ろ」について) 問題2:「電車に乗ります」(「ホーム」について) 問題３:「空欄に答えを入れる」(「○○から○○まで」について)	スライド
6分	全体	本番のゲームのルールを理解する。	本番 本番のゲームのルールを説明する。 移動方法:グループで移動する。番号の順番で移動する。ゲームは Cビルの入口のところでします。 採点:全部のクエストのクリア時間を足して、少ない順で、順位を決め	スライド プリント

8分 12分 17分 18分	全体 グループ 全体 全体	ゲームのルールについて、質問があったら、聞く。 クエストの内容とクリア条件を理解する。 グループ内で練習する。 ゲームをする場合に移動する。 駅名カードを引く。 駅名とフレーズの読み方を調べて、読む。 数字カードを選ぶ。 A のフレーズを完成して、読み方を調べて、読む。 Bのフレーズを完成して、読み方	る。 1番目：5点／2番目：4点／3、4、5番目：3 点 注意事項： グループ全員がクエストをクリアした後、次のクエストに進む。質問があったら、手を挙げる。3人グループはもう一回クリアしなければならない。 ゲームのルールについて、質問があるかどうか聞く。 五つのクエストを簡単に説明する。 クエスト1： 「○○駅に行きたいですが、ホームの場所が分からないので、駅員さんに話をかけてください。」 クエスト2： 「Aフレーズを完成して、読んで、指示を聞いて、B フレーズを完成して、読む。」 クエスト3： 「並び替えして、読む。」 クエスト4： 「日本語で買いたい物をスタッフに伝える」 クエスト5： 「地図で場所を探す」 グループ内で練習させる。 ゲームをする場合に移動する。 ゲームを始める。 クエスト1： 駅名カードを引かせる。 数字を言う。 （担当者：佐藤さん） クエスト2：	スライド プリント スライド プリント クエストの内容の紙 テープ 駅名カード 数字カード 机 クエストの内容の紙(X2) テープ

		を調べて、読む。	数字を言う。	机
		並び替えして、読む。	（担当者：朝岡さん） クエスト3： 正解しかどうか、確認する。 次の学習者がする前に、カードをシャッフルする （担当者：村林さん）	クエストの内容の紙 テープ 並び替えカード 机
		品物カードをもらう。 品物とフレーズの読み方を調べて、読む。	クエスト4： 品物カードを渡す。 （グループ全員に違うカードを渡す） （担当者：菅田先生）	クエストの内容の紙 テープ 品物カード 机
		場所カードを引く。 カードを見て、パンフレットで場所を探って、「ここです。」を言う。	クエスト5： 場所カードを引かせる。 「○○はどこですか」を言って、カードを見せる。 （担当者：ステラさん） 【クエストの担当者： 1. 時間を記録する表をもらう。 2. 時間を測る。 3. 正解の場合はクリアする。不正解に場合はやり直させる。 4. 三人グループはもう一回クリアしなければならない。 5. 時間を表に書いた後、学習者に返す。 6. 困った時、手を挙げる 東海の実習生：サポート役】	クエストの内容の紙 テープ 場所カード 日本語のパンフレット 机
48分 50分	全体			
	全体	教室に戻る。	教室に戻る。 【AT：クリア時間を計算する。】 順位を発表する	スライド
55分		みんなの前でクエストをしたい学		スライド

60 分	全体 全体	習者が手を挙げる。 クエストを確認すして、正解したら、1点がもらえる。 感想を言う。 （1～2人） アンケートをする。	確認 クエスト1～5を確認する。 みんなの前でクエストをしたい学習者かいるかどうか聞く。 クエストを確認すして、正解したら、1点を与える。 感想 感想を聞く。 （1～2人） アンケートをさせる。 「さようなら」	 スライド スライド

【時間がない場合：ゲームが終わったら、アンケートだけする。】

学習者アンケートの結果

授業の速さ：ちょうどよい（12 人、92.3%），速い（1 人、7.7%）

内容の難しさ：ちょうどよい（7 人、53.8%），やや難しい（3 人、23.1%），難しい（1人、7．7%），易しい（1人、7.7%），やや易しい（1 人、7.7%）

授業の満足度：満足（10人、76.9%），やや満足（2人、15.4%） どちらでもない（1人、7．7%）

1 日を通しての感想・意見：

「面白かったです。いろいろなことを勉強しました。」

「神戸と大阪を知って、バスの乗り方も知りました！ゲームは面白かったです。」

1 日目のふり返り

1 時間目

わたしのおすすめのスポット紹介は学習者の食いつきがよかった。大阪の観光名所紹介は、ただ場所の写真と名前しか紹介できなかった。もう少し補足情報を付け加えられたら良かった。

2 時間目：

地図を使ったアクティビティは反応が良く、指示も問題なく理解されたと思った。ただ、文法に関しては「あそこ」の練習が少なかったので、それを活用できるアクティビティを用意するれば良かった。

3時間目：

反省点は、クエストを簡単に説明する時に時間をかかりすぎた。先に、学習者にプリントを読ませた後、質問があるかどうかを聞いた方がいいと思う。そして、本番のゲームは思ったより盛り上げていて良かった。

2日目 1時間目　MT:佐藤 和(さとう なごみ)

＜場所＞から＜場所＞まで
kara　made

（從[地點]到[地點]）

台湾から 大阪まで 3時間です。
taiwan　Osaka　ikimasu

大阪駅（　　）USJ（　　）20分（　　）。
Osakaeki

大阪駅まで行きます

日本語の 語順

日本語の 語順は 中国語と 違います。
nihongo no gojun wa　chuugokugoto chigaimasu

動詞が 最後に来ます
doushi ga　saigonikimasu

日文的語句順序跟中文不一樣，動詞放在最後面。

例 私は 日本 に行きます

に：去
まで：到

我　去　日本

発表

私たちは watashitachi wa
◯番で 行きます。◯bande ikimasu

原因是…

使える ことば①

（　　）、大阪駅に 行きたいです。
Osakaekini　ikitaidesu

ホームは どこですか
hoomuwa　dokodesuka

不好意思，我想去大阪車站。月台在**哪裡呢**?

①自分の行きたい場所
自己想去的地方

複数可

②グループで行く場所
要和小組一起去的一個地方

発表

私たちは ◯◯に 行きたいです
watashitachi wa　ni　ikitai desu

原因是…

道頓堀 dootombori　大阪城 Osakajoo　USJ　梅田スカイビル umedasukaibiru　海遊館 kaiyuukan

日本環球影城　梅田藍天大廈

太陽の塔 taiyoonotoo　麦わらストア mugiwarasutoa　Nintendo Osaka　ポケモンセンター pokemonsentaa

使える ことば②

これは 三ノ宮駅まで 行きますか。
korewa　sannnomiyaeki madei ikimasuka

（這個電聯車會到三宮站**嗎**?）

はい。(行きます) /いいえ。(行きません)

hai(ikimasu)/iie(ikimasen)

「○○ますか」(表示疑問)

入門クラス

2日目2時間目　名前

sensei sutera
先生：ステラ

QRコード

① sumimasen 「すみません。」　ruupubasu no ループバスの　basutei wa バス停は　doko どこ　desuka ですか。」

「不好意思。觀光巴士的公車站在哪裡呢?」

「(場所) は どこ ですか? 」＝「(地點) 在哪裡呢?」

か：(　　)

練習

eki wa doko desuka 「駅は どこ ですか？」

deguchi wa doko desuka 「出口は どこ ですか？」

toire wa doko desuka 「トイレは どこ ですか？」

※駅＝車站、トイレ＝廁所

② asoko 「あそこ desu です。」「koko ここ desu です。」

「在(　　)。」「在(　　)。」

ここ＝(　　)
あそこ＝(　　)

basu no norikata
バスの乗り方

ruupubasu ループバス
- jousha 乗車（上車）じょうしゃ →（　　）
- kousha 降車（下車）こうしゃ →（　　）

koubeshiei basu 神戸市営バス こうべしえい
- 乗車（上車）→（　　）
- 降車（下車）→（　　）



③ 「1-Dayチケット chiketto を o 買いたいです。 kai taidesu か」

「我想買一日券。」

「【動詞】+たいです。」=願望

れんしゅう 練習

kippu o kaitaidesu
「切符（きっぷ）を 買いたいです。」

kore o kaitaidesu
「これを 買いたいです。」

omiyage o kaitaidesu
「お土産（みやげ）を 買いたいです。」

※切符=、お土産=伴手禮、これ=這個



「700円（えん） です。」
「700日圓。」

神戸
観光景點指南

なまえ 名前＿＿＿＿＿＿

きたのいじんかん 北野異人館



昔（むかし）の 外国人（がいこくじん）の 家（いえ）です。 以前外國人的家。
多（おお）くの 外国人（がいこくじん）が 神戸（こうべ）に 住（す）んでいました。
以前很多外國人住在神戶。
西洋文化（せいようぶんか）が 見（み）られます。 能看到西方文化。

なんきんまち 南京町



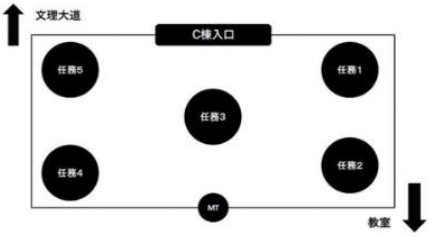
昔（むかし）、 多（おお）くの 中国人（ちゅうごくじん）が 神戸（こうべ）に 来（き）ました。
以前，很多中國人來到神戶。
彼（かれ）らが 集（あつ）まって できた 中華街（ちゅうかがい）です。
這是由他們聚集而成的中華街。
神戸（こうべ）の 人（ひと）には 人気（にんき）です。 受到神戶人的歡迎。

きゅうきょりゅうち 旧居留地



昔（むかし）、 神戸（こうべ）に 住（す）んでいた 外国人（がいこくじん）が
働（はたら）いていた エリア（えりあ）です。
這裡是以前居住在神戶的外國人工作的地方。
ヨーロッパ風（ふう）の 建物（たてもの）が 残（のこ）っていて、 綺麗（きれい）です。
歐式建築仍然保留著，很漂亮。

二日目　3時間目　名前（姓名）：＿＿＿＿　グループ（組別）：＿＿＿

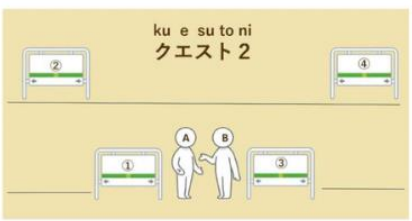


- 任務1

「你想要去〇〇車站，
但是不清楚前往〇〇車站的電聯車的月台在哪裡。
去詢問站務員吧！詢問完後記得確認你是否理解站務員說的話喔！」

1. 先抽車站卡，查看看 50 音怎麼唸
2. 用日文告知站務員你想去〇〇車站，且詢問月台在哪裡
3. 站務員會告訴你〇〇號月台
4. 舉起桌上站務員說的數字的卡片

- 任務2



「A：駅（えき）は＿＿＿ですか。【車站在哪裡呢?】
B：駅（えき）は＿＿＿です。
[ここ／どこ／これ／あそこ]」

1. 先看中文完成 A 句子，且查看看 50 音怎麼唸
2. 用日文念出 A 句子後，老師會用日文告訴你號碼
3. 在依照 B 的視點完成 B 句子，且查看看 50 音怎麼念後唸出

- 任務3

「三ノ宮駅（sannomiyaeki）/行きますか（ikimasuka）
は（wa）/これ（kore）/まで（made）
【這輛電聯車會去到三宮站嗎?】」
△請排出正確的句子順序，且唸出句子

- 任務4

「請用日文告知工作人員，你想買〇〇」

1. 任務開始時會先給你物品卡，告知你現在想買的東西
2. 查看看 50 音怎麼唸
3. 用日文說出「我想買〇〇」

- 任務5

「〇〇在哪裡呢?在地圖上找找看吧！找到後記得告知老師」

1. 先抽地點卡，且交給老師
2. 老師會用日文詢問你「〇〇在哪裡呢?」
3. 在地圖上尋找此地點，
找到後記得用日文告知老師「在這裡！」

第三日

8月26日(金) 3日目　担当者名 MT: 朝岡沙月　　AT: 謝欣妤、曾品晶

学習目標

内容 Contents

- レストラン、スーパー、コンビニの三つの場面で日本で買い物をする際に必要な日本語を学ぶ

言語 Communication

- ～人です、～でお願いします、～はありますか？、～をください、これお願いします、～は要りません、はい、いいえ
- 喫煙席、禁煙席、メニュー、ホット、アイス、袋、箸、カード、交通系(ic カード)、ポイントカード
- 人数の数え方、数のジェスチャー

思考 Cognition

- 台湾のコンビニでのエコに対する取り組みを考える
- ものが欲しい時の尋ね方

協学・異文化理解 Community/Culture

- 日本のコンビニの地域差、愛知の食文化

コンビニでのエコに対する取り組みを日本と台湾で比較
日本と台湾のジェスチャーの違い

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0分	全体	MTの話を聞く	神戸から愛知に来たという流れを説明し、前回の復習である「神戸から愛知県まで行きます」という文を読み上げ復唱してもらう	
		復唱		
		MT の話を聞く	自己紹介、愛知県の簡単な紹介 三日目の授業の流れを説明	
5分	個人	レストランの意味をプリントに記入	レストラン	プリント
			アクティビティ①	
10分	グループ	調べてプリントに記入	愛知ならではの食べ物の画像を 4つ挙げ、中国語訳を調べてもらう(Google で、漢字やローマ字から検索という様に調べ方も指示)	プリント
		自分のプリントを見ながら答えを確認	全員の前で答えを発表	
			アクティビティ②	
15分	グループ	説明文の示す食べ物を予測しプリントに記入	漢字が多めの食べ物の説明とそれに合う食べ物の画像を線で繋いでもらう	プリント
		自分のプリントを見ながら答えを	答え合わせ	

		確認		
20分	全体	MT の話を聞く	画像の食べ物の説明	
			モーニング、コメダ珈琲の説明 外来語は片仮名（復習） スガキヤの説明	
25分			それでは、レストランへ行ってみましょう！	
	全体	客のセリフのみ復唱	「いらっしゃいませ」	
28分	グループ	班で練習	「何名様ですか？」 「〇人です。」 （MT と AT で会話形式で読み上げ、意味を説明）	
30分	全体	歓迎光臨の日本語をプリントに記入→あてられた人は答える	歓迎光臨の日本語訳を知っている人がいないか質問	
35分	全体	指示棒で指した数字を全員で読む	数の数え方（復習）	
			人の数え方 ＜数＋人＞ 例外のひとり、ふたり、よにんを中心的に教える 読み上げ復唱してもらう	
		あてられた人は答えを言う	人数の数え方クイズ ４問	
40分		MT の話を聞く	数のジェスチャー MT が手本で行う 台湾の6のジェスチャーは日本で電話のジェスチャーだという台湾との違いを説明	
		前の MT の見本を見ながら一緒にジェスチャーをする	みんなで一緒に 1～10 のジェスチャーを行う	
		あてられた人は答えを言う	数のジェスチャーのクイズ ４問	
	個人	喫煙席、禁煙席の意味をプリントに記入	喫煙席、禁煙席の説明	プリント
45分	全体	客のセリフのみ復唱 班で練習	「喫煙席と禁煙席、どちらになさいますか？」 「喫煙席・喫煙席でお願いします。」 「かしこまりました。」	
48分	個人 グループ	メニューの意味をプリントに記入 「～はありますか？」にお茶、トイレ、水を当てはめて班で練習	メニュー 「中国語のメニューはありますか？」	

50分	全体	MTの話を聞く	疑問文の説明 文＋か？を説明	
55分		自分のスマホを使いスライドの指示通りに Line を操作し、翻訳画面まで開く→スライドの日本語を実際に翻訳機能を使い翻訳する	メニューに画像がない時の検索方法	スマートフォン、Line アプリ
	全体 グループ	客のセリフのみ復唱 「～をください」にお茶、取り皿、水を当てはめて班で練習	「すみません、～をください。」 「かしこまりました。」	
58分	全体 グループ	客のセリフのみ復唱 班で練習	「ホットとアイスどちらになさいますか？」 「ホット/アイスでお願いします。」 「かしこまりました。少々お待ちください。」	
60分	全体	MTが読む文型を復唱	1時間目で学んだ文型の復習	

2時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0分	個人	スーパーの意味をプリントに記入	スーパー	プリント
	全体	説明文の漢字から赤味噌、白味噌の特徴を推測、挙手をして答える	台湾人の方が意味を予測できそうな漢字を使用した赤味噌、白味噌の説明文を提示→説明文の内容を質問	
	全体	MTの話を聞く	愛知県の赤味噌や八丁味噌の説明	
	個人	コンビニの意味をプリントに記入	コンビニ	
7分	個人 （グループで話しながら）	値段、カロリー、日本語の商品名が書いてあるコンビニ商品の表を見て1000円以内で買いたいものをリストアップする	アクティビティ③ コンビニで1000円以内で昼ご飯を買いましょう！	プリント、商品の表
	全体	選んだ商品とその理由を発表	発表してもらう	
22分	全体	MTの話を聞く	日本ならではのコンビニの特徴を説明	プリントの日

		肉まん、あんまん、おにぎり、を復唱	プリントの日本地図を用いてコンビニの地域差を紹介	本地図
		MT の話を聞く	セルフレジの紹介	
30分			では、コンビニやスーパーへ、買い物に行ってみましょう！	
	全体	客のセリフのみ復唱	「～はありますか？」	
	グループ	班で練習	「これ、お願いします。」 「袋　/箸　は要りません。」 「カード/交通系　で お願いします。」	
33分				プリント
	個人	袋、箸、カード、交通系の意味をプリントに記入	袋、箸、カード、交通系（交通系 ic カード）	
36分	全体	店員の質問を聞き分けるリスニングを行う	「袋　/箸 は 要りますか？」 「こちら　温めますか？」	
	グループ	班で練習	「ポイントカードはお持ちですか？」 「はい/いいえ」	
40分			ポイントカード	プリント
	個人	ポイントカードの意味をプリントに記入		
43分	全体	MT が読む文型を復唱	2時間目で学んだ文型の復習	
55分	グループ 全体	班で話し合い、出た意見を班ごとに発表	台湾のコンビニやスーパーでのエコに対する取り組みを考え発表してもらい、MT が日本との違いについてコメントする	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 分	全体	3時間目は何をするか理解する。 ゲームの設定を理解する。	3時間目にすることを説明する。 ゲームの設定の説明をする。	スライド
1分	グループ	例題を見ながら、ウォーミングアップの進め方を理解する。 グループ内で答えを考えて、答えの読み方も調べる。	ウォーミングアップ 例題を見せながら、ウォーミングアップの進め方を説明する。 進め方： 30 秒で答えを考えさせて、答えの読み方も調べさせる。 【 AT：学習者が答えと読み方を分	スライド

			かるようにサポートする】 30 秒で経過したら、MT がもっと時間が必要かどうかを確認する。 【AT：もっと時間が必要かどうか、MT に知らせる】 もっと時間が必要の場合はもう少し時間を与える。 必要ない場合は、「答えが分かるグループがいますか。」と聞く。 一番早く手を挙げたグループの中で、回答者を指定する。 例題が一つで、問題が三つある。 例題：「漢字の読み方」（「二人」の読み方について） 問題1：「注文する時に必要な物」（「メニュー」について） 問題2：「店員さんを呼ぶ時言う言葉」（「すみません」について） 問題3：「座席」（「喫煙席／禁煙席」について）	
6分	全体	答えが分かるグループが手を挙げる。 指定された学習者が答えを日本語で言う。 本番のゲームのルールを理解する。	本番 本番のゲームのルールを説明する。 移動方法：グループで移動する。番号の順番で移動する。ゲームは Cビルの入口のところでします。 採点：全部のクエストのクリア時間を足して、少ない順で、順位を決める。 1番目：5点／2番目：4点／3、4、5番目：3 点 注意事項： グループ全員がクエストをクリアした後、次のクエストに進む。質問があったら、手を挙げる。3人グループはもう一回クリアしなければならない。	スライド プリント
8分	全体	ゲームのルールについて、質問があったら、聞く。 クエストの内容とクリア条件を理解する。	ゲームのルールについて、質問があるかどうか聞く。 五つのクエストを簡単に説明する。 クエスト1： 「店に入って、人数と座席を伝える」 クエスト2：	スライド プリント

			「注文する」 クエスト3： 「欲しい物が見つからない、店員さんに聞く。店員さんの返事を理解する。」 クエスト4： 「支払方法を伝える」 クエスト5： 「数字の読み方」	
12分 17分 18分	グループ 全体 全体	グループ内で練習する。 ゲームをする場合に移動する。 人数カードと座席カードを引く。 人数を伝える。 座席を伝える。 料理カードを引く。 注文する。 商品カードを引く。 引いた商品はあるかどうか聞く。 正しい位置を指す。 カードを引く。 並び替えして、読む。 カードを2枚引く。 「これ、お願いします。」を言う。 値段を紙に書く。	グループ内で練習させる。 ゲームをする場合に移動する。 ゲームを始める。 クエスト1： 人数カードと座席カードを引かせる。 人数を聞く。 座席を聞く。 （担当者：佐藤さん） クエスト2： 料理カードを引かせる。 （担当者：朝岡さん） クエスト3： 商品カードを引かせる。 ジェスチャーを使って、商品の位置を伝える。 （担当者：村林さん） クエスト4： カードを引かせる。 正解しかどうか、確認する。 （担当者：張先生） クエスト5： カードを2枚引かせる。	スライド プリント クエストの内容の紙 テープ 座席カード 人数カード 机 クエストの内容の紙 テープ 料理カード 机 クエストの内容の紙 テープ 商品カード 机 クエストの内容の紙 テープ カード 並び替えカード 机 クエストの内容の紙 テープ

48分 50分	全体	教室に戻る。	値段を言う。 （担当者：ステラさん） 【クエストの担当者： 1. 時間を記録する表をもらう。 2. 時間を測る。 3. 正解の場合はクリアする。不正解に場合はやり直させる。 4. 三人グループはもう一回クリアしなければならない。 5. 時間を表に書いた後、学習者に返す。 6. 困った時、手を挙げる 東海の実習生：サポート役】	カード 紙 机 スライド
55分	全体	みんなの前でクエストをしたい学習者が手を挙げる。 クエストを確認すして、正解したら、1点がもらえる。	教室に戻る。 【AT：クリア時間を計算する。】 順位を発表する 確認 クエスト1～5を確認する。 みんなの前でクエストをしたい学習者かいるかどうか聞く。 クエストを確認すして、正解したら、1点を与える。	スライド
60分	全体 全体	感想を言う。 （1～2人） アンケートをする。	感想 感想を聞く。 （1～2人） アンケートをさせる。 「さようなら」	スライド スライド

学習者アンケートの結果

授業の速さ：ちょうどよい（11 人、73.3%），やや速い（3 人、20%），速い（1 人、6.7%）

内容の難しさ：ちょうどよい（12 人、80%），やや難しい（2人、13.3%），易しい（1 人、6.7%）

授業の満足度：満足（10人、66.7%），どちらでもない（3 人、20%），やや満足（2人、13.3%）

1 日を通しての感想・意見：

「楽しい。」

「今日の授業はとても実用的だ。」

3 日目のふり返り

1, 2 時間目

メモの時間を取るのを忘れてしまい、グループの方々に助けられた。

授業時間が押してしまい、急遽 Line 翻訳のアクティビティを二時間目に変えたが、授業が少し駆け足になったしまったため、翻訳のアクティビティをなくしてもよかったかもしれない。

コンビニで買い物のアクティビティが思ったより好評で、Line 翻訳の機能をコンビニ商品の表で実践している方もいてよかった。

3時間目：

グループの練習時間は5分ではなく、10分に延長した。練習時間は予想していたよりかかったが、おかげで本番のゲームはとてもスムーズに終わった。

3日目　1時間目　①

愛知県

あいち けん
Aichi ken

レストラン：（　　）
resutoran
れすとらん

この食べ物の中国語訳を調べましょう。
查查看這些食物的中文要怎麼唸吧


味噌
（　　）


ひつまぶし
（　　）


手羽先
（　　）


台湾ラーメン
（　　）

線で繋ぎましょう。連連看


・
・
鉄板にナポリタンと卵を入れた麺料理です。


・
・
海老の揚げ物と卵や野菜を挟んだサンドイッチです。


・
・
極太麺に胡椒とトマト味の餡をかけた料理です。

②

（　　）
歓迎光臨

Nanmeisamadesuka?
何名様ですか？
請問有幾位呢?

〇 nindesu
〇人です。
〇個人

人の数え方

数字 ＋ 人
にん
nin

例外
1人　ひとり　hitori
2人　ふたり　Futari
4人　よにん　yonin

手勢



③

禁煙席：（　　）
kin en seki
きんえんせき

喫煙席：（　　）
kitsu en seki
きつえんせき

Kitsuenseki to kinennseki 、dochiraninasaimasuka?
喫煙席 と 禁煙席、 どちらになさいますか？
請問要吸菸席還是禁菸席呢?

kitsuenseki/kinennseki deonegaishimasu
喫煙席 /禁煙席 でお願いします。
請給我吸菸席/禁菸席

kashikomarimashita
かしこまりました。

～でお願いします
→用於表示請求、拜託

④

メニュー：（　　）
menyuu
めにゅー

Chuugokugo no　menyuu　wa arimasuka?
中国語　　の　メニュー は ありますか？
ちゅうごくご　　めにゅー
請問有中文菜單嗎?

～はありますか？
→有~嗎?

練習

お茶	トイレ	水
ocha	toire	mizu
おちゃ	といれ	みず

トイレ：廁所

⑤

Sumimasen
すみません。

〇〇 o kudasai
〇〇 を ください。
請給我〇〇

kashikomarimashita
かしこまりました。

～をください
→請給我

練習

お茶	水	取り皿
ocha	mizu	torizara
おちゃ	みず	とりざら

取り皿：小碟子

Hotto to aisu dochiraninasaimasuka?
ホットとアイス どちらになさいますか？
請問要冰的還是熱的?

Hotto/aisu de onegaishimasu
ホット/アイス でお願いします。
請給我熱的/冰的

Kashikomarimashita
かしこまりました。
Shoushouomachikudasai
少々お待ちください。
請稍等一下

3日目 2時間目

⑥

スーパー：（ ）コンビニ：（ ）

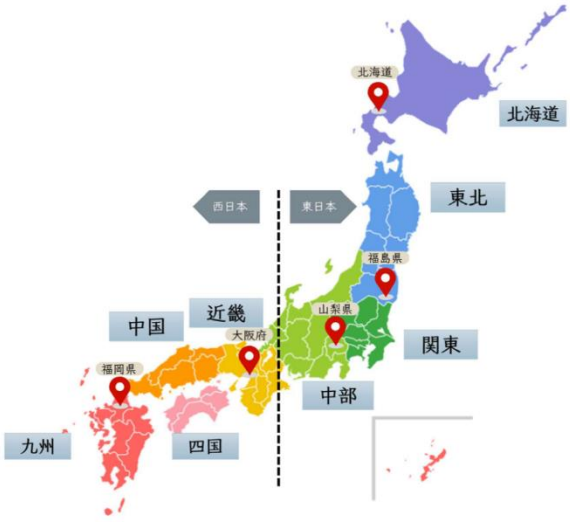
suupaa
すーぱー

konbini
こんびに

大家有1000元的預算,
請從商品清單中選擇自己想吃的午餐~

	品名	價格

計 円



⑦

～wa arimasuka?
～はありますか？
有～嗎?

Kore、onegaishimasu
これ、お願いします。
請給我這個。

Fukuro/hashi wa irimasen
袋 /箸 は要りません。
不需要袋子/筷子。

Ca do/koutuukei de onegaishimasu
カード/交通系 で お願いします。
請幫我用信用卡/交通系電子支付結帳。

袋：（ ）
Fukuro
ふくろ

箸 ：（ ）
hashi
はし

カード：（ ）
kaado
かーど

交通系：（ ）
koutsuukei
こうつうけい

⑧

① Fukuro/hashi wa irimasuka？
袋 /箸 は 要りますか？
需要袋子/筷子嗎?

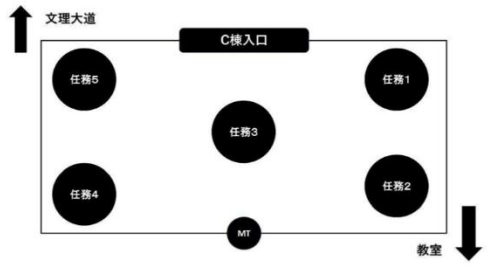
② Kochira atatamemasuka?
こちら温めますか？
需要加熱嗎?

③ Pointokaado wa omochidesuka?
ポイントカードはお持ちですか？
請問有集點卡嗎?

Hai/iie
はい/いいえ

ポイントカード：（ ）
pointoka a do
ぽいんとかーど

三日目　3時間目　名前（姓名）：＿＿＿＿＿　グループ（組別）：＿＿＿＿＿



- 任務１

「進入店裡，告知人數，以及告知需要的座位」

1.先抽人數卡，以及座位卡，查看看 50 音怎麼唸

2.店員會詢問人數，請用日文告知人數

3. 店員會詢問需要的座位，請用日文告知需要的座位

☆一人/二人/三人/四人/喫煙席/禁煙席

- 任務２

「請跟店員點餐」

1.先抽料理卡，查看看 50 音怎麼唸

2.用日文呼叫店員後，點餐

☆冷やし中華　（ひやしちゅうか）/手巻寿司（てまきずし）/

手羽先（てばさき）/ひつまぶし

- 任務３

「找不到想要買的東西，去詢問店員吧!然後記得確認是否理解店員說的話。」

1.先抽商品卡，查看看 50 音怎麼念

2.用日文詢問店員有沒有此商品

3.店員會用手勢說明商品的位置，

請學生根據店員的手勢在地圖上找到對應的位置

☆味噌（みそ）/しるこサンド（さんど）/肉（にく）まん/あんまん/おにぎり

- 任務４

「結帳時告知付款方式」

[で/[支付方法]/します/お願い]【請幫我用[支付方法]付款】

1.抽卡決定支付方式，查看看 50 音怎麼念

2.排列句子順序，並唸出句子

☆カード（かあど）/交通系（こうつうけい）

- 任務５

「數字的念法」

1.先抽兩張卡

2.將卡交給店員，並用日文說「麻煩幫我結帳」

3.店員會用日文告訴你價錢，請根據店員的回答寫上正確的價錢

第四日

8月27日(火) 4日目　担当者名 MT: 村林芽明、謝欣妤　　AT: 全員

学習目標

内容 Contents

- 北海道に関する情報(天気、観光スポット、グルメなど)を知る
- ホテルで使える文法や単語を勉強する
- ホテルスタッフとの手続きの流れを理解する

言語 Communication

- 「～お願いします」文型の練習
- 「N はありますか」と「N はどこですか」と「～から～まで～」文型の復習
- 時間と階数を聞く練習

思考 Cognition

- 北海道に旅行する時の注意するべき点を考える
- 「刺青を入れた人は入浴禁止」というルールについて考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- 三時間目のゲームを通じて、ホテルで使う会話を練習する
- 日本と台湾が刺青に対するイメージをグループで話し合って、発表する

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0分	全体		プリント配布	
				スライド
4			導入 今日の流れ提示 自己紹介	
			今日のテーマを示す	
	全体	北海道について思いつくイメージを簡単に発表	北海道のイメージを聞き、各個人で挙手した数名を当てる	
5			旅行の tips も交えて北海道について紹介(面積、天候、動物、グルメ、アイヌ文化)	
	全体	教師の後に続いてリピート	スライド内の単語を発音	
			「名古屋から北海道まで行きます」	
10			新千歳空港紹介	
	グループ	空港から駅までの行き方を調べ、ワークシートに記入	「空港から駅まで行きます」 巡回／操作補助に入る	スライド (QR コード提示)
2			2日目おさらいクイズ 二択を提示、発音	ワークシート

	全体	正解だと思う選択肢に挙手 教師の後に続いてリピート	「切符売り場をください／切符売り場はどこですか」 解答を発音 札幌駅、moyuk SAPPORO を紹介	
4	グループ	北海道のお土産を調べ、買いたいものをワークシートに記入	巡回／操作補助に入る 3日目おさらいクイズ 二択を提示、発音	スライド （QR コード提示） ワークシート
2	全体	正解だと思う選択肢に挙手 教師の後に続いてリピート	「これはあります／これはありますか」 解答を発音	
10	全体	教師の後に続いてリピート	ホテルチェックイン時に使用する日本語を説明、発音 「名詞＋お願いします」 「チェックインお願いします」 宿泊者カード 名前 連絡先 パスポート	スライド
	全体	教師の後に続いてリピート 赤枠（客側）のみ	会話形式で反復練習 赤枠（客側）のみ反復 青枠（スタッフ側）は聞いて理解できれば良い旨を伝える ホテルチェックイン時に使用する日本語を説明、発音	
5	全体	教師の後に続いてリピート	ルームキー 朝食券 部屋番号（部屋番号の読み方）	
	全体	教師の後に続いてリピート 赤枠（客側）のみ	会話形式で反復練習	
5	グループ	各グループにて担当 TA の後に続いて会話形式で反復練習	巡回／補助 会話形式で実演	スクリプト スライド

			希望者を一名指名	
2	全体	教室の前で客側を実演	教室の前でスタッフ側を実演	
2			ふりかえり	

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	全体		挨拶	
			スタッフに質問するときに使用する日本語を説明（復習）、発音	スライド
	全体	教師の後に続いてリピート	「すみません」 「N はありますか？」 ドライヤー 毛布 アイロン 加湿器（加湿器の説明）	
	全体	教師の後に続いてリピート 赤枠（客側）のみ	会話形式で反復練習	
5	グループ	備品を調べ、「N はありますか」を使って文を作成、ワークシートに記入	巡回、補助	ワークシート
	全体	回答共有	各グループ一人を指名	
7	全体	教師の後に続いてリピート	「N はどこですか」 ランドリー 自販機 レストラン 階数（一階、二階、三階、四階）	スライド
	全体	教師の後に続いてリピート 赤枠（客側）のみ	会話形式で反復練習	スライド
6	グループ	各グループにて担当 TA の後に続いて会話形式で反復／入れ替え練習	巡回／補助	スクリプト
5	全体	教師の後に続いてリピート	「朝食は何時からですか」 「チェックアウトは何時までですか」 時間の読み方（午前、午後、時、分、分の読み方が変わることも説明）	スライド

	全体	教師の後に続いてリピート 赤枠(客側)のみ	会話形式で反復練習	
5	全体	教師の後に続いてリピート	「Wi-Fi のパスワードを教えてください」 「チェックアウトお願いします」 大丈夫です／大丈夫ですか 「荷物お願いします。大丈夫ですか」	
	全体	教師の後に続いてリピート 赤枠(客側)のみ	会話形式で反復練習	
6	グループ	各グループにて担当 TA の後に続いて会話形式で反復練習	巡回／補助	スクリプト
3	グループ	刺青についてどんなイメージを持っているか意見交換	刺青問題について導入	スライド
3	全体	意見共有	1, 2名指名	
4			日本の大浴場では刺青のある人は入浴禁止の場合が多いことを提示 歴史的背景や近年の意識の変化、国内の代表的な対の意見も紹介 これらを踏まえて問題提起	
5	グループ	どの意見に賛成かと解決策を話し合い	巡回／補助	
4	全体	理由も含めて意見共有	各グループ代表者を指名	
2	全体		ふりかえり	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 分	全体	三時間目にすることを理解する RPG ゲームの設定と基本ルールを理解する	三時間目にすることを説明する RPG ゲームの設定と基本ルールを説明する	スライド

2	グループ	例題を見ながら、ウォーミングアップの進め方を理解する グループで答えを考えて、正しい選択を選んで答える（答えの読み方も調べる） 正解を分かるグループが手を挙げて、MT に指定された人が回答する	ウォーミングアップ 例題を見せながら、ウォーミングアップの進め方を説明する 進め方： 30 秒で答えを考えさせる （AT：学習者に答えと読み方を分かるようにサポートする） 時間になったら、MT はもっと時間が必要かどうか確認する （AT：時間が必要なら、MT に伝える） ⇒もっと時間がほしいなら、もうちょっと時間をあげる ⇒大丈夫ならゲームを進行する MT：「答えを分かるグループがいったら手を挙げてください」 ⇒一番早く手を挙げたクループの中で回答者を指定する 例題： 「画像を見て、これは何ですか」→パスポート ウォーミングアップ： ①「 朝ごはんを食べたいなら何が必要ですか？」→朝食券 ②荷物を預けたい「荷物をお願いします。〇〇ですか？ 」 →大丈夫 ③ Wi-Fi のパスワードを聞きたい「すみません、Wi-Fi のパスワードを〇〇」」 →教えてください。	スライド
8	全体	本番のルールと遊び方を理解する	本番 本番のルールと遊び方を説明する （AT：プリントを配る） 移動方法：グループで移動する。番号の順番で移動する。ゲームは Cビルの入口のところでします。 採点：全部のクエストのクリア時間を足して、少ない順で、順位を決める。 1番目：5点／2番目：4点／3、4、5	スライド プリント

			番目：3 点 注意事項： グループ全員がクエストをクリアした後、次のクエストに進む。質問があったら、手を挙げる。3人グループはもう一回クリアしなければならない。	
9	全体	クエストの内容を理解する	クエストの内容を説明する <u>クエスト1</u> 「ホテルのスタッフに助けを求める」 <u>クエスト２</u> 「自分の部屋番号を聞き取る」 <u>クエスト３</u> 「部屋に行ったら備品がなかったのでスタッフさんに聞く」 <u>クエスト４</u> 「洗濯をしたいがランドリーの場所がわからないので、スタッフさんに聞く」 <u>クエスト５</u> 「チェックアウトの時間の確認」	
10	全体		学習者がクエストにご不明な点があったらもう一度説明する	
11	グループ	クエストにご不明な点があったら聞く クエストの内容とクリアの条件を理解する グループ内で練習する	MT＋AT：学習者にクエストの答えを分かるようにサポートする	
30	全体	ゲームをする場所に移動する <u>クエスト１</u> カードを引く 「○○をお願いします」	ゲームをする場所に移動する <u>クエスト１</u> カードを引かせる 学習者の答えを確認する 担当者：佐藤さん <u>クエスト２</u> 部屋番号を言う 学習者の答えを確認する 担当者：朝岡さん	単語カード

		クエスト２ 正しい部屋番号を選ぶ クエスト３ 備品のカードを引く 「すみません、OO はありますか」 〇と×のカードを引く クエスト４ 「すみません、ランドリー はどこですか」 正しい番号を選ぶ 正しい位置を指す クエスト５ スタッフにチェックアウトの時間を確認する 正しい時間を選ぶ	クエスト３ 備品カードを引かせる 「はい、あります」/「いいえ、ありません」 学習者の答えを確認する 担当者：村林さん クエスト４ 階数と位置を言う 学習者の答えを確認する 担当者：張先生 クエスト５ 時間を言う 学習者の答えを確認する 担当者：ステラさん 【東海の実習生】 →サポーター役	数字カード 備品カード 〇と×カード まどり 数字カード 時間カード
40		（クエストがクリアできない場合は手を挙げて、助けを求める）	教室に戻る 各グループのクリア時間を計算する 順位を発表する	
41	全体			
50		教室に戻る	クエストの内容をもう一度復習させる	
55	全体		感想を聞く	
	全体	クエストの内容をもう一度復習する 感想を言う アンケートする	「さよなら」	スライド プリント

学習者アンケートの結果

授業の速さ→ちょうどよい：100％

内容の難しさ→ちょうどよい：85.7％　やや難しい：14.3％

授業の満足度→満足：85.7％　どちらでもない：14.3％

一日を通じての意見や感想：「楽しい」や「めっちゃ勉強になった」や「ゲームは面白い」などの意見がたくさんある。

4 日目のふり返り

一、二時間目：

時間の配分を誤ってしまい、1 時間目は時間が余ったので会話練習を発表してもらい臨機応変に対応できたが、逆に 2 時間目は時間が押してしまい色々削ってしまった。またその関係で授業の繋がりが飛んでしまい、なぜそれを討論するのかがよく分からないまま討論を促してしまったと思う。

ホテルのスタッフとの会話の流れを掴んでほしいと考えて授業を作っていたので会話形式で練習してもらうようにしたが、学習者からのフィードバックで実用的と言ってもらえたのが嬉しかった。

三時間目：

四日目の授業内容は大体二日目と三日目の復習ですから、ゲームをする時、学習者のグリア時間は思ったより早いです。もっと難しいクエストを作ればいいという悔しい気持ちがありますが、学習者がちゃんと授業の内容を覚えることに嬉しいと思います。

hoteru　　Hokkaido　　namae

ホテル（飯店）／北海道　名前（名字）：

ほてる　　ほっかいどう　　なまえ

新千歳空港から札幌駅までの行き方を書いてください。
請寫出從新千歲機場到札幌車站的前往方法。

電車の名前：
(電車的名字)
所要時間：
(所需時間)
費用：

欲しい北海道のお土産の名前を書いてください。
請寫出想要的北海道伴手禮名稱

有這個嗎？＝

ねが
【名詞】＋お願いします
（請幫我＋【名詞】）

chekku　in　nega
「チェックインお願いします。」
（請幫我辦理入住）

Shuku haku sha kaado　　namae
宿泊者カード＝（　　）　名前＝（　　）
しゅくはくしゃかあど　　なまえ

renrakusaki
連絡先＝（　　）
れんらくさき

pa su po o to　　ru u mu ki i
パスポート＝（　　）　ルームキー＝（　　）
ぱ す ぽ お と　　る う む き い

chou shoku ken　　he ya ban gou
朝食券＝（　　）　部屋番号＝（　　）
ちょうしょくけん　　へやばんごう

ゼロを「まる」と読むときもあります。
(0也有唸「maru(まる)的時候)
ひらがなを使って二通りの読み方を書いてください
(請用平假名寫出兩種房間號碼的讀音)

（　　）
（　　）

２０３

su mi ma se n　　ha a ri ma su ka
「すみません。～はありますか？」
（不好意思。有○○嗎?）

he ya ban gou　　mou fu
ドライヤー＝（　　）　毛布＝（　　）
どらいやあ　　もうふ

a i ro n　　ka shitsu ki
アイロン＝（　　）　加湿器＝（　　）
あいろん　　かしつき

他に必要なアメニティを調べて、「○○はありますか」を使って文を作ってみましょう。
（查查其他需要的飯店備品，用「○○はありますか」造句看看吧）

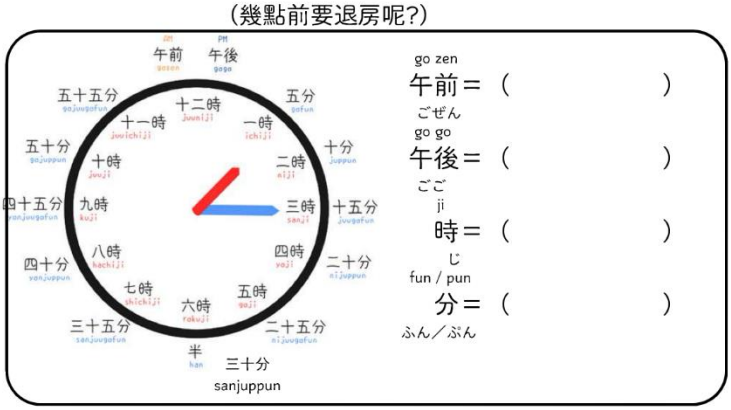
su mi ma se n　　ha do ko de su ka
「すみません。～はどこですか？」
（不好意思。○○在哪裡?）

ra n do ri i　　re su to ra n
ランドリー＝（　　）レストラン＝（　　）
らんどりー　　れすとらん

ji han ki
自販機＝（　　）
じはんき

chou shoku wa nan ji　ka ra　de　su ka
「朝食は何時からですか？」
（早餐從什麼時候開始呢?）

chekku　a　u　to　wa nan ji　ma de de su ka
「チェックアウトは何時までですか？」
（幾點前要退房呢?）



go zen
午前＝（　　）
ごぜん

go go
午後＝（　　）
ごご

ji
時＝（　　）
じ

fun / pun
分＝（　　）
ふん／ぷん

no pa su wa　a　do o oshi e　te ku da sa i
「Wi-Fiのパスワードを教えてください」
（請告訴我wi-fi的密碼）

chekku　a　u　to o nega i shi ma su
「チェックアウトお願いします」
（請幫我辦理退房）

dai jou bu de su　　dai jou bu de su ka
大丈夫です。／大丈夫ですか？
（沒問題／沒問題嗎）

nimotsu o nega i shi ma su　dai jou bu de su ka
「荷物お願いします。大丈夫ですか？」
（可以幫我保管行李嗎?）

四日目　3時間目　名前（姓名）：_____グループ(組別):___

- 任務 1

「請尋求飯店人員的幫助」

1. 先抽取請求卡，查看看五十音要怎麼唸
2. 根據抽到的卡片說出要請飯店人員幫忙的句型

☆**チェックイン(ちぇっくいん)**/チェックアウト**（ちぇっくあうと）**/荷物**（にもつ）**/ルームキー**（るーむきー）**

- 任務 2

「入住完成後，請向飯店人員聽取自己的房間號碼」

1. 關主會從 10 張房號卡中隨機念出其中一間的房號
2. 須根據關主念的房號選擇對應的卡片

*請務必記住 0~9 的日文唸法(包含 0 的特殊讀法)

- 任務 3

「到房間後發現沒有備品，因此向飯店人員詢問」

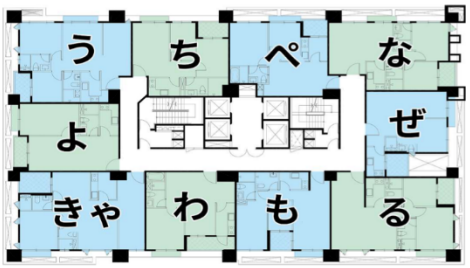
1. 先抽一張備品卡，並查詢讀音
2. 用日語詢問飯店人員是否有此備品
3. 飯店人員會回答「有」或是「沒有」，請聽取飯店人員的回答
4. 如果回答「有」就舉出「○」，如果回答「沒有」的話就舉「×」

☆ドライヤー**(どらいやー)**/アイロン**(あいろん)**/加湿器**(かしつき)**/毛布**(もうふ)**

- 任務 4

「想要洗衣服，但不知道洗衣服的地方在哪，因此詢問了飯店人員」

1. 先用日文詢問飯店人員洗衣服的地點在哪裡
2. 飯店人員會回答洗衣服的樓層以及位置
3. 先根據聽到的樓層選出對應的數字，然後在平面圖上指出正確的位置



- 任務 5

「確認退房的時間」

1. 先用日文詢問飯店人員退房的時間
2. 飯店人員會用日文告知退房時間
3. 請根據聽到的時間找出對應的卡片

*小時為 1~12 的數字卡，分為「30 分」以及「半」，請確認好飯店人員講的是「30 分」還是「半」

第五日

8月28日(水) 5日目　担当者名 MT: 佐藤和、ジョリーサンスステラ、曽品晶　　AT: 全員

学習目標

内容 Contents

- 今まで習ったことをまとめたゲームをする
- グループで旅のしおりを作成する

言語 Communication

- 「○○に行きます」

思考 Cognition

- インターネットを使って、旅の行程を考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- ゲームを通じて、一日目から四日目までの内容を復習する
- 日本のしおりについて知る
- 日本の文化に触れる(ラジオ体操)

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0分	全体	1 時間目何をするのかを理解する。	「みなさん疲れていますか？」(導入) ラジオ体操を紹介 「ラジオ体操をしよう！」	スライド
1分	全体	外へ移動する	外へ移動する	
2分	全体	先生を見ながらラジオ体操をする。(先生に合わせて数える)	ラジオ体操(1, 2, 3, 4を声に出す)	YouTube, スピーカー
5分	全体	教室に戻る	教室に戻る 2, 3時間目にすることを説明する。	
6分	全体	2, 3時間目は何をするか理解する。 ゲームの設定を理解する。	ゲームの設定の説明をする。 新しいルール 本番のゲームのルールを説明する。	スライド
7分	全体	本番のゲームのルールを理解する。	新しいルールを説明する。 レベル1とレベル2：レベル1のクエストは必ずクリアしなければならない。レベル2は挑戦するかどうか自分で選んでください。 移動方法：グループで移動する。番号の順番で移動する。ゲームは Cビルの入口のところでします。	スライド プリント

			採点：全部のクエストのクリア時間を足して、少ない順で、順位を決める。 1番目：5点／2番目：4点／3、4、5番目：3 点 注意事項： グループ全員がクエストをクリアした後、次のクエストに進む。質問があったら、手を挙げる。3人グループはもう一回クリアしなければならない。	
10分 11 分	全体 全体	ゲームのルールについて、質問があったら、聞く。 クエストの内容とクリア条件を理解する。	ゲームのルールについて、質問があるかどうか聞く。 六つのクエストを簡単に説明する。 クエスト1： 「○○駅に行きたいですが、ホームの場所が分からないので、駅員さんに話をかけてください。」 （レベル2：出発時間を聞く。） クエスト2： 「○○駅から○○駅に行きたいですが、切符売り場がどこにあるのか分かりません。駅員さんに話をかけてください。」 （レベル2：支払方法を伝える。） クエスト3： 「あなたはレストランで食事をします。店員に、何人で入るのか、また、喫煙席か禁煙席どちらを希望するのか伝えてください。」 （レベル2：お茶を頼む。そして店員の質問に答える。） クエスト4： 「コンビニで買い物をします。クエストの担当者はグループの中から事前に 2 人にポイントカードを渡すので、店員（担当者）にポイントカードがあるかどうかを伝えてください。」 （レベル2：袋を頼む。 ） クエスト5： 「あなたはホテルでチェックインをします。ホテルのスタッフからルームキーが渡されるので部屋番号をよ	スライド プリント

			く聴いておいてください。また、チェックアウトの時間を聞いてください。」 （レベル2：荷物を預ける） クエスト6： 「あなたは[ランドリー・レストラン・自販機]を探しています。ホテルのスタッフに場所を聞いてください。何階のどこにあるのかをよく聴いてください。」 （レベル2：感謝のことばのカードを正しい順になら並べる）	
14分 34分 35分	グループ 全体 全体	グループ内で練習する。 ゲームをする場合に移動する。	グループ内で練習させる。 ゲームをする場合に移動する。 ゲームを始める。	スライド プリント
		駅名と数字カードを引く。 「すみません、○○駅に行きたいです。○番は○○駅までいきますか。」と聞く。 「どこですか。」と聞く。 数学カードを選ぶ。 「何時ですか。」と聞く。 時間カードを選ぶ。	クエスト1： 駅名と数字カードを引かせる。 「いいえ、いきません。」と答える。 数学を言う。 （レベル2） 時間を言う。 （担当者：佐藤さん）	クエストの内容の紙 テープ 駅名カード 数学カード 時間カード 机
		駅名カードを引く。 「○○駅から○○駅まで行きたいです。切符売り場はどこですか。」と聞く。 地図から指す。 チケットを買う。 お金を渡す。 支払方法カードを引く。	クエスト2： 駅名カードを引かせる。 「あそこ・ここです。」と答える。 値段を伝える。 （レベル2） 支払方法カードを引かせる。	クエストの内容の紙 テープ 駅名カード 地図 お金 支払方法カード 机

		支払方法を伝える。 人数と座席カードを引く。 人数を伝える。 座席を伝える。 「お茶ください。」と言う。 質問に答える。 商品カードを引く。 「すみません、○○（商品）ください。」と言う。 「はい／いいえ」と答える。 「袋、お願いします。」と言う。 「チェックインお願いします。」と言う。 番号カードを選ぶ。 「チェックアウトは何時までですか。」と聞く。 時間を書く。 「荷物お願いします。大丈夫ですか。」と言う。 場所カードを引く。 「すみません、○○（場所）はどこ	支払方法を聞く。 （担当者：朝岡さん） <u>クエスト3</u>： 人数と座席カードを引かせる。 「いらっしゃいませ、何名様ですか？」と聞く。 「喫煙席と禁煙席、どちらになさいますか？」と聞く。 （レベル2） 「ホットとアイス、どちらになさいますか。」と聞く。 （担当者：村林さん） <u>クエスト4</u>： 商品カードを引かせる。 「ポイントカードありますか。」と聞く。 （事前にポイントカードを 2 人に渡す ） （レベル2） （担当者：張先生） <u>クエスト5</u>： 部屋番号を言う。 時間を言う。 （レベル2） （担当者：菅田先生）	クエストの内容の紙 テープ 人数カード 座席カード 机 クエストの内容の紙 テープ 商品カード ポイントカード 机 クエストの内容の紙 テープ 番号カード 紙 机 クエストの内

		ですか」と聞く。 数字カードを選んで、まどりで正しい位置を指す。 カードを並び替える。	 <u>クエスト6</u>： 場所カードを引かせる。 場所を答える。 （レベル2） （担当者：頼さん） 【クエストの担当者： 1. 時間を記録する表をもらう。 2. 時間を測る。 3. 正解の場合はクリアする。不正解に場合はやり直させる。 4. 三人グループはもう一回クリアしなければならない。 5. 時間を表に書いた後、学習者に返す。 6. 困った時、手を挙げる 東海の実習生：サポート役】 教室に戻る。 【AT：クリア時間を計算する。】 順位を発表する	容の紙 テープ 場所カード 数学カード 並び替えカード 机

分			発表を聴く	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
40分 50分	全体	修了証書を受け取る 振り返りの動画を見る	修了証書を授与する 振り返りの動画を見る	修了証書 動画

5 日目のふり返り

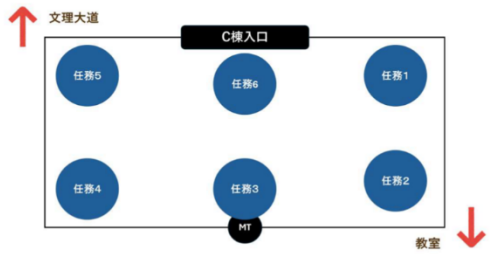
1時間目

ゲームは難しすぎた。思ったより時間がかかったが、学習者たちは一生懸命クエストをクリアする様子を見て、少し感動した。レベル2のクエストも予想したより、多くの学習者がチャレンジしていて、とても嬉しい。

2 時間目

旅のしおりの紹介をしたときに、学習者の反応が良かった。しおり作成の時も、皆熱心に取り組んでくれて嬉しかった。時間が押してしまい、すべての行程を考える時間がなかったのが少し残念であった。

5日目　1時間目　名前(姓名):＿＿＿＿＿グループ(組別):＿＿



- 任務 1

「你現在想要去 OO 車站，但是不知道月台在哪裡，去問問站務員吧!」

(想挑戰加分題的人須詢問出發時間)

基本題:

1.先抽車站卡以及月台卡

2.用日文問:「不好意思，我想去〇〇車站，〇〇號月台會去到〇〇車站嗎」

3.站務員會回答你「不是」，請再用日文問:「在哪裡？」

4.站務員會回答你數字，請再選出正確的數字卡

加分題：

5.用日文詢問:「幾點呢？」

6.站務員會回答你時間，請再選出正確的時間卡

☆車站卡「神戸(こうべ)/大阪(おおさか)/名古屋(なごや)/岡本(おかもと)」、月台卡「1~10」、時間卡(小時為 1~12、分為「30 分」和「半」)

- 任務 2

「你現在想要從〇〇車站去到〇〇車站，但是不知道售票所在哪裡，去詢問站務員吧!」(想挑戰加分題的人請告知站務員付款方式)

基本題:

1. 先抽車站卡

2.用日文說「我想從〇〇車站去到〇〇車站，售票所在哪裡呢？」

3.站務員會用日文回答你「這裡」或是「那裡」

4.請依照站務員的回答在地圖上指出正確的售票所

5. 用日文說「我想買從〇〇車站去到〇〇車站的車票」

6.站務員會用日文告訴你票價，請根據聽到的回答給出正確的金額

加分題：

7.先抽付款方式卡

8.站務員會詢問你要用什麼付款方式

9. 用日文告知付款方式

☆車站卡「神戸(こうべ)/大阪(おおさか)/名古屋(なごや)/岡本(おかもと)」、カード(かーど)、交通系(こうつうけい)

- 任務 3

「你現在在餐廳用餐，請告知店員人數，以及需要吸菸席或是禁菸席」

(想挑戰加分題的人請向店員要茶，並回答店員的問題)

基本題:

1.先抽取人數卡以及座位卡

2.店員會詢問有幾人，請根據抽到的人數卡回答

3.回答完後店員會詢問需要的座位，請根據抽到的座位卡回答

加分題：

4.請跟店員要茶

5.店員會詢問要冰的茶或是熱的茶

6.請自由選擇要冰的還是熱的，並告訴店員

☆人數卡「1~4 人」/禁煙席(きんえんせき/喫煙席(きつえんせき)

- 任務 4

「你現在在超商買東西，關主會事先給小組內隨機兩人集點卡，請在店員詢問有沒有集點卡時回答」(想挑戰加分題的人請跟店員索要袋子)

基本題:

1.先抽取商品卡

2.用日文跟店員說:「不好意思，請給我 OO」

3.店員會詢問是否有集點卡，請組員根據自己是否有拿到集點卡來回答店員

加分題：

4.請用日文向店員索要袋子

☆肉(にく)まん/あんまん

- 任務 5

「你現在正在辦理入住手續，從飯店人員那接過鑰匙後聽取房間號碼，另外，請向飯店人員確認退房時間」**(想挑戰加分題的人需要用日文請飯店人員幫忙保管行李)**

基本題:

1.請先用日文辦理入住手續

2.飯店人員幫忙辦理入住手續後會給出鑰匙與房間號碼

3.請聽取房間號碼是幾號，並選出正確的答案

4.請向飯店人員確認退房時間

5.飯店人員會說出退房時間，請根據聽到的回答寫下正確的時間

加分題：

6.請巡詢問飯店人員能不能保管行李

☆請學會房間號碼的唸法

- 任務 6

「你正在尋找(洗衣房/餐廳/自動販賣機)，請向飯店人員詢問，並找出在哪

一層的哪個地方」(想挑戰加分題的人須排出日文「謝謝」的正確順序)

基本題:

1.先從「洗衣房/餐廳/自動販賣機」三張卡片中抽出其中一張

2.用日文詢問 OO 的位置在哪

3. 飯店人員會回答 OO 的樓層以及位置

4. 先根據聽到的樓層選出對應的數字，然後在平面圖上指出正確的位置

加分題：

5.請排出「謝謝」的正確順序

☆ランドリー（らんどりー）/レストラン（れすとらん）/自販機（じはんき）

旅のしおりIN
日程



1日目

2日目

3日目

持ち物



甲南大学 KONAN UNIVERSITY　東海大學 TUNGHAI UNIVERSITY　愛知県立大学 Aichi Prefectural University

修了証

黃勛澤

參加東海大學日本語言文化學系舉辦之
2024丨東海x甲南x愛知縣立大日語學習營，
共計五天，特頒此狀，以資證明。

あなたは東海大学日本語言文化学系が主催する
2024丨東海x甲南x愛知縣立大日語學習營において
所定の課程を修了したことを証します。

中華民國 113 年 8 月 28 日

アンケート集計結果
（入門クラス）

最終日のクエストの難易度(16 人)

易しい	やや易しい	ちょうどよい	やや難しい	難しい
0%	0%	62.5%	37.5%	0%

しおり作りの満足度(16 人)

易しい	やや易しい	ちょうどよい	やや難しい	難しい
6.3%	6.3%	75%	12.5%	0%

「日本旅行」というテーマは満足したか(16 人)

不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
0%	0%	0%	0%	100%

5 日間を通しての感想

很好
非常值得
遊戲都很有趣~
非常感謝, 非常好玩
因為很想去日本, 剛好也趁這個機會接觸真正的日本人, 也從他們口中知道很多日本好玩好吃的, 學習日語也能很好玩！ 楽しかった、みなさんありがとうございます！
大家人都很好, 課程安排的非常充實, 學到很多東西, 大家都很熱心, 也很預先準備美食給我們
我覺得可以開口說日文感覺很不可思議, TA 也都很親切！ 感覺像朋友一樣, 希望有機會能去日本找他們玩～
這五天真的很開心！！！很高興可以認識おか和組員們, 大家人都很好 😳 😳 😳
非常的棒
這五天很謝謝大家的陪伴！也很開心可以認識你們大家, 五天的日子過得很快, 很不想結束 😭 😭 , 雖然闖關總是落後其他組, 但還是很開心, 愛入門班的大家 💖 💖 💖 💖
活動過程非常愉快 不僅跟組員有互動交流 也跟日本實習生有了很多互動 這幾天也學習到一些日文對話 受益良多
這五天真的非常有趣, 原本只是跟著同學一起來, 來了之後發現真的非常的有趣。 原本就有想學日文, 在這裡學到了非常多, 之後也會繼續努力學日文。能在這裡認識大家真的是太好了。
各位老師、實習生人都很好
感謝辛苦的所有老師們~有您們真好~,感激不盡~♡♡
謝謝各位老師, 大家都很親切！

来年も参加したいか(16 人)

したくない	どちらともいえない	したい
0%	6.3%	93.8%

周りの人に勧めたいか(16 人)

勧めたくない	どちらでもない	勧めたい
6.3	0%	93.8%



初級一クラス

初級一クラス　会議記録

全體會議記錄
時間：5/29，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 参加者自我介紹。
2. 本次日語營形式與規則介紹。
3. 小組内自我介紹。

小組第一次會議紀錄
時間：6/5，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 討論教學的大主題。
2. 決定大主題為「オーバーツーリズム」；五日間的主題分別為「富士山の写真問題」、「白川郷のゴミ問題」、「京都の問題」、「東京の交通問題」、「発表」。

全體會議紀錄
時間：6/14，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 決定要使用的教室。
2. 確認各組課程大主題、每日課程主題。

小組第二次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：6/14，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 向老師説明教學的大主題及每日課程主題。
2. 討論第一、二日的流程及内容設計。
3. 檢討五日課程主題是否與大主題相關並重新思考每日課程主題。

小組第三次會議紀錄
時間：6/26，20：00
地點：Teams 線上會議
1. 討論每日課程的主題並選定地區。
2. 討論每日課程流程、内容、該地區所遇到的觀光問題，以及能夠帶入教學的文法。
3. 第五日發表内容、主題、形式討論。
4. 更改每日課程小主題為「愛知の写真問題」、「鎌倉の交通問題」、「兵庫のゴミ問題」、「京都の問題」、「發表」。

小組第四次會議紀錄
時間：7/15，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 討論每日授課流程大綱及課堂内容，執行細節之確認。
2. 每日 MT 確認。

全體會議紀錄
時間：7/17，19：00

地點：Teams 線上會議
1. 確認各組每天的課程安排。
2. 確認各組最終發表形式。
3. 確認之後的全體會議時間。
4. 建立本次營隊執行人員之 LINE 群組。

小組第五次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：7/17, 19：00
地點：Teams 線上會議
1. 向老師說明五日間的課程大綱與發表會形式、主題。

小組第六次會議紀錄
時間：8/7, 19：00
地點：Teams 線上會議
1. 五日的課程內容設計及互動方式檢討。
2. 討論自我介紹、發表會進行方式、分組方式，及教學形式。
3. 確認需要調整的地方。

小組第七次會議紀錄
時間：8/13, 11：00
地點：Teams 線上會議
1. 第五日教案討論。

小組第八次會議紀錄
時間：8/14, 13：00、16：00
地點：Teams 線上會議
1. 說明並討論第一、二日教案內容。
2. 討論各天安排活動時遇到的問題、課後問卷題目。
3. 確認最終參加學員分組名單及名牌。

全體會議紀錄
時間:8/18, 08:00、12:30
地點:Teams 線上會議
1. 各班進度報告。
2. 確認日方兩校預計抵達時間與接機事宜。

小組第九次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：8/18, 8:30
地點：Teams 線上會議
1. 五日教案說明與檢討。
2. 討論第三日教案。
3. 每日 AT 確認

小組第十次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：8/18, 12：30、15：00
地點：Teams 線上會議
1. 第一、二日修正教案確認。
2. 討論第三、四、五日教案內容需再修改的地方以及如何修改。

小組第十一次會議紀錄
時間：8/19, 08：00、12：00
地點：Teams 線上會議
1. 第一、二日教案實際流程演練。
2. 流程、內容分析檢討。

小組第十二次會議紀錄
時間：8/22, 08：30
地點：HT104、HT106
1. 五日課程模擬。

小組第十三次會議紀錄
時間：8/23, 13：30
地點：HT106
主持：野々口先生
1. 確認第一、二天授課內容、流程與教材。

小組第十四次會議紀錄
時間：8/24, 14:00
地點：HT106
主持：野々口先生
1. 確認第一日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十五次會議紀錄
時間：8/25, 9：00
地點：HT106
主持：野々口先生
1. 確認第二日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十六次會議紀錄
時間：8/26, 13：30
地點：HT106
主持：野々口先生
1. 確認第三日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十七次會議紀錄
時間：8/27, 13：30
地點：HT106
主持：野々口先生
1. 確認第四日回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十八次會議紀錄
時間：8/28, 13：30
地點：HT106
主持：野々口先生
1. 確認第五日回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 完結心得分享。

全體會議紀錄
時間：8/28, 14：00
地點：HT104
主持：張瑜珊老師
1. 各組活動整體概要。
2. 反省不足之處。
3. 完結心得分享。

初級一クラス　日程と担当一覧

全体のテーマ：　観光とオーバーツーリズム

	1 限目 9:00～9:50	2 限目 10:00～10:50	3 限目 11:00～11:50	午後 14:00～
8/23(金) オーバーツーリズムを知る	アイスブレイク 自己紹介 旅行が好きか質問 地図パズル	愛知と台湾の情報紹介、写真問題 愛知県、台湾の紹介 文法「(どこ)には(なに)があります」の導入 写真問題	オーバーツーリズムについての説明 概要説明 台湾の場合	2 日目授業準備
	MT:井上稚葉 AT:黄妍欣	MT:井上稚葉 AT:吳沛恩	MT:井上稚葉 AT:張家怡	
8/24(土) 鎌倉・江の島のオーバーツーリズム	鎌倉・江の島について知る インタビュー 人気な理由を説明 聖地巡礼	可能形を学ぶ 文法紹介 マス形から可能形に変換作業 鎌倉・江の島でできることを伝える	鎌倉・江の島のオーバーツーリズム 江ノ電の交通渋滞 解決策について まとめ、ふりかえり	3 日目授業準備
	MT:豊岡菜帆 AT:吳沛恩	MT:豊岡菜帆 AT:吳沛恩	MT:豊岡菜帆 AT:吳沛恩	
8/26(月) 京都のオーバーツーリズム	京都について知る 文化の紹介 文法「テ形」の導入	京都について知る 観光地の紹介 文法「～てください」 アクティビティ	京都のオーバーツーリズム 京都のごみ問題の動画視聴 ごみ問題の解決策を考える	4 日目授業準備
	MT:蓮井明莉 AT:黄妍欣	MT:蓮井明莉 AT:黄妍欣	MT:蓮井明莉 AT:黄妍欣	
8/27(火) 大阪のオーバーツーリズム	大阪について知る 「テ形」の復習 文法「～てはいけません」 大阪を観光	大阪のオーバーツーリズム 大阪の特徴 間違い探し 黒門市場のオーバーツーリズム	発表準備 文法確認 文法練習 観光地とオーバーツーリズム問題の復習	5 日目授業準備
	MT:梶井万葉 AT:張家怡	MT:梶井万葉 AT:張家怡	MT:梶井万葉、前川礼奈 AT:張家怡	
8/28(水) 発表会	オーバーツーリズムの解決策を考える オーバーツーリズム問題と文法の復習	発表準備	発表 オーバーツーリズムまとめ 修了式	全体の振り返り
	MT:前川礼奈 AT:東海全員	MT:前川礼奈 AT:東海全員	MT:前川礼奈 AT:東海全員	

第一日

8月23日(金) 1日目　担当者名 MT: 井上稚葉　AT: 黃妍欣、吳沛恩、張家怡

学習目標

内容 Contents

- 実習生と学習者、同士がお互いを知る
- オーバーツーリズムとは何か知る

言語 Communication

- 「(場所)には(名詞)があります」
- です、ます、ました形、形容詞など復習

オーバーツーリズムに関することばを知る(訪れる、マナー、違反、危ない、気づかない、困っている、映えスポット、住民、私有地、車道、混雑、悪影響、殺到、不満、SNS など)

思考 Cognition

- 旅行先で写真を撮るときの注意点を考える
- なぜオーバーツーリズムが問題なのか考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- お互いを知る
- 日本(主に愛知)と台湾の観光地を紹介し合う
- オーバーツーリズムについてみんなで考えるきっかけをつくる

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	全体	教師の自己紹介を聴く	スライドを見せながら自己紹介をする	スライド、指し棒
8分	グループ	ニックネームを書く グループで自己紹介をする	テンプレートをスライドで示す 実習生は学習者の手伝い 自己紹介が終わり次第MTに報告	ネームカード、ペン、自己紹介シート、スライド
3分	全体		大テーマ、5日間の流れ発表 オーバーツーリズムの説明 AT:通訳	スライド
3分	全体		旅行に関する質問をする MTとAT:交互に質問、応答の見本を見せる	スライド
7分	グループ	旅行に関する質問をしあう メモをとる	学習者と交流 グループの様子を見て誰に発表してもらうか考える	ワークシート
5分	全体	各グループ1人ずつ、自己紹介＋自分やグループの人が旅行で	MT:1グループずつ指名 実習生:発表の支援	

3 分	全体	何をするか発表 説明を聴く	MT:発表に一言 地図パズルゲームの説明	
6 分	グループ	地図パズルを完成させる できたら担当の実習生を呼ぶ 正解なら台紙に貼る	MT:各グループの見回り 実習生:パズルが正解か確認 終わったら挙手	地図パズル 5 セット 台紙、のり
10 分	全体	日本に行ったことがある人は挙手	答え合わせ 全体で地方の確認 AT:スライド指さし 日本に行ったことがあるか学習者に質問 挙手した人にどこに行ったか質問 1 時間目のまとめ	スライド 地図パズル

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
2 分	全体	説明を聴く	2 時間目の説明 実習生:グループの学習者にワークシート配布	ワークシート
10 分	全体	「映え」の感覚をつかむ 文型を声に出す	MT:「映え」の説明 AT:通訳 愛知県犬山市を例として文型「(どこ)には(なに)があります」の導入	スライド 地図パズル 実習生が撮った「映え」写真
10 分	グループ	台湾全体や、地元の観光地など「映え」スポットをワークシートに書き出す グループ内で共有 写真をクラス LINE で共有	台湾の観光地を紹介する活動の説明 LINE で共有する説明 AT:通訳 実習生:翻訳アプリ等使用し、活動の手伝い	
10 分	全体	LINE に共有された写真の発表	MT:LINE 画面をプロジェクターに反映させ、黒板で指差ししながら発表をうながす	
3 分	全体	発表した観光地の人の多さを考える	「映え」スポットには人がたくさん集まることを説明	スライド
5 分	全体	説明を聴く	観光客の写真を撮るマナーの問題を説明 AT:通訳	
8 分	グルー	グループで話しあい、意見発表	旅行先で写真を撮るとき気をつけ	

	プ		ることを発表させる	
2 分	全体		2 時間目のまとめ	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
3 分	全体	説明を聴く	オーバーツーリズム全体の概要説明 AT:通訳	スライド
4 分	全体	語彙を確認	語彙シート内の語彙を確認 動画を見てワークシートの質問に答えるよう指示する	語彙シート
3 分	全体	オーバーツーリズム関係の動画を見る	1 分ほどの動画を 2 回見せる	動画 ワークシート
3 分	個人	思ったことをワークシートに書く ワークシートの質問に答える	実習生:学習者の手助け	
3 分	グループ	ワークシートに書いたことをグループで話しあう(日本語、中国語どちらでも可)	実習生:学習者の手助け	
3 分	全体	説明を聴く	オーバーツーリズムの諸問題、原因説明 AT:通訳	スライド
3 分	グループ	グループで話す	台湾にオーバーツーリズムはあるか、旅行したときにオーバーツーリズムだと感じたことはあるか質問する	スライド
4 分	全体	グループの意見を LINE に共有	AT:LINE に共有された意見を通訳	
5 分	全体	説明を聴く 地図パズルで観光地の場所を確認	MT:意見をまとめる 日本のオーバーツーリズムが深刻化していると説明 2 日目以降取り上げる観光地を紹介	
10 分		アンケートに答える	MT:3 時間目、および初日の授業のまとめ	アンケートフォーム

学習者アンケートの結果

授業の速さ、内容、満足度いずれもほとんどの学習者から「ちょうどよい」「満足」といった回答を得た。しかし内容の結果に関して、「やや難しい」と答えた学習者が 4 人おり、台湾ではあまり聞かないというオーバーツーリズムについて突然理解するのは学習者にとっては難しかったかもしれない。また、学習者からの意見で、「授業内容を事前に告知してほしい」というものもあった。

1 日目のふり返り

学習者のレベルを知るため、書くことよりも話すことを重視した授業を作った。初めは教師側にも学習者側にも緊張感が漂っていたように思われたが、コミュニケーションを通じてお互いを知ることでそれが徐々にほぐれていったのではないかと思う。ただし、中国語での通訳を想像以上に求められたため、話す内容やスライドの言葉を簡単にすることや、ゆっくり説明することなど、学習者に伝えるための工夫はもっとできたと反省している。

名札に、ニックネーム（呼ばれたい名前）を
書（か）きましょう！

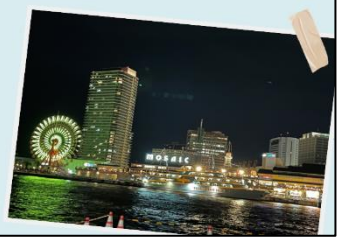


☆ニックネームは
①ひらがな
②カタカナ
③アルファベット
で書きましょう！

02 ○○さんは旅行で何をしますか？

わたしは旅行で○○ます。

- 観光地（かんこうち）に行きます。
- 景色（けしき）を楽しみます。



「映え（ば）」とは何ですか？

写真が美しく映ります/SNSで人気があります
拍得很美的照片／在社群媒體上很有人氣



犬山城下町 で 串グルメ の写真を撮ります。







となりの人と話します

①写真を撮る時、どんなことに気をつけますか？
　隣の人と話します。（中国語可）
②考えを中国語で書きます。
③アプリで日本語に翻訳します。
④日本語で発表します。

写真を撮る時の、悪いマナー（わる まなー）

拍照時，不好的行為舉止

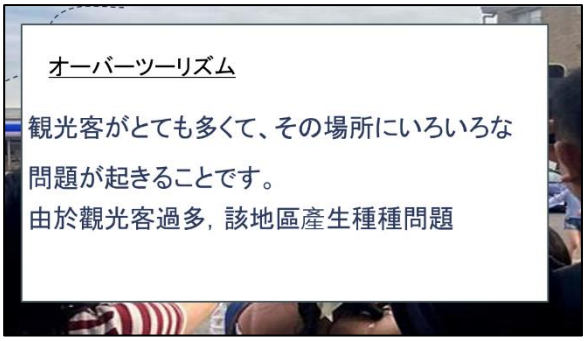
01 人の土地（とち）（私有地（しゆうち））に入ります
擅自進入別人的土地

02 道路（どうろ）（車道（しゃどう））に出ます
突然衝到馬路上

03 「立ち入り禁止」の場所に入ります
闖入禁止進入的區域



立入禁止
KEEP OUT



オーバーツーリズムにはどんな問題がありますか？







台湾にはオーバーツーリズムの問題がありますか？
旅行でオーバーツーリズムの問題がありましたか？



初日授業

担当：井上稚葉

1 時間目ワークシート

1，自己紹介

はじめまして。

わたしの名前は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿です。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿から来ました。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿と呼んでください。

よろしくおねがいします。

2，あなたは旅行が好きですか？

・はい、好きです。

理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が楽しいからです。

がおもしろいからです。

景色が美しいからです。

・いいえ、好きではありません。

理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が楽しくないからです。

がおもしろくないからです。

が怖いからです。

3 時間目ワークシート

1）オーバーツーリズムの説明をメモしましょう。

2）動画を見ます。感想を書きましょう。次のことに答えてもいいです。

(看完影片後，寫下你的感想吧。並回答以下的問題。)

・美瑛町（びえいちょう）には何がありますか？

・人は多いですか？

・観光客は美瑛町で何をしますか？

・観光客はどんな気持ちですか？

・町の人はどんな気持ちですか？

3）グループで話します。グループの人は何を思いましたか？

第二日

教案フォーム　8 月 24 日(土) 第 2 日 担当者名 MT: 豊岡菜帆 AT: 吳沛恩

学習目標

内容 Contents

- 鎌倉の観光地について知る・
- 聖地巡礼についてしり、世界の聖地巡礼地を調べ伝える。
- 可能形について学ぶ。
- 江の島・鎌倉のオーバーツーリズムについてしり、解決策を伝える。

言語 Communication

- 可能形について学ぶ
- 交通や旅行に関する単語をしる

思考 Cognition

- 日本から見た台湾の魅力に気づく
- 鎌倉・江の島のオーバーツーリズムについて考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- 鎌倉・江の島のオーバーツーリズムについて原因を考える
- 日本の聖地巡礼について知り、台湾の新たな魅力を考える

1 時間目

3 分	全体	学習者・MT・AT あいさつ「お願いします」 学習目標の確認	MT: 自己紹介 AT も同様 学習目標の確認 鎌倉・江の島の場所の確認と、鎌倉と江の島がセットで有名な事を述べる(海が近いことや東京から近いことを示唆させたい) AT:鎌倉・江の島紹介スライド見せる	スライド スライド
2 分	全体	MT の鎌倉・江の島の紹介を聞く。		
7 分	全体	鎌倉・江の島に行ったことがあり、写真を提供した学習者は手をあげインタビューに答える。 **(場所、簡単な形容詞で OK、写真があるので話しやすいと期待)**	AT:日本語が詰まっていたら中国語でサポート通訳 他の支援者:自分のグループの人の名前を言う。いった事のあるひとの意見が出ない場合に自分の	

			経験をいう。	
10分	全体	鎌倉・江の島がなぜ人気なのかについて知る。 スライドを見る	MT：鎌倉・江の島が人気の理由を話す AT スライド	
7分	全体	聖地巡礼について知る。 MT が行きたい台湾の聖地について知る。 日本から見た台湾の魅力について知る。 動画出てくる台湾の場所について答える。	MT：聖地巡礼は一つの旅行の形になっている事を説明。 自分の行きたい台湾の聖地についてはなす。 動画再生と、中国語で場所をのべてきたら通訳	
8分	グループ	自分の行きたい聖地巡礼場所について考え、話す。 「(地名)には(映画やアニメ、ドラマ)の聖地があります。私は(どこ)に行きたいです」 (できれば調べて写真をみせてほしい)	MT：学習者の聖地巡礼についてきく 他の実習生：グループ参加(誰も話し始めないときには、実習生から) 話せそうな学習者をマークしておく	
5分	全体	全体で共有する。 手をあげてもらう OR 指名する	MT：学習者の聖地巡礼について聞く。二つのグループの代表者を指名？(なるべく話が盛り上がっていそうなところ) AT： PPT を一度消し、ネットで検索。中国語や英語で作品をきいて、ネットで検索し見せる。 もし何も出てこなければ、AT や他の実習生も台湾や世界の聖地について話す。	
	全体	まとめ	鎌倉・江の島の魅力と聖地巡礼という旅行の形態について。	

2時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
3分	全体	可能形について勉強する。	【導入】 MT：可能形導入 AT：ワークシートを配る	Ppt ワークシート

7 分	全体	スライドをみる	MT:スライド可能形についてせつめい。三グループに分けられている動詞をみせ、動詞の変形の仕方を教える。 他の支援者:迷っているひとのサポート	
7分	個人	ワークシートを用いりマス形から可能形に変換作業		
5分	隣の人	隣の人と確認		
3分	全体	答えの確認	MT:答えをスライドを用いて紹介	
5分	全体	単語の確認 リピート	AT:意味は言わなくて OK MT;リピートしてもらう	
10分	個人	動画をみて鎌倉・江の島で出来ることを考える(二倍速) 動画 3回止めてく https://www.youtube.com/watch?v=KlF1VIU_tIM (	他の実習生:自分のグループの人の補助	
5分	全体	答えの確認		
3分	全体	まとめ		

3時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
3分	全体	導入 オーバーツーリズムがあることを知る 江ノ電の魅力をしる(住民の生活の一部となっており、窓から見える住宅や、海、山をみるなど乗ること自体が観光となっている。 →一方で地域住民が乗れなくなっている 写真をみる(いかに生活に近いか実感してほしい) 動画を見る	MT: AT:ワークシートを配る	Ppt ワークシート
5分 2分	全体		動画の再生 MT: スライドをみせる	
5分	全体	単語の確認 活動の流れの確認		

20分 7分 10分	個人OR グループ	鎌倉市が住民優先の江ノ電、徒歩、レンタサイクルという解決策を考えたこと。方法の説明を聞く 住民優先入場の江ノ電、徒歩、自転車でそれぞれのメリットデメリットを考える 一番良い方法をグループで決め、鎌倉大仏グループで挙げたメリット。デメリットから一番良い選択肢を考える。そして大きい紙に、選んだものと、理由をかく。 例：鎌倉大仏まで歩けます。景色を楽しめます。 発表 その場で紙をもってもらう 今日の振り返り、来週の課題について　（内容的なまとめ、次回のまとめ	他の実習生：グループの人を誘導してください	模造紙 ペン

学習者アンケートの結果

やや難しいという意見も多く、予習したいという言葉もあり先に教えるべきであったなと感じた

しかし授業の速さについてはちょうどよいという意見が多く、誰も置いていかずに授業ができたのではないかと思った

2日目のふり返り

可能形を入れ込んだが、学生など最近学んだ学習者はすらすら学習できたが、高齢者を中心に文法的に日本語を触れていない人にとっては難しい教えたかたになってしまい、学習者同士の情報ギャップが生まれてしまった。レベルについてもう少し考えるべきであった。3 時間目に初めてポスター作成を導入したが、今まで積極的に声を発することをしなかった学習者などが絵を使ってグループに溶け込もうとする姿を見て良い挑戦であったと感じた。また実際は一時間目が早めに終わったので、休憩を少し前倒しにし、三限の準備の時間を延ばし、終わりの時間は変わらず調整した。

– 2日目

鎌倉・江の島



2024.8.23 日本語キャンプ2日目
豊岡菜帆

学習目標

1. 鎌倉・江ノ島の魅力（みりょく）を知ります
2. 可能形を勉強します
3. 鎌倉・江ノ島のオーバーツーリズムについて知ります



聖地巡礼

アニメ・漫画、映画、ドラマなどの舞台の場所や建物を、聖地と称して訪れること。
訳 將動畫、漫畫、電影、電視劇等的拍攝地或建築物稱為神聖之地去造訪

- 二日目二時間目

可能形

鎌倉・江の島にはたくさんの魅力があります。
鎌倉・江の島でできることを
伝えるために可能形を勉強します。
鎌倉和江之島有許多魅力
為了傳達鎌倉和江之島的魅力來學習可能型吧

可能形　かのうけい

何かをすることができる時につかいます。
訳　能夠做某件事的時候



納豆（なっとう）を食べます(ます形)
→納豆が食べられます（肯定）訳 我能吃納豆
納豆が食べられません（否定）
納豆が食べられました（過去、肯定）
納豆が食べられませんでした（過去、否定）

動詞のグループ

Ⅰ←　i（い）ます
Ⅱ←　e（え）ます
例外　見ます
Ⅲ←　来ます・します

可能形 かのうけい 何かをすることが出来るときに使います。

【Ⅱ】

〇〇ます→〇〇られます



請寫下以下三個交通方式的優點與缺點

	優點	缺點
1. 住民優先の江ノ電		
2. 徒歩		
3. レンタサイクル （自転車）		

二日目三時間目

ワークシート

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ⅰ．　混雑している鎌倉駅から鎌倉大仏に向かう観光客に一番良い交通手段をおすすめします。（訳）
Ⅰ．請推薦觀光客從擁擠的鎌倉車站前往鎌倉大佛最好的交通方式

活動流程：

① **事先查詢並理解以下單字的意義（包含影片中所出現與補充單字）**

② **觀看影片（壅擠狀態的車站）**

③ **分別寫下以下三種交通方式的優點與缺點（個人）**

④ **和同組的同學一起討論並選出最好的方法（組別）**

⑤ **將選擇的交通方式與理由寫在大海報上（組別）**

⑥ **寫好的組別請將大海報貼在黑板上**

⑦ **一組派出一位代表向大家推薦自己組所選擇的交通方式**

活動の流れ

① 活動するために必要な単語を確認します
② 混雑している駅の様子を動画で見ます
③ 個人で各交通手段のいいところ、悪いところを紙に書きます
④ グループで考えたいいところ、悪いところを話し、一番良い選択肢を選びます。
⑤ 選んだものと、理由を大きい紙に書きます
⑥ できたグループから前に貼ります
⑦ 代表者はクラスのみなさんが観光客と思い、一番良い交通手段をお勧めします。

① 単語確認

	日本語	読み方	中国語	意味
1	徒歩	とほ		
2	渋滞	じゅうたい		
3	緩和	かんわ		
4	移動手段	いどうしゅ		
5	住民	じゅうみん		
6	満員電車	まんいんでんしゃ		
7	レンタサイクル	れんたさいくる		
8	回避する	かいひする		
9	景色	けしき		
10	ぎゅうぎゅう詰め	ぎゅうぎゅうつめ		
11	実証	じっしょう		
12	ゴールデンウィーク			

② 動画をみます

メモ

③ 各交通手段のいいところ、悪いところを書きましょう

	いいところ	悪いところ
① 住民優先の江ノ電	例：涼しい	
② 徒歩		
③ 自転車		

二日目二時間目

ワークシート

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．ます形から可能形に変えます。

参考:一．i+ます→e+ます

二．〇〇ます→〇〇られます　三.します→〇〇できます

	ます形	可能形
例	英語を話します	英語が話せます
1	テニスをします	テニスができます
2	海を見ます	
3	自転車に乗ります	
4	本を読みます	
5	海で泳ぎます	
6	二時間歩きます	
7	ごはんをつくります	
8	お土産を買います	
9	荷物をもちます	
10	お酒を飲みます	
11	魚を食べます	

2. 鎌倉でできることを隣の人に伝えます。

日本語	読み	中国語	意味
地元	じもと		
住民	じゅうみん		
夕日	ゆうひ		
限定	げんてい		
おみくじをひく	×		
いちご飴	いちごあめ		
切符	きっぷ		
鏡	かがみ		
サンドイッチ	さんどいっち		
改札口	かいさつぐち		
お土産	おみやげ		
鳩	はと		
のりば	×		
ふみきり	×		

動画で出てきたお土産

・半月焼（はんげつやき） ・今川焼（いまがわやき）

例：鎌倉ではお土産が買えます

メモ

第三日

教案フォーム　8月26日(月) 第3日 担当者名 MT:蓮井明莉　AT:黄妍欣

学習目標

内容 Contents

- 京都の有名な文化、観光名所、オーバーツーリズムを知る。
- テ形を含んだ文章を学ぶ。

言語 Communication

- ＜動詞(て)＞て

思考 Cognition

- 自分の出来るオーバーツーリズムの対処法を考える。
- 観光地で使える文法を学びながら当事者意識を持ち考える。

協学・異文化理解 Community/Culture

- 伝統文化を知り京都への造詣を深める。
- 京都の有名な文化、観光名所について知る。
- 日本のオーバーツーリズムについて知る。

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	全体	スライドを見る	始まりの挨拶	スライド
		スライドの自己紹介文を見る	自己紹介(「大家好、我是～」などの中国語の文章とともに日本語での文章をスライドに映し、それらを発音する)	
8分		スライドを見て写真の場所を考える	京都で撮影した写真を出す	
		質問を聞き答える	知っているか聞く(知っていた場合正解だという事を伝える)	
15分		質問を聞き答える	スライド5で誰が写真を撮りましたか？と質問する。日本人に撮って貰うときはなんと言ったらいいかという流れに持っていく。	
		どのようなシチュエーションなのか理解し問題を考える	テ形を使った文章のスライドで問題提起する(写真を撮りたい時の文章)	
20分				ハンドアウト
		目標を確認して文法・単語に	MT:「テ形とは」を紹介し例を	

25分		ついて説明を明記したハンドアウトを受け取る。	見せる AT:ハンドアウトを配る	
40分	グループ	グループ分けを確認する	MT:説明する AT:動詞のグループ分けを班で説明する	
43分	全体	当てはめ形式提示された問題文の答え書きこむ	色々な動詞でのテ形活用を考える問題を出す	
50分		リピートする	MT が答えを読みあげリピートし確認する	
		テ形の歌を聴く	テ形の歌を流す	
		最後にまとめを通して今回の内容を理解する	今日のまとめを出す	
			次回予告と終わりの挨拶	

2時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	全体	二時間目の目標を確認する	始まりの挨拶と導入 目標を述べる	スライド
		「てください」の使い方を確認する	「てください」の使い方を説明する	
8分		リピートする	例文を提示し発音する	
		例文のシチュエーションを知る	例文の文章を読む	
15分		リピートする	例文を提示し発音する	
		例文のシチュエーションを知る	例文の文章を読む	
18分	グループワーク	アクティビティの説明を聞く	アクティビティの導入	ハンドアウト
30 分		アクティビティを行う	MT:見本を見せる AT:学習者の手助けをする	
32 分	全体	テ形のスライドを見ながら「ください」を使った文章	「てください」を使う文章の作成に導入する	スライド

42 分 47分 50分	グループワーク	の作り方を学ぶ ハンドアウトの問題を解く リピートする 「てください」の使い方を学ぶ おすすめスポットで京都の観光地を知る 今回の文法を復習する	MT:テ形の作り方を表示し教室を見回る AT:班の中で学習者の理解を助ける ハンドアウトの答えを確認しながら発音する 例文を出し「てください」の作り方を復習する おすすめスポットの写真の場所を紹介する 「てください」の使い方を復習する 終わりの挨拶をする	

3時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
0 分

20 分 28 分 38 分 42 分 45 分	グループ 全体	質問に答える スライドを見る スライドを見る スライドを見る アンケート回答	解答を 1 枚ずつ提示 「どのような解決策がありますか」 テ形を使うこと 「～てください」を使って発表してもらうことの指示 AT：話し合いテーマ、「～てください」の文型で発表してもらうことを通訳 話し合い（10 分） 話し合いの発表 各グループ一人が話す まとめ 終わりの挨拶 「今日は～を勉強しました。 明日は～を勉強します。」 アンケート提示	

学習者アンケートの結果

「授業の速さ」については全員が「ちょうど良い」という評価だった為良かったと思う。

だが、「内容の難しさ」は「ちょうど良い」が 10 人、「やや難しい」が 5 人であった。たくさんの活用を覚えなければならないテ形について一日で学ぶという点がこの結果に繋がったと考えられる。

3 日目の振り返り

難しい学習内容でしたが学習者の方が学ぼうとしてくれたため授業が行うことができたと思います。3 日目は日本語キャンプの折り返し地点でもあったためアクティビティやテ形のうたなどの息抜きのような時間を取れたことが良かったです。

景観の規制



京都では景観のために、彩度の強い色や、建物の高さなどを規制する条例があります。

在京都為了美觀，有限制建築物的色彩強度及高度的條例。





アクティビティ
遊戲

「てください」GAME （ゲーム）

① 按照老師說的做動作
例：請起立、請坐下
②答錯了、做錯動作的人淘汰!(坐下)
③留到最後的獲勝(全對)

請大家起立！！！！！
首先由老師先開始



テ形とは
テ型是什麼？

動詞の活用方法の一つ！
これらのたくさんの文章で使えます。



復習
テ形の作り方
如何製作テ形

・Ⅰグループ

・～います、～ちます、～ります	→	～って	撮ります ↓ 撮って
・～みます、～びます、～にます	→	～んで	
・～きます	→	～いて	
・～ぎます	→	～いで	
・～します	→	～して	

・Ⅱグループ

・～ます	→	～て	居ます ↓ 居て

・Ⅲグループ

・します	→	して
・来ます	→	来て

Q.これはどこですか？
（這裡是哪裡？）







A.京都



付き合って
ください

Will you be couple with me?
你想和我結婚嗎？

動詞の種類

・Ⅰ
「ます形」の「ます」の前の母音が「 i 」（い）
→「読みます」「行きます」「話します」

・Ⅱ
「ます形」の「ます」の前の母音が「 e 」（え）
→「食べます」「寝ます」「教えます」

・Ⅲ
「来ます」・「します」

テ形の作り方
如何製作テ型

・Ⅰグループ

・～います、～ちます、～ります	→	～って	撮ります ↓ 撮って
・～みます、～びます、～にます	→	～んで	
・～きます	→	～いて	
・～ぎます	→	～いで	
・～します	→	～して	

・Ⅱグループ

・～ます	→	～て	居ます ↓ 居て

・Ⅲグループ

・します	→	して
・来ます	→	来て

あ a	い i	う u	え e	お o
か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko
さ sa	し si	す su	せ se	そ so
た ta	ち ti	つ tu	て te	と to
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no
は ha	ひ hi	ふ hu	へ he	ほ ho
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo
や ya		ゆ yu		よ yo
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro
わ wa				を wo

日本語キャンプ３日目　１時間目

😊マークの付いているはプリントして最後にお渡しします！

【3 種類の動詞】

- **Ⅰグループ**・・・「ます」の前の母音が「ｉ」（い）
- **Ⅱグループ**・・・「ます」の前の母音が「ｅ」（え）

（例外：起きます、居ます、見ます、貸しますなど）

- **Ⅲグループ**・・・「来ます」・「します」

【テ形の作り方】

Ⅰグループ

「ます」の前が

- ～います、～ちます、～ります　→　～って
- ～みます、～びます、～にます　→　～んで
- ～きます　→　～いて
- ～ぎます　→　～いで
- ～します　→　～して

Ⅱグループ

- ～ます　→　～て

Ⅲグループ

- します　→　して
- 来ます　→　来て

日本語キャンプ３日目　１時間目

【テ形ワークシート】

	日本語	ひらがな	動詞の中国語
撮り（ます）＋て	撮って	とって	拍攝
乗り（ます）＋て			搭乘
受け取り（ます）＋て			收；領
買い物し（ます）＋て			購物
書き（ます）＋て			寫
聞き（ます）＋て			聽
い（ます）＋て			有(存在)
入り（ます）＋て			進入
捨て（ます）＋て			丟
持って来（ます）＋て			帶來
持って帰り（ます）＋て			帶回去

日本語キャンプ３日目　２時間目

1. 【テ形の文をつくります】

	日本語	中国語
写真を撮り（ます） ＋て＋ください	しゃしん と 写真を撮ってください	請拍照
ごみを捨て（ます） ＋て＋ください		請丟垃圾
着物を着せ（ます） ＋て＋ください		請穿和服
分別し（ます）＋て＋ください		請分類
商品を受け取り（ます） ＋て＋ください		請收下商品
トイレを貸し（ます） ＋て＋ください		請借我廁所
店員さんを呼び（ます） ＋て＋ください		請叫店員過來

少し待ち（ます） ＋て＋ください		請稍等一下
前を向き（ます） ＋て＋ください		請看向前面
車道を離れ（ます） ＋て＋ください		請遠離車道
歩道に入り（ます） ＋て＋ください		請走人行道

日本語キャンプ３日目　３時間目

【語彙】

日本語	ひらがな	中国語の意味
祇園	ぎおん	祇園
カラス	からす	烏鴉
足の踏み場もない	あしのふみばもない	(髒亂得)連落腳的地方都沒有
投稿します	とうこうします	投稿
屋台	やたい	小吃攤
残念	ざんねん	可惜
ごみ箱	ごみばこ	垃圾桶
溢れます	あふれます	溢出
空き容器	あきようき	空的容器
頭を悩ませます	あたまをなやませます	讓~感到煩惱
売上	うりあげ	銷售額；營業額
伝統	でんとう	傳統
掃除	そうじ	打掃
回収します	かいしゅうします	回收
時期	じき	時期
ピーク	ぴーく	高峰

日本語キャンプ３日目　３時間目

動画についての質問に答えます

1、店の人の気持ちはどうですか？

語群 楽しい、おもしろい 残念、悲しい、嬉しい、

2、店の人はごみを　　何もしません　/　掃除します。

3、ごみ箱の数は少ないですか？　　多い　/　普通　/　少ない

4、どんなごみがありますか？

5、京都市は１日に何回ごみを回収しますか？

話し合いのメモ欄

第四日

教案フォーム　8 月 27 日(火) 第 4 日 担当者名 MT: 梶井万葉 AT: 張家怡

学習目標

内容 Contents

- 大阪の観光地について知る。
- オーバーツーリズムについて理解し、考える。

言語 Communication

- 「～てはいけない」の文型を学ぶ。
- 今まで習った文型を使えるようになる。
- 大阪についての言葉を知る。

思考 Cognition

- 大阪の観光地の問題点に気づく。
- 大阪の特色について考える。

協学・異文化理解 Community/Culture

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5 分	全体	スライドを見る。 MT の話を聞く。 MT の会話に続けて繰り返す。	MT:おはようございます。私は大阪から来ました。大阪と名古屋の話し方は違います。面白い大阪の言葉を紹介します。 →チャウチャウちゃうんちゃうの文章を紹介。私とあかりで会話文を見せる。 AT:会話文を口頭で訳してもらう MT:今日の授業で大阪弁の言葉を探してください。	スライド
10 分	個人	Kahoot にアクセスする。 Kahoot の問題をとく	MT:昨日て形を学びました。復習します。 AT:Kahoot の説明を口頭で訳してもらう。 他の実習生:kahoot アクセスできているか確認。	Kahoot
10 分	グループ	スライドを見る。 「～てはいけません」の練習クイズをグループでする。	MT:今日は「～てはいけません」を学びます。何かを禁止するときに使います。 →作り方の説明 AT:作り方を口頭で訳してもらう MT:「～てはいけません」の練習をします。 ルール説明をする。	スライド スライド 紙、ペン

			AT:ルールを口頭で訳してもらう ※問題を見せて「何をしてはいけませんか」と毎回聞く。 他の実習生:「～てはいけません」を使って答えているか確認。て形の変換、難しい単語の補助。	
3分	全体	スライドを見る。 MT の話を聞く。	MT:大阪には様々な観光地があります。大阪を観光します。 大阪観光アクティビティのルール説明 AT:中国語でも説明してもらう。 MT:ツアーガイドさんは手をあげてください。 他の実習生:自分が紹介する場所の写真を持って手を上げる。 MT:この四人がツアーガイドさんです。皆さんに大阪を紹介します。	スライド
15 分	グループ	ツアーガイドさん(MT・AT以外の実習生)の説明を聞いてワークシートにメモを取る。中国語可 他のグループに聞いた観光地の案内をする。 →発表のためにツアーガイドさんの聞き取れた情報をグループ内で共有。発表準備。	他の実習生:自分の担当の大阪の観光地を案内する。	ワークシート（個人） ワークシート（グループ）
7分	全体	1チーム１分ぐらいで観光地の発表をする。	フィードバックをしっかりする。	スライド

2時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	グループ	・1限目の大阪の観光地で気になった場所の共有	MT:1 時間目に大阪の観光地を学びました。皆さんは大阪のどこに行きたいですか？グループの人と話します。 AT:口頭で中国語訳を伝える。	スライド
3分	全体	スライドを見る。	MT:大阪にはいろいろな特徴があります。 →大阪の特徴の説明 MT:今紹介した場所は大阪の人が思う観光地です。 しかし、外国人に人気の観光地は違います。外国人がよく行く観光地に	スライド

			は次のようなオーバーツーリズムが起こります。	
5分 10 分	 グループ	スライドを見ながらルール説明を聞く どのような違いがあるか考える。中国語あり。ワークシートに書き込み。	他の実習生：2 枚の写真を机に置く間違い探しのルール説明。	スライド 写真×4 ワークシート
	全体	見つけた違いを発表。		
5分	全体	MT の話を聞く	MT：ここからわかるように昔と今は違います。町の人たちはどんな気持ちですか？映像を見ます。映像を見る前に単語の確認をします。語彙シートを見てください。	スライド 語彙シート
7分		単語を繰り返して読む 黒門市場の映像を見る。	MT：映像を見ます。 →映像 28 秒から（3分 13 秒）×2回 MT：映像はどのような内容でしたか？中国語でグループで話します。 AT： 口頭で通訳	スライド
10 分	グループ	映像がどんな内容だったか中国語で軽く話し合う。		
5分	全体	スライドを見ながら MT の話を聞く。	MT：たくさん意見が出ましたか？動画の内容のまとめと大阪のオーバーツーリズムの現状について説明。 AT：上の文を口頭でも訳してもらう	

3時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
分	全体	スライドを見る。	文法確認 はじめの挨拶	スライド
10 分		Kahoot		
10 分		日本の行きたい場所を紹介する	日本で行きたい場所を尋ねる ワークシートに沿って活動説明	ワークシート 地図
	グループ		グループで話しあうよう促す 全員話せなくても 5 分でタイムアウト 実習生：「〇〇さんは、日本のどこに	

			行きたいですか？」投げかけ 地図を使って場所を教えてもらうように促す。	
		他の学習者が行きたい場所を聞き取る	グループの人がどこに行きたいかを地図に書き込んでもらうように促す。	
5 分	全体		全体共有 数名に前で地図を指して話してもらう MT:「〇〇さんはどこに行きたいですか？」 AT:地図を持つ	
			発表に対するコメント	
10 分	個人		MT:ワークシートの穴を埋めたものを読む。 学習者に( )を聞き取ってもらう。	ワークシート pdf
			AT:会話を聞いて( )を埋めることを通訳 実習生:ワークシートに注目してもらうよう促す。会話を聞いて空欄を埋めることの確認。	
		文法の復習をする 学んだ文法を使った会話文のワークシートの空欄を穴埋め	MT:①読む ( )を埋めてもらう時間がかかるので、文章を途切れ途切れにしながら会話する。	
		①教員が読むのを聞いて、穴埋めする ②回答確認 ③意味の確認 ④教員の後に続いて読む	MT:できたか確認。 もう一回読む。 2回目は流れよく。 MT:①読む	
		④ ペアで交代練習(5 分)	②スライドで回答確認 解答を入力したPPT提示 MT:読む	
			⑤ 意味の確認 AT:必要に応じて意味の通訳	
			⑥ 声に出して練習する MT:読む 学習者には復唱してもらう。	
	ペア		⑦ 隣の人と練習 終わり次第交代で練習	

5 分	全体	オーバーツーリズム復習 明日の授業説明を聞く アンケート回答	実習生:学習者の様子を見つつ発音フォロー 解答入力したPPT提示 MT:文章の最後から交通問題に触れる。 ⇒オーバーツーリズム 翌日の予告 実習生:発表説明ワークシート配布 配布資料を全て持参するよう促す AT:以下の内容を通訳 ・明日発表すること ・配布資料に発表内容が記載されていること ・今日までの単語シート、ワークシートを必ず持参すること 実習生: 明日持参する単語シート等見せて強調	PPT ワークシート

学習者アンケートの結果

速度はちょうどいいと回答してくれた人が多かった。内容はやや難しいが少し居たが、ほとんどの人がちょうどいいと回答しており、満足度もだいたいの人が満足と回答してくれた。

4 日目のふり返り

3 日目に学習したテ型を引き続き使用するため、前日の学習者の理解度が心配だったが、予想以上に理解が早く 4 日目の復習もスムーズに言ったように感じた。オーバーツーリズムという難しい話題を扱っているため、導入を簡単にまた、興味のそそるような授業をするためにアクティビティを多くしたことで学習者が盛り上がってくれたと感じた。

大阪

大阪は関西地方です。
（大阪位於關西地區。）
関西地方には方言があります！
（關西地區會說方言！）



面白い大阪弁をみんなで練習します！

大阪弁



A：あれ、チャウチャウちゃう？
B：ちゃうちゃう！
あれ、チャウチャウちゃうんちゃうん？
A：ちゃうて！チャウチャウやって！

（A：あれはチャウチャウ（犬の種類）ですよね？
B：違います違います！
あれはチャウチャウではないんじゃない？
A：違います！チャウチャウです！）

今日の目標

- 「～てはいけません」を学びます。
- 大阪の観光地を知ります。
- 大阪のオーバーツーリズムについて考えます。
- 4日間の復習をします。

～てはいけません

意味：禁止するときに使います。
要表達禁止做某事的時候使用。

作り方

て形＋はいけません

例）買います→買って→買ってはいけません
捨てます→捨てて→捨ててはいけません
します→して→してはいけません



まとめ

- 禁止の表現は「～てはいけません」です。
- 大阪にはたくさんの観光地があります。

大阪の特徴

大きなイベントがあります。
観光大阪にはあります。
美味しいご飯がいっぱいあります。
人が多いです。

大阪にはどんな特徴がありましたか？

黒門市場

今と昔は違います！





黒門市場

- 地域住民はどう思いますか？映像を見ます。

（當地居民是怎麼想的呢？來看影片吧！）



https://youtu.be/H6OZjEFdsw8?si=6KeMKUi-zQNebEp-

黒門市場のオーバーツーリズム

老舗と新しいお店の人の思っていることは違います。
（ 老店舖和新店家所抱有的想法不同。）
大阪は経済優先の町です。大阪府は外国人が多いことをオーバーツーリズムと思っていません。
（大阪是以經濟為優先的城市。因此大阪並不認為外國人過多是造成觀光公害的原因。）
オーバーツーリズムかどうかも人それぞれです。
（是否會造成觀光公害也因人而異。）

4 日目 1 時間目ワークシート

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

- 禁止の表現
  「〜てはいけません」→て形＋はいけません

- 大阪の観光地では何ができますか？何をしてはいけませんか？
  ツアーガイドさんの話を聞いてメモを取ります。(中国語可)
  (在大阪的觀光景點可以做什麼？不能做什麼？請記下你所聽到的內容。)

できること (可以做的事)	してはいけないこと (不可以做的事)

- グループで共有します。観光地を案内できるように準備をします。(日本語)
  (和小組共享。準備想要介紹的觀光景點。)

私たちは＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を案内します。

できること	してはいけないこと

4 日目 2 時間目ワークシート

- 二枚の写真を見て違うところをグループで書きましょう。
  （觀察這兩張照片，和組員一起把不一樣的地方寫下來吧）

- グループの点数(小組的分數)

1 時間目の点数＿＿＿＿＿＿＿＿

＋

2 時間目の点数＿＿＿＿＿＿＿＿

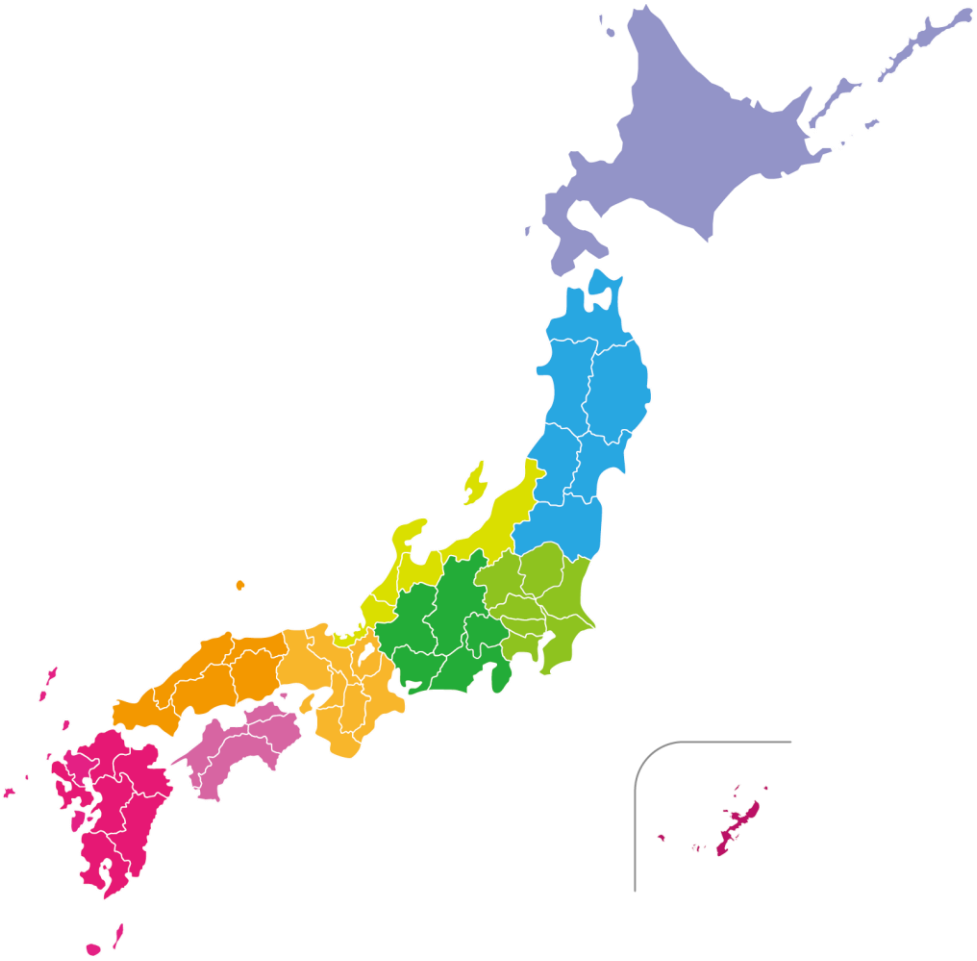
合計＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿点

４日目３時間目ワークシート

1. 行きたい場所はどこですか？

私は（　　）に行きたいです。

2. 行きたい場所はどこにありますか？地図で教えてください。



3. そこにはどんな観光地がありますか？

例：大阪にはUSJがあります。

①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

４．３の観光地で、どんな写真を撮りますか？

例：USJ でピカチュウの写真を撮ります。

① 。

② 。

グループの人はどこに行きたいですか？

2 の地図に書いてください。

第五日

8 月 28 日(水)第 5 日　担当者名 MT:前川礼奈 AT: 吳沛恩

学習目標
内容 Contents
- オーバーツーリズム問題について復習する。
- 日本のオーバーツーリズム問題を紹介し、解決策を発表する。

言語 Communication
- 4 日間学んだ文法や単語を使って、自分の意見を表現する。

思考 Congnition
- オーバーツーリズム問題とは何か、取り上げる事例の解決策を考える。

協学・異文化理解 Community/Culture
- 日本には多くの観光地がある一方で、オーバーツーリズム問題が伴うことを理解する。
- 世界中どこでも起こり得るオーバーツーリズム問題に対する意見を持つ。

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材教具
5 分	全体		はじめの挨拶、目標確認	PPT
	グループ	オーバーツーリズム概念復習 (グループで話し合って復習)	「オーバーツーリズム」の概念についてグループで話し合ってもらう 実習生:覚えているか、どんな問題だったか投げかける	
	全体		オーバーツーリズム「観光客がとても多くて、その場所にいろいろな問題が起きること」 初日と同じ説明文で説明	
5 分	グループ	オーバーツーリズム問題復習 1 日目の内容グループで相談 (中国語可) →1 グループ発表	1 日目に学んだ内容をグループの人と話しあってもらう 1 グループ実習生:話す人、内容確認 その他実習生:ワークシートを活用して思い出してもらえるよう促す	
2 分	全体	犬山城下町とオーバーツーリズム、 文法復習 ・「～には〇〇があります」 ・「～てください」	犬山城下町について 4 日間の文法を用いながら復習 「愛知県犬山市には犬山城下町があります」 「上の写真を見てください」 「下の写真を見てください。」 2 つは同じ場所→なぜ人が増えたか。	

2 分	全体		「犬山城下町には串グルメがあります」 →「映え」の復習	
		富士山とオーバーツーリズム(写真) 文法復習 ・可能形	富士山について 4 日間の文法を用いながら復習 「ここでは映え写真が撮れます。」 →「映えスポット」復習 写真の問題点(撮影者と車)指摘	
2 分	全体		写真を撮るときに気をつけることを考えたアクティビティ復習	
		北海道とオーバーツーリズム(写真) 文法復習 ・「～には○○があります」 ・可能形	北海道について 4 日間の文法を用いながら復習 「北海道にはきれいな池があります」 「きれいな写真(映え写真)が撮れます。」 →「映えスポット」復習 写真の問題点(撮影者と車)指摘	
4 分	グループ		2 日目に学んだ内容をグループの人と話しあってもらう	
3 分	全体	2 日目の内容グループで相談(3 分) →2 グループ発表	2 グループ実習生:話す人、内容確認	
		鎌倉とオーバーツーリズム(交通) 文法復習 ・可能形	鎌倉について 4 日間の文法を用いながら復習 「鎌倉では江ノ電に乗れます」 写真→「映え」「聖地巡礼」復習 地域住民に江ノ電は必要 ⇔改札写真　→旅行客の多さ指摘	
5 分	グループ		一番良い交通手段をお勧めしたアクティビティ復習 実習生:作成したポスターを見せる	
2 分	全体	3 日目の内容グループで相談(3 分) →3 グループ発表	3 日目に学んだ内容をグループの人と話しあってもらう 3 グループ実習生:話す人、内容確認	
		京都とオーバーツーリズム(ごみ) 文法復習 ・「～には○○があります」 ・「～てください」	京都について 4 日間の文法を用いながら復習 「京都にはいろいろな観光地があります。」 ⇔ごみ問題 解決策を考えたアクティビティ復習	
4 分	グループ		4 日目に学んだ内容をグループの人と話しあってもらう	
2 分	全体		4 グループ実習生:話す人、内容確認	

4 分 5 分	全体 全体	4 日目の内容グループで相談(3 分) →4 グループ発表 大阪とオーバーツーリズム(混雑) 文法復習 ・「～には〇〇があります」 オーバーツーリズムのまとめ理解 発表説明を聞く 発表のイメージをもつ	大阪について 4 日間の文法を用いながら復習 「大阪には観光地がたくさんあります。」 →黒門市場 外国人観光客、黒門市場のものの価格は高い大阪府は経済優先の考え方 →でも外国人が多いことをオーバーツーリズムだと考えないこと復習 まとめ、オーバーツーリズム意味再確認 日本のオーバーツーリズム問題は大きい →解決策を考えるアクティビティへ繋げる ワークシートを見てもらう 実習生:前日配布の発表説明ワークシートがあるか確認 発表内容説明 AT:PPT の発表内容通訳、質問がないか確認 実習生:指示内容が理解できているか様子をみてフォロー MT:ポスター見本で発表見本を見せる 実習生:始まりと終わりの言葉を学習者と確認する 「5 班の発表を始めます。」 「これで発表を終わります。ありがとうございました。」	

2時間目

	グループ	発表準備 ・場所を決める、調べる ・ポスター作成	MT/AT/実習生:様子を見てサポート ポスター完成次第、前に貼る	ワークシート模造紙ペン

3 時間目

10 分	全体	発表	学習者に前に出て発表してもらう AT:中国語での発表部分があれば通訳 実習生:発音等サポート	

			MT/実習生:1 グループごとコメント	
5 分		発表まとめ	MT/AT:PPT 内容読む	PPT
		まとめ、アンケート		
		修了式		

学習者アンケートの結果

発表の難易度に関して、18 名の回答者のうち 15 名が「ちょうどよい」を、3 名が「やや難しい」を回答した。やや難しいと回答した学習者のコメントには、スピーキングスキルを向上させる必要があるとあったことから、考える段階よりも話す段階に難しさを感じたと思われる。授業の速さについては、全員が「ちょうどよい」と回答した。4 日間の復習ではあるものの、かなりゆっくり簡潔に話すことを意識したことが良かったのかもしれない。

5日目のふり返り

「オーバーツーリズムとは何でしたか」という投げかけに対するリアクションや、授業で取り上げた地域以外の発表もあったことから、オーバーツーリズムの概念はきちんと理解してもらえたと感じた。グループについた実習生による報告から、発表に向けたグループでの準備の際は、学習者ごとに役割分担ができていたり、話をまとめることが難しかったりとグループによる特徴が見られたようであったが、最終的に全てのグループがオーバーツーリズム問題と解決策について発表することができた。また、発表はグループの全員が一回は発言するようにと指示したことで、これまで発言の機会が少なかった学習者にも日本語を話す経験をしてもらうことができたと考えている。

オーバーツーリズム

観光客がとても多くて、

その場所にいろいろな

問題が起きること

由於観光客過多，
該地區產生種種問題

1日目　犬山城下町

写真が美しく映ります
拍得很美的照片

串グルメ





映え

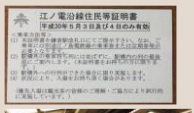
SNSで人気
在社群媒體上很有人氣





2日目　鎌倉　一番良い交通手段をおすすめしました

①住民優先の江ノ電





②徒歩



③レンタサイクル
（自転車）



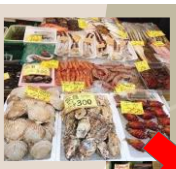
3日目　京都　ごみ問題の解決策を考えました

- ごみをごみ箱に捨ててください
- ごみは家に持ち帰ってください
- マイボトルを持ってきてください
- 空き容器を小さくしてください
- 掃除料金を徴収してください

— 18

4日目　大阪





英語

物価が高い

観光客向けの商品



経済優先

大阪是以
經濟為
優先的城市

オーバーツーリズムのまとめ

旅行は楽しいです。地域の経済も活性化します。

しかし観光客が多すぎると様々な問題が起きます。

旅行很快樂，能促進當地的經濟，
但若觀光客太多會產生各式各樣的問題

— 31

オーバーツーリズムのまとめ

オーバーツーリズムの解決は簡単なものではないです。

いろいろな要因が絡み合っています。

多くの視点から問題を考えることが大切です。

要解決觀光公害問題並不容易，
由於涉及到各式各樣的因素，
重要的是從多個角度去思考問題

— 32

オーバーツーリズムのまとめ

観光地に住んでいる地域住民のことも

考えてみることが大切です。

そうすれば、地域住民も観光客も気持ちよく過ごせます。

顧慮觀光地區居民的心情也十分重要。
這樣的話，當地居民和觀光客的心情也會更為舒適

— 33

5 日目ワークシート

グループでポスターを作ります。

1. 場所を一つ選んでください。

   犬山市 ・ 富士山 ・ 北海道 ・ 鎌倉 ・ 京都 ・ 大阪 ・その他

2. そこにはどんな観光地がありますか？

   何がありますか？何ができますか？

3. そこにはどんなオーバーツーリズムの問題がありますか？

   調べてください。（例：写真問題）

   インターネット使用 OK、勉強した問題以外も OK

4. 3 の問題の解決策を考えてください。

5. 解決するために観光客がしてはいけないことは何ですか？

（例：私有地に入ってはいけません。）

   観光客がすることは何ですか？

（例：ごみを持ち帰ってください）

6. 観光客が 5 のルールを守ると、どんなことが起こりますか？

（例：渋滞を回避できます。ゴミを減らせます。）

和小組一起製作海報

1. 請選擇一個地點。

   犬山市 ・ 富士山 ・ 北海道 ・ 鎌倉 ・ 京都 ・ 大阪 ・其他

2. 那裡有什麼樣的觀光景點呢？

   有哪些東西？可以做什麼事？

3. 那裡有什麼樣過度旅遊的問題呢？

   請查查看（例：拍照問題）

   可以使用網路、課程中認識的問題以外的問題也可以

4. 請提出第三題的過度旅遊問題的解決方案。

5. 為了解決問題觀光客有哪些不能做的事情？（例：請勿進入私人土地。）

   為了解決問題觀光客該做什麼？(例：請把垃圾帶走。)

6. 如果觀光客遵守第五題的規則，會發生什麼樣的變化呢？

   (例：能夠避免塞車。可以減少垃圾。)

アンケート集計結果
（初級―クラス）

8/23

1.授業の速さ(課程的速度)

遅い (很慢)	やや遅い (有一點慢)	ちょうどよい (剛好)	やや速い (稍微有點快)	速い (很快)
0 人	1 人	17 人	0 人	0 人

2.内容の難しさ(課程的難易度)

易い (簡單)	やや易い (稍微簡單)	ちょうどよい (剛好)	やや難しい (稍微困難)	難しい (困難)
0 人	0 人	14 人	4 人	0 人

3.授業の満足度(課程的滿意度)

不満 (不滿意)	やや不満 (不太滿意)	どちらでもない(還好)	やや満足 (還算滿意)	満足 (滿意)
0 人	0 人	2 人	3 人	13 人

4. 1日を通しての感想・意見(一整天下來的感想和意見)

開心！！
很有趣！
互動性良好
沒有特別
老師們都很認真教學
很好
遇到一樣喜歡柯南的很開心, 老師們也都很親切 😍
老師都很親切！即時解決問題
雖然對於句子方面還不太會 , 但努力學習中 😂

很不錯的體驗
とてもよかったです、お疲れ様でした
這堂課讓我知道自己不足的地方, 口語必須必須加強, 老師們都教的非常好, ありがとうございます！
老師與助教很用心
很歡樂
很開心 日本學生們及東海學生都很熱情 熱心幫我們解決問題, 也會適時幫助我們, 很感謝她們可愛的一群學生
面白いで楽しかったです。希望在上課之前把這些題目先傳告訴我們/讓我們準備一下/這樣我們學習會更有效果
很棒
老師很親切大家一起學習分享

8/24

1.授業の速さ（課程的速度）

遅い（很慢）	やや遅い(有一點慢)	ちょうどよい（剛好）	やや速い（稍微有點快）	速い（很快）
0 人	0 人	16 人	0 人	0 人

2.内容の難しさ（課程的難易度）

易い（簡單）	やや易い（稍微簡單）	ちょうどよい（剛好）	やや難しい（稍微困難）	難しい（困難）
0 人	0 人	10 人	5 人	0 人

3.授業の満足度（課程的滿意度）

不満（不滿意）	やや不満（不太滿意）	どちらでもない(還好)	やや満足（還算滿意）	満足（滿意）
0 人	0 人	3 人	1 人	12 人

4.1日を通しての感想・意見(一整天下來的感想和意見)

互動性良好
速度都剛剛好！
很充實
畫海報很有趣
ありがとうございます
學習到了新的文法
很開心
老師講課很認真, 課程很有趣, 感謝老師
很歡樂
教的非常好, 非常感謝大家的教導, 分組活動也很有趣, ありがとうございます！
大家都好會畫畫
了解了廉倉
很開心
感謝老師
我覺得 上課之前先把要問的問題告訴學員, 讓我們在課前先準備一下, 這樣可以節省很多思考的時間, 比較不會浪費到上課的時間, 要不然會覺得上得很趕
とても良かったです、ありがとう

8/26

1.授業の速さ(課程的速度)

遅い (很慢)	やや遅い (有一點慢)	ちょうどよい (剛好)	やや速い (稍微有點快)	速い (很快)
0 人	0 人	15 人	0 人	0 人

2.内容の難しさ(課程的難易度)

易い (簡單)	やや易い (稍微簡單)	ちょうどよい (剛好)	やや難しい (稍微困難)	難しい (困難)
0 人	0 人	11 人	4 人	0 人

3.授業の満足度(課程的滿意

不満 (不滿意)	やや不満 (不太滿意)	どちらでもない(還好)	やや満足 (還算滿意)	満足 (滿意)
0 人	0 人	0 人	2 人	13 人

4. 1日を通しての感想・意見(一整天下來的感想和意見)

互動性佳
很豐富
感覺越來越進入狀況了
感謝給我們介紹那麼多京都的景點, 之後有空一定去觀光, 不會當死奧客, ありがとうございます
很歡樂
對於初學て型的人很實用！
又是學習新文法的一天～🥵😀😂
補充資料豐富 謝謝😊
製作的課程很用心講解清楚 互動良好
毎日が素晴らしいです、またよろしくお願いします。
學習了新的文法很開心！！！還跟許多日本人聊天！
很開心
我們的聽力比較不行/所以按照一般日本人講的速度會比較聽不懂/希望老師講慢一點/但是覺得老師都很熱心很 nice
今天的 3 小時間, 我覺得有讓我對テ形印象更深, 明莉さん、ありがとうございました
有點記不起來

8/27

1.授業の速さ(課程的速度)

遅い (很慢)	やや遅い (有一點慢)	ちょうどよい (剛好)	やや速い (稍微有點快)	速い (很快)
0 人	0 人	14 人	2 人	0 人

2.内容の難しさ(課程的難易度)

易い (簡單)	やや易い (稍微簡單)	ちょうどよい (剛好)	やや難しい (稍微困難)	難しい (困難)
0 人	0 人	12 人	4 人	0 人

3. 授業の満足度(課程的滿意度)

不満 (不滿意)	やや不満 (不太滿意)	どちらでもない(還好)	やや満足 (還算滿意)	満足 (滿意)
0 人	0 人	1 人	1 人	14 人

4. 1日を通しての感想・意見(一整天下來的感想和意見)

生動活潑
今天的 kahoot 很有趣
交流良好
很歡樂
你們教的非常好, バチリ！ありがとうございます！
有些詞沒學過, 所以聽不太懂在說什麼
開心ʻʻ(ฅ(ˊ ᵕ ˋ)ɜ)ʻʻ
學到新的文法, 玩了好玩的遊戲, 今天很開心！！期待明天的最後日
😀😜
很好
有趣
有趣
今日の授業のあと、テ形はいけませんの文型は記憶がもっと深なるです、かずはさんとれなさん、ありがとうございました
很棒
要學的東西很多所以覺得有一點累
今日學習進步中

8/28

1. 授業の速さ(課程的速度)

遅い (很慢)	やや遅い (有一點慢)	ちょうどよい (剛好)	やや速い (稍微有點快)	速い (很快)
0 人	0 人	17 人	0 人	0 人

2.内容の難しさ(課程的難易度)

易い (簡單)	やや易い (稍微簡單)	ちょうどよい (剛好)	やや難しい (稍微困難)	難しい (困難)
0 人	0 人	16 人	1 人	0 人

3. 授業の満足度(課程的滿意度)

不満 (不滿意)	やや不満 (不太滿意)	どちらでもない(還好)	やや満足 (還算滿意)	満足 (滿意)
0 人	0 人	1 人	0 人	16 人

4. 1日を通しての感想・意見(一整天下來的感想和意見)

有趣
楽しかった、ありがとうございました
很實用, 也很有趣！
お世話になりありがとうございます。
非常感謝這幾天的教導, 你們教的非常的好, 一聽就懂, 還讓我們了解這麼多日本的知識, 觀光迫害真的很嚴重, 我們會多加注意的, ありがとうございます！
超級有趣的活動～而且學到很多東西！お疲れ様でした 💗 💗 ありがとうございます❀ (ﾉﾉ•◡•ﾉﾉ)❀
開心~￥(๑ˈ◡ˈ๑)♪♬

很歡樂
感謝老師們這幾天的教學, 感覺自己更了解日本還有日文ㄌ
發表有一點的緊張
很棒的互動學習
很棒的學習 老師們同學大家都很用心 課程安排豐富 學習愉快！感謝🙏
很多收獲, 日文又進步一些
5 天下來, 學到了日本的觀光景點, 日本的過度旅遊問題, 學到了日文, 玩了很多好玩的遊戲, 還有見到可愛又漂亮的大學生們, 五天下來覺得既充實又愉快, 希望以後還能再來參加。建議以後在學習營之前, 先把單字表, 課程表, 課程中的問題, 都先告訴學員, 因為學員在課堂上要思考答案, 統整答案, 還要翻譯成日文, 時間上不太夠。
非常感謝老師耐心解說, 觀光景點人多公害希望明天在來

5. 発表の難易度(發表的難易度)

易い (簡單)	やや易い (稍微簡單)	ちょうどよい (剛好)	やや難しい (稍微困難)	難しい (困難)
0 人	0 人	14 人	3 人	0 人

6. 発表の感想(發表後的感想)

認真
經過了這次的發表, 我覺得自己的日文實力更加進步了
很緊張但還是完成了😁😁😁
很好練習聽力和說的技巧！
日本語がまたさらに上手になりました
非常感謝啊, 這幾天非常的開心, めちゃ嬉しい！
可以聽到別人的分享, 自己也能學習到, 而且越來越敢講日文！超級有收穫（๑>ᴗ<๑）
很高興來參加此次的學習營
很有成就感, 與組員的合作也讓人感到非常有趣
還要多多加強說的能力
這學習營學習了很多, 希望明年有機會再參加

雖然緊張但是是不錯的學習經驗！
過度觀光是一個大問題可以慢慢改善
我覺得我們出國旅遊時，應該要好好的遵守日本的各項規矩，好好的表現國民外交，不要在國外丟台灣人的臉
非常感謝老師耐心教學，說明觀光景點人多造成公害，希望明年再來

7.「旅行とオーバーツーリズム」というテーマは満足したか

（對於「旅遊及觀光公害」這個主題還滿意嗎？）

不満 （不滿意）	やや不満 （不太滿意）	どちらでもない（還好）	やや満足 （還算滿意）	満足 （滿意）
0 人	0 人	0 人	1 人	16 人

8. 五日間を通しての感想（5 天下來的感想）

了解到很多
感謝老師和小老師用心教學。面白いです。
這五天下來，有覺得自己的日文有明顯的進步
這五天下來學習到了很多知識，下次有機會的話還會再來（已來兩次🥰） 😜 😚 😉 🧐
日本語がまたさらに上手になりました
這五天過的非常開心，日文也有所增長，多虧了你們的指導，讓我知道自己的不足之處，還要再多加努力學習日文，ありがとうございます！
很有收穫的五天！
終於跟不同的人講到話了 ouob
學習到文法，很棒。
非常棒的活動，可以讓對日本有興趣的人，多了個學習日語的機會，很有意義的活動
謝謝老師這五天下來的照顧與教學，能來參加真是太好了！下次一定還會來的。另外也謝謝日本老師的包容，明明每次都講得不清不楚的，老師卻可以耐心的聽。還有中文的老師也會幫我們翻譯不會說的句子。ありがとうございます!!
很棒 明年會想再參加
很充實的學習課程 老師同學們準備充份內容豐富 感謝🙏
日文更進步了，也去思考這個公共問題如何解決很棒
學到很多覺得很充實，又很快樂
非常感謝

9. 来年も参加したいか(明年也會想參加)

したくない (不想參加)	どちらともいえない (不同意也不反對)	したい (想參加)
0 人	2 人	15 人

10. 周りの人に勧めたいか(會想跟身邊的人推薦嗎)

勧めたくない (不想推薦)	どちらでもない (兩者都不)	勧めたい (想推薦)
0 人	0 人	17 人

11. 提案や意見など(任何提案或意見)

無
無
可以更多生活主題！
どうもありがとうございます
ありがとうございます
無
ㄋㄡˋ
多多舉辦類似學習營
有些詞有點難, 會造成聽不太懂的情況, 可能要對有些名詞多做解釋
沒有
因第一次參加 尚無意見
謝謝😊
很感謝有這麼好的機會辦得很棒
可以也有用簡單的主題與字彙, 和日本人有交流的時間
很好



初級二クラス

初級二クラス　会議記録

全體會議紀錄
時間：5/29，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 參加者自我介紹。
2. 本次日語營形式與規則介紹。
3. 小組內自我介紹。

小組第一次會議紀錄
時間：6/8，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 討論教學的大主題。
2. 決定大主題為「食品」；五日間的主題分別為「食物安全」、「日本與台灣的食文化」、「食物浪費」、「學校的營養午餐和遠足時帶的便當」、「食文化的多樣性」。

全體會議紀錄
時間：6/14，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 決定要使用的教室。
2. 確認各組課程大主題、每日課程主題。

小組第二次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：6/14，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 向老師說明教學的大主題及每日課程主題。
2. 討論第一、二日的流程。
3. 因整體課程欠缺連貫性，故暫定以「食品」為題重新思考大主題及每日課程主題。

小組第三次會議紀錄
時間：6/26，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 改大主題為「健康的食生活」，並提案討論每日課程的主題。
2. 確立每日課程小主題分別為「學校的營養午餐」、「食物中毒」、「食品保存與管理」、「健康食品、農藥、有機栽培、宗教食物、過敏等(食文化的多樣性)」、「發表」。

小組第四次會議紀錄
時間：7/13，19：00
地點：Teams 線上會議
1. 討論每日授課流程大綱及課堂內小活動進行細節。
2. 改第四日主題為「均衡飲食」。

全體會議紀錄
時間：7/17，19：00

地點：Teams 線上會議

1. 確認各組每天的課程安排。
2. 確認各組最終發表形式。
3. 確認之後的全體會議時間。
4. 建立本次營隊執行人員之 LINE 群組。

小組第五次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：7/17, 19：00
地點：Teams 線上會議

1. 向老師說明五日間的課程大綱與發表會形式、主題。

小組第六次會議紀錄
時間：7/28, 14：00
地點：Teams 線上會議

1. 決定每節課的人員安排。
2. 討論自我介紹、發表會進行方式、提供給學員之課程安排表內容。
3. 確定下次小組會議討論事項。

小組第七次會議紀錄
時間：8/4, 19：00
地點：Teams 線上會議

1. 說明並討論每日教案。
2. 確定分組名單。

小組第八次會議紀錄
時間：8/12, 18：00
地點：Teams 線上會議

1. 說明第一、二、四、五日教案的變更處。
2. 說明並討論第三日教案內容。
3. 討論各天安排活動時遇到的問題、課後問卷題目。
4. 確認最終參加學員分組名單。

小組第九次會議紀錄
時間：8/14, 09：00
地點：Teams 線上會議

1. 向老師說明每日的教案內容。
2. 討論每日教案內容需再修改的地方以及如何修改。

小組第十次會議紀錄
時間：8/16, 09：00
地點：Teams 線上會議

1. 向老師說明第三、四日教案的修正案。

2. 討論第三、四日教案內容需再修改的地方以及如何修改。

全體會議紀錄
時間：8/18, 08：00、12：30
地點：Teams 線上會議
1. 各班進度報告。
2. 確認日方兩校預計抵達時間與接機事宜。

小組第十一次會議紀錄（全體會議分組進行）
時間：8/18, 8：30
地點：Teams 線上會議

1. 向老師說明第三、四日教案的修正案。

小組第十二次會議紀錄
時間：8/18, 14：00
地點：Teams 線上會議
1. 分組名單更動確認。
2. 教室佈置討論。

3. 五日教案簡要說明。

小組第十三次會議紀錄
時間：8/22, 09：00
地點：HT104、C107
1. 五日課程模擬。

小組第十四次會議紀錄
時間：8/23, 13：30
地點：HT104

1. 確認第一、二天授課內容、流程與教材。

小組第十五次會議紀錄
時間：8/24, 13：45
地點：HT104
主持：東先生
1. 確認第一日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十六次會議紀錄
時間：/25, 10：30
地點：HT104
主持：東先生

1. 確認第二日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十七次會議紀錄
時間：8/26, 13：45
地點：HT104
主持：東先生
1. 確認第三日課程回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十八次會議紀錄
時間：8/27, 13：45
地點：HT104
主持：東先生
1. 確認第四日回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 隔天教案、簡報與教材確認與影印。

小組第十九次會議紀錄
時間：8/28, 13：30
地點：HT104
主持：東先生
1. 確認第五日回饋問卷結果。
2. 反省不足之處。
3. 完結心得分享。

全體會議紀錄
時間：8/28, 14：00
地點：HT104
主持：張瑜珊老師
1. 各組活動整體概要。
2. 反省不足之處。
3. 完結心得分享。

初級二クラス　日程と担当一覧

全体のテーマ：健康な食生活

	1 限目 9:00～9:50	2 限目 10:00～10:50	3 限目 11:00～11:50	午後 14:00～
8/23(金) 学校の給食	自己紹介 5 日間の内容紹介	日本の学校給食の紹介	献立を考える	反省会 二日目授業準備。
	MT:曽田優奈 AT:詹佳倩・手塚渚月	MT:曽田優奈 AT:詹佳倩・手塚渚月	MT:曽田優奈 AT:詹佳倩・手塚渚月	
8/24(土) 食中毒	食中毒について	食中毒の予防について	私たちができる予防について考える。	反省会 三日目授業準備。
	MT:駒橋佑里乃 AT:李妤柔・西村穂香	MT:駒橋佑里乃 AT:李妤柔・西村穂香	MT:駒橋佑里乃 AT:李妤柔・西村穂香	
8/26(月) バランスの良い食事	学校の給食の復習でバランスの良い食事を説明する。 絵カードゲーム	MT、AT 四人の食事に対してバランスがいいところ、悪いところを考える。 「食べすぎる/すぎない」「飲みすぎる/すぎない」「ないほうがいいです」の文型を学ぶ。	二時間目の文法の復習 「スイーツパラダイスに行ったら…」について話し合う。	反省会 四日目授業準備。
	MT:手塚渚月・廖凰君 AT:李妤柔・駒橋佑里乃	MT:手塚渚月・廖凰君 AT:李妤柔・駒橋佑里乃	MT:手塚渚月・廖凰君 AT:李妤柔・駒橋佑里乃	
8/27(火) 食品の保存と管理	保存食と非常食について 非常食クイズ 1	非常食クイズ 2 非常食の試食 「と思います」「賛成/反対です」「なぜなら～からです」の文型を学ぶ。	非常食を買いたいですか？」「日本のように非常時のために、食品を備蓄しておくことには賛成ですか？ 反対ですか？」二つの質問を考える。	反省会 五日目授業準備。
	MT:深田琴音 AT:詹佳倩・曽田優奈	MT:深田琴音 AT:詹佳倩・曽田優奈	MT:深田琴音 AT:詹佳倩・曽田優奈	
8/28(水) ポスター発表	4日間の復習 発表準備	発表準備の続き	発表 まとめ 終了式	反省会
	MT:西村穂香 AT:深田琴音・廖凰君	MT:西村穂香 AT:深田琴音・廖凰君	MT:西村穂香 AT:深田琴音・廖凰君	

第一日

8月23日(金) 1日目　担当者名 MT: 曽田優奈　　AT: 詹佳倩・手塚渚月

学習目標

内容 Contents

- 自己紹介をし、グループのメンバーのことを知る。
- 日本の学校給食の特徴を知る。
- 自分が食べたいと思う給食の献立を、理由とともに紹介することができる。

言語 Communication

- 「主食」「汁物」「主菜」「副菜」など、献立の構成に関する語の意味を理解し、使うことができる。
- 「～ことがあります」を使い、食べたことのある料理について説明することができる。
- 「～からです」を使い、献立を選んだ理由を説明することができる。

思考 Cognition

- 日本の学校給食の構成を参考に、給食1食分の献立を作ることができる。

協学・異文化理解 Community/Culture

- 年齢・性別の異なる他の学習者と意見交換をし、考えを深めることができる。
- 日本の学校給食について、衛生面・栄養バランスの特徴を知る。

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	全体	受付でパンフレットを受け取り、座席表を見ながら着席する 首に下げる名札カードに呼んでほしい名前を書く。	●グループ分け MT：座席表を掲示し、パンフレットと名札を机に置いておく その他全員：困っている人に座席を案内する。 ★座席表はパンフレットに載せるが、スライドでも大きく掲示する	座席表（PPT）、名札の紙、パンフレット
5分			●導入 ①MT・AT が自己紹介する。（名前、○○大学の○年生） ②MT が、MTとATの役割を説明する。 その他全員：後ろで待機	PPT （MT・AT の名前、役割）
5分			●5日間の内容紹介 全体のテーマ、5 日間のテーマ、発表について説明する MT：説明 AT：MT の補助 その他全員：後ろで待機	PPT （5 日間の内容）
5分			●LINE グループ招待 出欠確認やクイズのための LINE グループを作成し、招待する	PPT （QR コード）

			MT：説明 AT：MT の補助 その他全員：操作のサポート ★AT 以外の東海の学生は、自分で参加できない学習者がいた場合招待する	
10分			●自己紹介 全員：前に立って、1 人ずつ自己紹介する ★話す項目と使用する文型を全員で揃える	PPT （自己紹介）
5 分	個人	●名札作り 見本を参考に、名札を作成する	名札の見本（実物＋スライド）を見せ、名札を作ってもらう MT：説明 その他全員：作成のサポート	PPT 、見本の名札、ペン、セロハンテープ
3 分	グループ	●自己紹介 言語：日本語 テンプレートを参考に自己紹介する	全員：巡回し、困っている人がいれば声をかける	PPT （自己紹介テンプレート）
7 分	全体	グループの中で 1 人発表者を決め、他のグループの人にメンバーを紹介する		
5 分	全体		●まとめ＋次の時間の予告	PPT （2 時間目の予告）

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5 分	全体		●導入 ・この時間の説明 ・「給食を食べたことがありますか？」（「あります」「ありません」のどちらかで挙手してもらう） MT：説明 その他全員：巡回 ★休み時間に文型・語彙リストを配布しておく	PPT 、文型・語彙リスト（2・3 時間目共通）
3 分	グループ	●ディスカッション（各自の給食の経験） 言語：中国語・日本語 ・給食で何を食べたことがあるか ・食器を家から学校まで持ってい	MT：説明、巡回 その他全員：巡回 ★地域・時代ごとの一般知識を話してもらうのではなく、それぞれの	PPT （話し合いの項目）

		くか ・好きな給食、苦手な給食	経験を話してもらう。 中国語 OK の指示を出す。	
2 分	全体		「給食の食器を家から持っていきますか？ 持っていきませんか？」 まず学習者に挙手してもらい、その後で実習生に挙手してもらう ★台湾ではマイ食器を持参したり、学校が用意する場合でも同じ食器を自分で洗って使い続けたりする →日本との違いを知ってもらう	
15分	全体		●日本の給食の紹介 ・YouTube の動画 2 本を見せる（兵庫の給食センター、東京の学校）※2 本目は 0.75 倍速 ・動画の補足（写真と文章） ・「よそう」の説明 ・愛知の献立の紹介（写真と料理名） ・紹介の中で語彙の導入「主食」「汁物」「主菜」「副菜」など ・「いただきます」「ごちそうさまでした」を言ってもらう MT：説明 AT：MT の補助 その他全員：巡回 ★日本語を聞き取ることではなく、内容理解が目的 →動画を見せる前に、「日本語が難しくて速いですが、心配しないでください。途中で止めて説明します」と伝える 余分なところはスキップし、少し流しては止めて説明する、を繰り返す 「日本では～です」ではなく「この地域では～です」「私は～でした」という説明をする	PPT （ YouTube の URL、補足説明、献立の画像）
10分		答えを LINE で投票する（全員）	●給食クイズ 日本の学校給食の衛生面の工夫について、スライドを使って選択式のクイズを出題する MT：説明 AT：LINE に投票フォームを投稿 その他全員：巡回 ★衛生面の工夫を印象づける 「どうして～ますか？」「～からで	PPT クイズ問題）、LINE（投票フォーム）

			す」の文型を意識的に使う	
5 分	グループ	●ディスカッション 言語：中国語・日本語 これまでの内容について話し合う ・驚いたこと ・良いと思ったこと ・変だと思ったこと ・わからなかったこと	MT：説明、巡回 その他全員：日本語のサポート ★この後の共有の時間では日本語で話してほしいことを伝える。実習生は VoiceTra 等を使いながら、出た意見を日本語に直すサポートをする。	PPT （話し合いの項目）
8 分	全体	●意見の共有 言語：日本語 グループの中で話したことを全体に共有する	MT・AT：質問があれば答える その他全員：各グループのサポートをする。 ★MT が各グループを順番に当てる 特に東海 3 人は、発言中のグループのそばで言語のサポートをする	
2 分			●まとめ+次回の予告	PPT （3 時間目の予告）

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
10分	全体		●導入 ・この時間の説明 ・イラストや写真を見せながら、どの食材が主食・汁物・主菜・副菜にあたるのか確認する MT：説明 その他全員：巡回	PPT、文型・語彙リスト
5 分			●ワークシート配布・説明 献立を考えるためのワークシートを配布する ワークシートの書き方を説明する MT：説明 AT：ワークシート配布 その他全員：巡回	PPT（ワークシート見本）、ワークシート
10分	個人	●献立を考える 1 人 1 つ、1 食分の献立を考える テーマ：「自分の誕生日に食べたい献立」 主食、汁物、主菜、副菜を考える	MT：説明、巡回 その他全員：巡回	ワークシート
10分	グルー	●献立を紹介する		ワークシート

10分 5分	プ 全体	言語：日本語 ①同じグループの人に献立を紹介する。 ②ほかのメンバーに、なぜその献立にしたのか尋ねる。 ③グループで 1 つおすすめを決め、他のグループに紹介する。料理の写真をインターネットで調べて LINE に送る。	MT：司会、巡回 AT：献立紹介の実演 その他全員：巡回 ●まとめ・次回の予告 1 日目の内容をまとめる。 2 日目のテーマを伝える。 宿題として、「VoiceTra」をインストールしてほしいことを伝える。（全員強制ではなく、できる人のみ）	PPT（まとめ、VoiceTra の説明）

学習者アンケートの結果

- 学習者の回答数：21 人
- 授業の速さ：ちょうどよい
- 難しさ：ちょうどよい
- 満足度：満足（不満0）
- 一日を通しての感想：良い意見が多いが、「もう少し発言する機会が欲しい」「聞くことが難しい」という意見もあった。

1 日目のふり返り

話し合いが盛り上がったことにより想定時間を大幅に過ぎたり、事前に計画していた活動を急遽取りやめたりと行き当たりばったりな授業になってしまったが、他の実習生に助けてもらい無事に終えることができた。進行を意識するあまり学習者の反応や表情を見ることができなかったり、学習者に指示を聞いてもらいたいときに「聞いてください！」を連呼する以外の方法が思いつかなかったりして、対応力のなさを痛感した。

学習者が興味を持ってくれるか不安だったが、楽しそうに会話する姿が見られ安心した。

8月23日
日本語キャンプ　1日目

学校の給食

Main Teacher
曽田優奈（ゆうな）

Assistant Teacher
手塚渚月（なつき）
詹佳倩（かせい）

2024年度 日本語キャンプ 初級2

- 今年のテーマ：健康な食生活
- 1日目：学校の給食
- 2日目：食中毒
- 3日目：バランスの良い食事
- 4日目：保存食・非常食
- 5日目：ポスター発表

パンフレットに説明があります

学生紹介

- 東海大学
  - 詹佳倩（かせい）、廖鳳君（りんご）、李妤柔（よじゅう）
- 甲南大学
  - 西村穂香（ほのか）、駒橋佑里乃（ゆりの）
- 愛知県立大学
  - 深田琴音（ことね）、手塚渚月（なつき）、曽田優奈（ゆうな）

グループで自己紹介をしましょう（3分間）

1. _____です。
2. _____と呼んでください。
3. _____歳です。
4. _____から来ました。
5. _____が好きです。★

★あとでみんなに紹介します。グループの人たちは何が好きか、よく聞いてください。パンフレットの右側の「メモ欄」に書いてもいいです。

みんなに紹介しましょう

_____です。___から来ました。_____が好きです。

こちらは、___さんです。　___さんは、_____が好きです。
こちらは、___さんです。　___さんは、_____が好きです。
⋮
こちらは、___さんです。　___さんは、_____が好きです。

よろしくお願いします。

グループで話しましょう（3分間）

用中文也OK

★自分自身のことを話しましょう〈請說說自己的經驗，而不是一般常識！〉

1. 給食で、何を食べたことがありますか？
2. 食器〈餐具〉を家から学校まで持っていきますか？
   はい／いいえ
3. 好きな給食は何ですか？
4. 苦手な給食は何ですか？

給食紹介

- 3つの場所の給食を紹介します。
- 兵庫県 高砂市、東京都 板橋区、愛知県 岡崎市です。
- 給食は、地域ごとに違いがあります。〈營養午餐會根據地區而有所不同。〉

動画を見ましょう

- 兵庫県 高砂市の「給食センター」を紹介します。
- 動画の日本語は、難しくて速いので、わからなくてもOKです。安心してください。
- https://www.youtube.com/watch?v=FQePFoKdDrE

動画を見ましょう②

- 東京都 板橋区の小学校です。
- 日本語が少し簡単なので、聞いてみましょう。
- https://www.youtube.com/watch?v=UzMCvR25xAc

給食の献立紹介

- 愛知県 岡崎市の中学校　2022年5月2日



①ごはん
②みそ汁
③かつおフライ〈炸鰹魚〉
④キャベツのカラフル和え〈五彩高麗菜拌菜〉
⑤牛乳

https://www.osl.or.jp/menu202205w.html

給食の献立紹介

• 愛知県 岡崎市の中学校　2022年5月25日



①ソフト麺〈口感較軟的麺〉
②ミートソース
③グリーンポテト〈海苔粉馬鈴薯〉
④冷凍みかん
⑤牛乳

https://www.osl.or.jp/menu202205w.html

給食の献立紹介

• 愛知県 岡崎市の中学校　2024年7月4日



①パン
②キャロットスープ〈胡蘿蔔湯〉
③スラッピージョー〈用番茄醬和咖哩粉調味的絞肉〉
④コールスローサラダ〈高麗菜、小黃瓜、玉米沙拉〉
⑤牛乳

https://www.osl.or.jp/menu202407w.html

給食クイズ

• どうして 校長先生(こうちょうせんせい)が 一番最初(いちばんさいしょ)に給食を食べますか？

1. 仕事が忙(いそが)しいからです。
2. においや味を確かめたいからです。
3. 校長先生が 一番 えらいからです。

給食が腐(くさ)っていたり、変(へん)な味がしたりしないか確(たし)かめます。
「検食(けんしょく)」といいます。

給食クイズ

• この中の1つだけ、給食にはありません。どれですか？

1. ポテトサラダ
2. 野菜炒め
3. 生野菜サラダ

生(なま)の食材(しょくざい)は使いません。
サラダの野菜は、すべて加熱(かねつ)します。

給食クイズ

• この中の1つだけ、給食にはありません。どれですか？

1. 焼き魚
2. えびフライ
3. 刺身(さしみ)

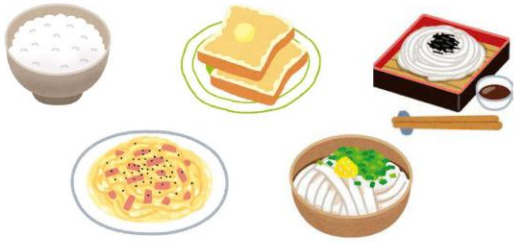
生の魚は使いません。





• ①主食（しゅしょく）：ごはん、パン、麺類(めんるい)　など
• ②汁物（しるもの）：スープ、みそ汁、カレー　など
• ③主菜（しゅさい）：肉、魚、たまご　など
• ④副菜（ふくさい）：野菜、きのこ、海藻類(かいそうるい)　など

主食（例如…）



汁物(たと)（例えば…）



主菜（例えば…）



副菜（例えば…）



野菜(やさい)



きのこ

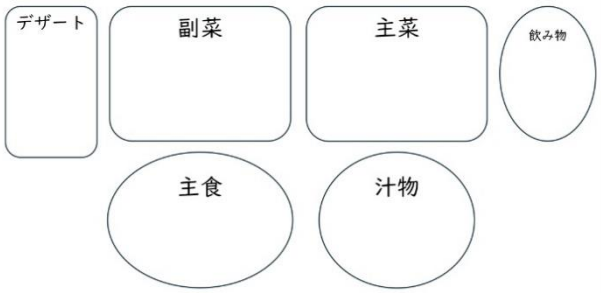


海藻類

献立を作りましょう

- 1人1つ、「自分の誕生日に食べたい献立」を作りましょう。
- 台湾料理でも、和食(わしょく)でも、洋食(ようしょく)でも、何でもいいです。
- 生(なま)の（＝加熱していない）食材は、使うことができません。

名前：　　自分の誕生日：＿＿月＿＿日



まとめ

- 給食の献立には、主食・汁物・主菜・副菜があります。
- 校長先生が給食を食べて、においや味を確かめます。
- 生の食材は、使うことができません。

- 明日は、食中毒について知り、私たちができる対策について考えます。
- 〈明天，我們會了解什麼是食物中毒，並討論我們做得到的預防對策。〉

宿題

- 「VoiceTra」というアプリを、スマートフォンにダウンロードしてください。
- 〈請用手機下載一個叫做「VoiceTra」的軟體。〉

https://voicetra.nict.go.jp/ ⇒

A　　グループ名：　　名前：

8 月 23 日　初級 2　2 時間目・3 時間目　文型・単語

★文型「食べたことがあります」「飲んだことがあります」

給食を　食べます。
給食を　食べたことがあります。〈我有吃過營養午餐的經驗。〉
給食を　食べたことがありますか？〈你有吃過營養午餐的經驗嗎？〉
　　はい、あります。／　いいえ、ありません。

何を　食べたことがありますか？〈你有吃過什麼(營養午餐)的經驗呢？〉
　　カレーライスを　食べたことがあります。

牛乳を　飲みます。
牛乳を　飲んだことがあります。〈我有喝過牛奶。〉
牛乳を　飲んだことがありますか？〈你有喝過牛奶嗎？〉

★文型「どうして～ますか？」「～からです」

どうして　アイスクリームを食べますか？〈為什麼你吃冰淇淋呢？〉
おいしいからです。つめたいからです。

どうして　台湾に来ましたか？
日本語キャンプがあるからです。

どうして　カレーライスを選びましたか？　　★選びます〈選擇〉
からい食べ物が好きだからです。　　★からいです〈辣的〉

どうして　ポテトサラダを選びましたか？　　★ポテトサラダ〈馬鈴薯沙拉〉
じゃがいもが好きだからです。　　★じゃがいも〈馬鈴薯〉

・い形容詞：おいしいです→おいしいからです
　　つめたいです→つめたいからです
　　たのしいです→たのしいからです

・な形容詞：好きです　→好きだからです
　　苦手です　→苦手だからです

・動詞：腐(くさ)ります→腐る→腐るからです
　　行きます→行く→行くからです

　　食べた→食べたからです
　　飲んだ→飲んだからです

　　食べたいです→食べたいからです
　　飲みたいです→飲みたいからです

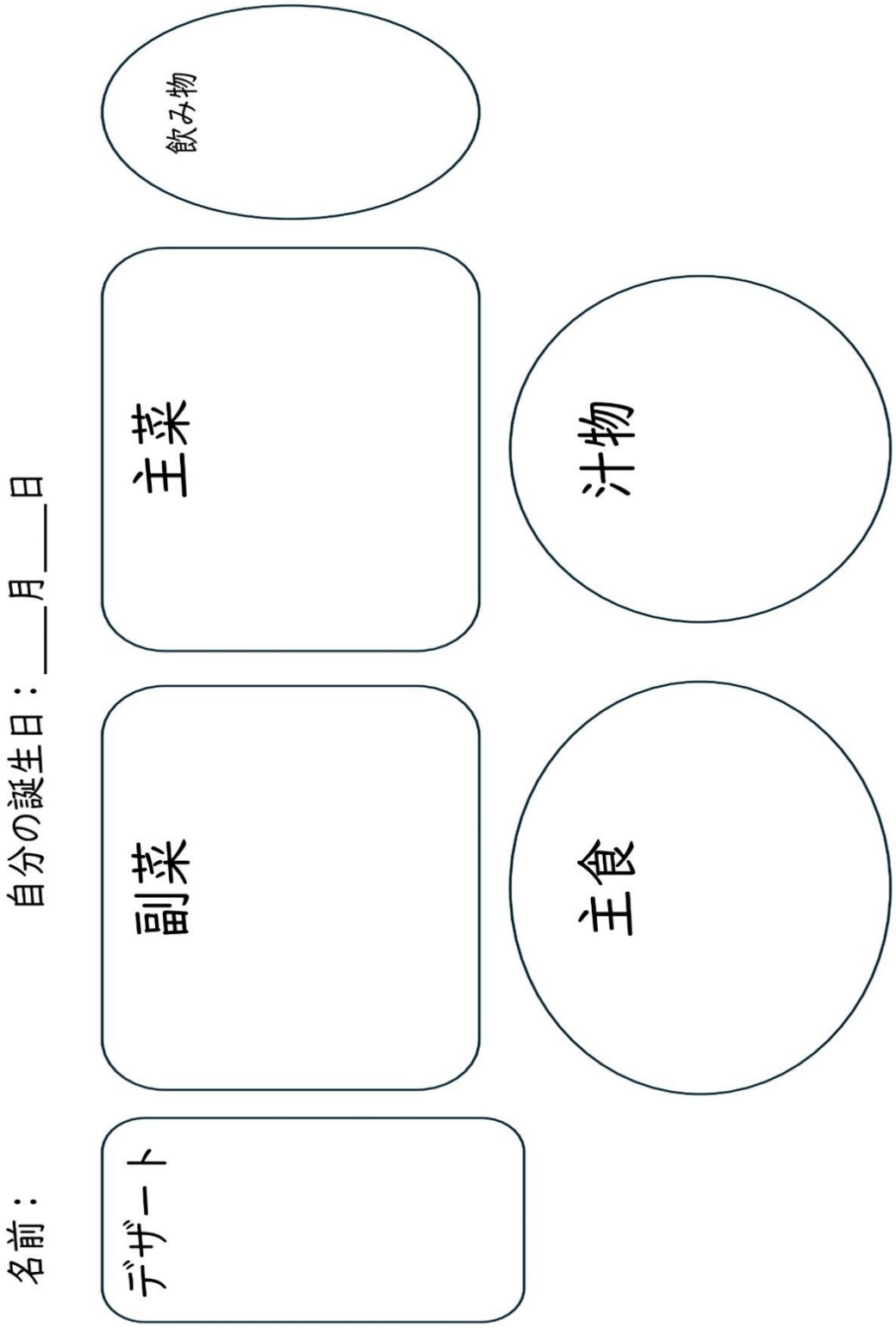
A　　グループ名：　　名前：

単語	よみがな	訳
給食	きゅうしょく	營養午餐
苦手です	にがてです	不喜歡
よそいます	よそいます	盛飯
献立	こんだて	菜單
海藻類	かいそうるい	海藻類
匂い	におい	氣味
味	あじ	味道
確かめます	たしかめます	確認
腐ります	くさります	腐壞
変です	へんです	奇怪
生（＝加熱していない）	なま	生的(沒煮熟)
焼きます	やきます	烤
ゆでます	ゆでます	川燙
煮ます	にます	煮
油で　揚げます	あぶらで　あげます	油炸
気づきます	きづきます	察覺
驚きます	おどろきます	驚訝
デザート		甜點
和食	わしょく	日本料理
洋食	ようしょく	西洋料理
おすすめ		推薦

B　グループ：＿＿＿

8 月 23 日　初級 2　3 時間目

献立ワークシート　「自分の誕生日に食べたい献立」〈在自己生日的時候，想吃的菜單〉



第二日

8月24日(土) 2日目　担当者名 MT: 駒橋佑里乃　　AT: 李妤柔・西村穂香

学習目標

内容 Contents

- 食中毒について知る

言語 Communication

- 食中毒に関連する単語を理解し、表現に用いることができる

思考 Cognition

- 食中毒の予防について自分たちができることを考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- グループワークにより、新たな課題点、解決策を見つける

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
10分	全体	食中毒に関する簡単な説明を聞く。	PPTを見せながら、食中毒について簡単な説明をする。	PPT
3分		食中毒のアニメを見る。	食中毒のアニメを見せる。	
5分	グループ	食中毒になったことがある人は体験談をグループで話す。(食中毒になった人がいないグループは、食中毒について知っていることを話し合う)	食中毒になったことがある人に体験談をグループで話してもらう。(食中毒になった人がいないグループは、食中毒について知っていることを話し合ってもらう)	
5分	全体	語彙表を見て、重要な語彙の説明を聞く。	語彙表を配る。 重要な語彙の説明をする。	語彙表
27分		食中毒についての説明を聞く。 MTの問いかけやクイズに反応する。	食中毒について詳しい説明をする。(特徴・種類・症状など) 一方的に話す形にならないよう、適宜、質問やクイズを入れる。	PPT

2時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	全体	1時間目の内容を復習する。MTの質問に答える。	1時間目の内容を復習	PPT

10 分		文型の説明を聞く。	文型の資料を配布する 文型導入 (みんなの日本語 23 課) 「V(辞書形/タ形)～とき」	文型の資料 PPT
10 分		文型を使った活動をする。	文型を使った発音練習や穴埋めをしてもらう。	
10 分		PPT を見る。	食中毒予防の 3 原則(つけない・増やさない・やっつける)について説明する。 デリバリーや持ち帰りの食中の危険性について説明する。	
10 分		食中毒の事例と対策について PPT を見る。MT の質問やクイズに答える。 MT の問いかけに反応する。	日本で起きた食中毒の事例と予防を紹介する。(有毒植物、デリバリー、など) 適宜、質問やクイズを入れる。 「聞いたことがありますか？」「見たことがありますか？」などの問いかけをする。	
5 分	グループ	グループで話し合う。	「みなさんができる食中毒の予防は何ですか？」について話し合ってもらう。(3 時間目のグループワークにつなげる)	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5 分	全体		2 時間目の文型の復習をする。	PPT
5 分			Voice Tra の説明	翻訳アプリ (Voice Tra)
15 分	グループ	グループで話し合う。	グループワークの説明 あるシチュエーションを提示し、食中毒の予防ついてグループで話し合ってもらう。(肉や魚を食べるとき、食べ物を家に持ち帰って食べるとき、屋台で食べ物を売る、外でバ	

			ーベキューをするとき）	
15分		翻訳アプリを使用したり、MT・ATに聞いたりしながら文章を作る。	文型を用いて、日本語で文章を作る。（MT・ATがグループを見て回り、アドバイスをする。）	
10分		話し合って出た意見をワークシートに書き（文型を使用する）、書いた部分の写真を撮る。写真をLINEグループに送る。	日本語で書いた部分の写真を撮ってもらい、LINEグループに送ってもらう。送ってもらった写真をスクリーンに映し、反応する。 ~~別の問題を出し、同じ流れでもう一度行う。~~（時間の都合上カット） 次回の授業の予告をする。	LINE

学習者アンケートの結果

- わからないことがあればすぐに手伝ってくれました。この学習環境が好きです。
- とても生き生きとした授業でした。
- コースは人生に関連しており、非常に興味深いものです。

2日目のふり返り

1時間目で時間が余ってしまいましたが、2時間目を早く始めて調整しました。クイズやグループワークも楽しんで参加してくださったので嬉しかったです。3時間目のグループワークは、どのくらいの時間がかかるのかわからなかったので2つ用意していましたが、思ったよりも時間がかかったので1つにしました。全体を通して、楽しい雰囲気で授業を進められたので良かったです。

改善点

・語彙コントロールが必要だった

・時間が余りそうなときは準備してきた話を広げたり学習者に質問したりする

・指示より先に書いてしまう人が何人かいたので、ワークシートを配るタイミングを考える

・グループで1つの意見にしたい時は、グループで1枚の紙を配る

・難しそうな語彙はイラストを付けておくとわかりやすい

・語彙表を作ったものの、どこに出てくる語彙なのか全て説明する時間はないので、スライドに印を書いておく

MT 駒橋 佑里乃（ゆりの）
AT 李舒柔 （よじゅう）
西村穂香 （ほのか）

8月24日(金)の授業

食中毒について

1時間目 食中毒について知る
2時間目 食中毒の予防について知る
3時間目 私たちができる予防について考える

1時間目

食中毒について知る

まず、アニメを見ましょう！

食品衛生啓発アニメ クリーナーズ！【第5章】繰り返す持ち帰り食中毒の過ち
https://www.youtube.com/watch?v=Xk-pYsHuy6M&t=35s

グループワーク

食中毒になったことがある人	食中毒になったことがない人
①何を食べて食中毒になりましたか？ ②どんな症状でしたか？	①食中毒になりやすい食べ物は何ですか？ ②どんな症状があると思いますか？

クイズ

夏に多い食中毒はどっちでしょう？



夏に多い　　冬に多い

二次感染

【意味】食中毒になった人から、別の人に病気がうつることです。
【原因】吐いたものを処理するときにうつります
【予防】手袋・マスクをつけます



食中毒とは何ですか？

細菌やウイルスがついた食べ物を食べることで起こり、
吐き気がしたり、おなかが痛くなったりする病気



食中毒の種類

細菌　ウイルス　自然毒　寄生虫　など



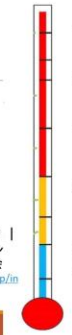
細菌

【原因】・卵、肉、魚の加熱不足
・汚い手で食べ物を触る



【症状】 吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、発熱、頭痛など

温度



75℃ ほとんどの菌が死にます
60℃ ゆっくり増えます
40℃
20℃ ⚠増えます！
0℃
−10℃ ほとんど増えません
増えません



食中毒に気をつけよう！｜コープデリ商品検査センター｜コープデリ連合会
https://kensa.coopdeli.coop/info/2020/05/055078.html

ウイルス

私が「広島県」で食べた牡蠣です！



【原因】 牡蠣、アサリ / 豚肉、レバーの加熱不足



【症状】 下痢、腹痛 / だるくなる、皮膚が黄色くなる、発熱

自然毒



【原因】・フグの毒

・毒のあるキノコや植物



・カビが生えた食べ物



【症状】しびれる、頭痛、腹痛

寄生虫



【原因】サバやアジについている寄生虫



【症状】腹痛、吐き気、嘔吐

クイズ

寄生虫は見えると思いますか？見えないと思いますか？



見えます！



食中毒になったらどうしますか？

下痢や嘔吐 ➡ 水やスポーツドリンクを飲みます（脱水症状防止）



下痢や嘔吐が続く ➡ すぐに病院に行きます



下痢や嘔吐がひどくて水が飲めない、しびれる、呼吸困難 ➡ 救急車を呼びましょう（日本も119番です）



2時間目

食中毒の予防について知る

復習

【種類】

細菌（ウイルス）自然毒（寄生虫）

【温度】

細菌は、30℃～40℃が最も（増えます・増えません）

【二次感染】

吐いたものを処理するとき➡手袋・マスクをつける

V（辞書形）とき

料理をします。　手を洗います。

料理をする とき、手を洗います。



寝ます。　電気を消します。

寝る とき、電気を消します。



[1]①寿司を食べます。 醤油をつけます。

寿司を食べるとき、醤油をつけます



②日本へ行きます。パスポートが必要です。

日本へ行くとき 、パスポートが必要です。



V（辞書形/タ形）とき

ごはんを食べるとき、「いただきます」と言います。

ごはんを（食べる前・食べた後）です。

ごはんを食べたとき、「ごちそうさまでした」と言います。

ごはんを（食べる前・食べた後）です。

[2] ① ディズニーランドへ行きます。チケットを買います。

ディズニーランドへ 行くとき、 チケットを買います。

ディズニーランドへ行きます。 お土産を買います。

ディズニーランドへ 行ったとき、お土産を買います。

食中毒予防の3原則

つけない　増やさない　やっつける

食中毒予防の3原則



食べ物に菌をつけません

例：手洗いをします
　　まな板や包丁を洗います

食中毒予防の3原則



食べ物についた菌を増やしません

例：長時間持ち歩きません
　　正しい温度で保管します

食中毒予防の3原則



食べ物についた菌をやっつける

例：加熱する

質問

デリバリーをしたり、お店で食べ物を買って家や会社で食べたりすることはありますか？〈外帯〉

Uber Eats　foodpanda

デリバリーや持ち帰り

長い時間の持ち歩きや、加熱しないまま食べるのは危険です！

菌が増えて、やっつけないまま食べると食中毒になります。

予防

長い時間、持ち歩かないようにします。

持ち帰ったらすぐに食べます。

すぐに食べないときは、冷蔵庫で保存します。

中心までしっかり加熱します。

質問



飲食店で働いている人はいますか？
（レストラン、ジュース屋さん　など）



その飲食店で、食中毒になったお客さんはいますか？

日本で起きた食中毒と予防

うなぎ弁当で集団食中毒

日本の文化
うなぎを食べる日



2024年7月24日の土用の丑の日に、うなぎ弁当を買ったお客さん160人が食中毒になりました。

従業員が手袋をつけずに盛り付けをしました。



160人が食中毒になりました。

予防

手洗いをしっかりします。

食べものを触るときは、手袋をつけます。

食べ物は正しい温度で保管します。

調理した後は、早く食べてもらいます。

焼き肉店で食中毒

2024年6月2日、焼き肉店に一緒に行った4人が

食中毒になりました。

4人は、牛の心臓の刺身や焼き肉を食べました。



3日後、食中毒の症状が出ました。

予防

生の肉は、できるだけ食べません。

肉は、よく焼きます。

肉を焼くときのトングと食べるときのおはしは、分けます。





毒きのこで食中毒

2024年6月24日、50代男性が間違えて毒きのこを食べて食中毒になりました。

男性は、緑地に生えていたきのこを採り、家で食べました。

2時間後に食中毒の症状が出ました。

クイズ

食べられないきのこはどれですか？



予防

図鑑や写真で判断しないようにします。

食べられると判断できないきのこは採りません。

食べません。人にあげません。

グループワーク

みなさんができる食中毒の予防は何ですか？
グループで話し合いましょう！（中国語OK）

例　・しっかり手を洗います
　　・肉は加熱します
3時間目に詳しく考えます。

3時間目

私たちができる予防について考える

2時間目の復習

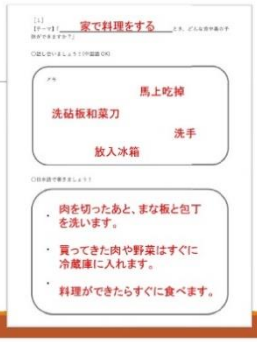
【文法】
V（辞書形/タ形）とき
【予防】
つけない・増やさない・（やっつける）
【グループワーク】
「みなさんができる食中毒の予防は何ですか？」

グループワーク

「〇〇とき、どんな食中毒（しょくちゅうどく）の予防（よぼう）ができますか？」

例

【テーマ】
「家で料理をするとき、
どんな食中毒の予防ができますか？」



グループワーク①

「〇〇とき、どんな食中毒の予防ができますか？」
3つ以上書きましょう！

1グループ
2グループ　肉や魚を食べるとき



3グループ
4グループ　食べ物を家に持ち帰って食べるとき

語彙表（ごいひょう）

8 月 24 日(土)

グループ　名前

【1 時間目】

日本語	中国語
十分に	充分地
だるい	疲憊的
しびれます	麻痺
アサリ	花蛤
レバー	肝臟
フグ	河豚
カビ	黴菌
サバ	青花魚
アジ	日本竹筴魚
手袋	手套
防ぎます	預防
息	呼吸
うつります	感染

日本語 (食中毒関連語)	中国語 (食物中毒的關聯單字)
食中毒	食物中毒
ウイルス	病毒
自然毒	天然毒素
下痢	腹瀉
吐き気	噁心想吐

【2 時間目】

日本語	中国語
電気	燈
パスポート	護照
チケット	票
お土産	伴手禮
デリバリー	外送
持ち帰ります(持ち帰り・テイクアウト)　動・(名)	外帶
持ち歩きます	隨身攜帶
冷蔵庫	冰箱
飲食店	餐廳
うなぎ	鰻魚
盛り付け	盛入
調理します	烹飪
焼き肉	烤肉
トング	夾子
間違えます	弄錯
緑地	綠地
図鑑	圖鑑

【3 時間目】

日本語	中国語
屋台	路邊攤
売ります	賣

授業資料　　8 月 24 日(土)2 時間目

グループ　名前

【文法】「V(辞書形)とき」
料理をします。手を洗います。 ➡ 料理をするとき、手を洗います。

[1] 二つの文章を「とき」を使って一つにしてください。
（請使用「とき」, 將兩個句子變成一個句子）

① 寿司を食べます。 醤油をつけます。

寿司を＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、醤油をつけます。

② 日本へ行きます。パスポートが必要です。

日本へ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、パスポートが必要です。

【文法】「V(辞書形/タ形)とき」
ごはんを食べるとき、「いただきます」と言います。
（「いただきます」 ⇒ **後** ごはんを食べる ）
ごはんを食べたとき、「ごちそうさまでした」と言います。
（ ごはんを食べる ⇒ **後** 「ごちそうさまでした」 ）

[2] 二つの文章を「とき」を使って一つにしてください。
（請使用「とき」, 將兩個句子變成一個句子）

① ディズニーランドへ行きます。チケットを買います。

ディズニーランドへ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、チケットを買います。

ディズニーランドへ行きます。お土産を買います。

ディズニーランドへ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、お土産を買います。

授業資料　　8 月 24 日(土)3 時間目

グループ　名前

【グループワークのテーマ】

「〇〇とき、どんな食中毒の予防ができますか？」

【グループワークの流れ】

1. 「〇〇とき、どんな食中毒の予防ができますか？」についてグループで話し合います。
   （請與小組討論針對「什麼時候，可以預防什麼樣的食物中毒呢？」） 用中文也 OK
   多くの案を出しましょう。
   （請多想出一些方案）
2. 3 つの案を選びましょう。
   （請選出三個方案）
3. 3 つの案を「Voice Tra」を使ったり、先生に聞いたりして日本語に翻訳します。
   （請將三個方案用日文寫在教材上。）
4. 3 つの案を日本語で授業資料に書きましょう。
   （請將三個方案用日文寫在教材上。）

【グループ LINE で共有】

1. グループの中で 1 人が、日本語で書いた部分の写真を撮ります。
   （請群組中的一個人，將用日文寫的部分拍照下來。）
2. 撮った写真をグループ LINE に送ります。
   （請將拍下的照片傳到 LINE 群組裡）
3. 先生が指名したグループの人は、書いた日本語を読みます。
   （被老師點到的小組的人，唸出所寫的日文。）

わからないことがあれば、先生に聞いてください！
（如果有不懂的地方，請向老師提問！）

1

[2]
【テーマ】「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とき、どんな食中毒の予防ができますか？」

○話し合いましょう！（中国語 OK）

メモ

○日本語で書きましょう！

•

•

•

[1]
【テーマ】「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とき、どんな食中毒の予防ができますか？」

○話し合いましょう！（中国語 OK）

メモ

○日本語で書きましょう！

•

•

•

第三日

8月26日(月) 3日目　担当者名 MT: 手塚渚月　廖凰君　AT: 李妤柔　駒橋佑里乃

学習目標

内容 Contents

- バランスの良い食事とは何かを知る

言語 Communication

- 料理や材料名の単語を知る
- 「食べすぎないほうがいいです」「飲みすぎないほうがいいです」の表現を使う

思考 Cognition

- バランスの良い食事に近づけるために、何を選ぶかを考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- グループでの活動を通して新たな意見を知り、メンバーとの結束力を高める

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
10分	全体		MT:今日のテーマを示す MT・AT:自己紹介	PPT
	グループ	最近どんな食事をしたか、グループで自由に話す	MT:最近の食事について話してもらう、話題の例を示す 全員:巡回	
20分		1. ①・②について、グループで話す(中国語でも良い) 2. 個々の意見を付箋に書き、1枚のA3の紙に貼る 3. A3 の紙を写真にとって、LINE グループに送る	グループワークをする ① バランスの良い食事とは何ですか? ② バランスが悪いとどうなりますか? MT:グループワークの流れを説明 全員:巡回 MT:LINE に送られた写真を見てリアクション	PPT、付箋、A3 の白紙(1枚/グループ)
10分	全体	1日目の 3 時間目に考えた「自分の誕生日に食べたい献立」を思い出し、その献立がバランスの良いものだったか考える	MT:食事のバランスについて説明するため、1日目「学校の給食」の復習をする MT:バランス献立の基本型の画像を見せて説明する	PPT
		食べ物スライドを見ながら、発音する	MT:食べ物の絵とその名前が入ったスライドを一枚ずつ見せ、発音する	

10 分	グループ	1. 料理に何の材料が使われているか考える 2. 料理の絵プリントの横に使われていると思う材料カードを置く	絵カードゲームをする MT:ゲームの方法を説明 AT:料理の絵プリントと材料カードを配布する 全員:巡回	PPT、料理の絵プリント、材料カード

2時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
10 分	全体	MTとATの一日の食事を見る	MTとATの一日の食事例を写真や動画で見せ、説明 ※「これは○○です。」程度にとどめる。詳しい説明はなるべく質問コーナーで行いたい (順番:手塚→廖→駒橋→李) AT:スライドと同じ写真や動画をLINEグループに送る	PPT
10 分		一日の食事について気になったところを該当MTやATに質問する	一日の食事について質問がないか尋ねる MT・AT:質問に答える	
10 分	グループ	一日の食事の中で、バランスが良いところ、悪いところを1つのグループが1人の食事について話し合う。 1グループ→手塚 2グループ→廖 3グループ→駒橋 4グループ→李	グループワークをする MT:グループワークの説明 MT・AT:自分のグループへ行く その他全員:巡回	PPT
5分	全体	LINEの投票機能で食べ物アンケート・飲み物アンケートに答える(1人3個まで)	好きな食べ物・飲み物アンケート MT:選択肢の説明 AT:LINEグループに投票を送信(複数選択可に設定) MT:アンケート結果を見てリアクション	PPT
15 分	全体	スライドを見ながら発音練習し、意味、使い方を理解する	MT:文型導入 「食べすぎる/食べすぎない」 「飲みすぎる/飲みすぎない」 を図表で示し、発音する	PPT

			「～ないほうがいいです」を発音する 名詞形「食べすぎ」・「飲みすぎ」、また「暴飲暴食」についても触れる	

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5 分	全体	スライドを見ながら発音練習し、意味、使い方を復習する	2時間目に導入した文型を復習する	PPT
15 分	全体	「（食べ物名）___個は食べすぎです」に合わせて、その食べ物を何個食べたら食べすぎか、自分の思う個数の数字を LINE グループに送る 「（飲み物名）___杯は飲みすぎです」も同様に行う	「（食べ物名）___個は食べすぎです」（2時間目のアンケートの食べ物を使う） MT：アクティビティの説明 LINE グループに送られた数字の中で、一番大きい数字を上の文型に当てはめ、発音する 「（飲み物名）___杯は飲みすぎです」も同様に行う	PPT
5 分	全体	「○○を食べすぎないほうがいいです」・「○○を飲みすぎないほうがいいです」の文型を練習する	MT：アクティビティで使った食べ物や飲み物を使い、文型に当てはめ、発音する	PPT
5 分	全体	日本にある食べ放題の内容、時間、値段を理解する	アクティビティ「スイーツパラダイスに行ったら・・・」 MT：日本の食べ放題（スイーツパラダイス）を紹介、説明する	PPT
10 分	グループ	スイパラで何を食べるか、メニューを見てグループで話し合う	MT：今日、食べ放題に行くという設定であること、このアクティビティの説明をする AT：スイパラのメニューを配布 全員：巡回	PPT、スイパラメニュー
	全体	スライドを見ながら発音し、説明を聞く	MT：ワークシートに書いてもらうことの例を見せ、発音・説明をする ※<u>まだワークシートは配布しない</u>	PPT
10 分	グループ	自分の意見を考え、ワークシートの空欄を埋める	AT：MT の説明後、ワークシート配布 全員：巡回	ワークシート PPT、スイパラメニュー、ワークシート
	全体		MT：今日のまとめ・次回の予告	PPT

学習者アンケートの結果

授業の速さ・内容の難しさはちょうどよいという回答がほとんどで、満足度も高かったことが伺える。「面白いです」「内容はとても豊富です」「収穫があります」といった感想がいただけた一方、「PPTの中に漢字があるところはルビが欲しいです」「学習者はもっと発表してもいいです」といった意見もあった

3日目のふり返り

改善点としては、アンケートにあったようにもっと漢字にルビをふることや発表の機会が少なかったこと、アクティビティとテーマの結びつきが弱かったことなどについて、事前に時間をかけて準備しておけばよかったと思った。

また、1日目と2日目の経験から、グループワークで話が盛り上がるとなかなか終わらないという課題や、こちらの意図としてはグループで行ってほしい作業が個人作業になってしまったり、勝手に進めてしまったりする人がいるという問題があった。これを解消するために、初級2のメンバー全員で話し合い、グループワークでは時間がかかるという想定で授業に臨んだこと、配布物をグループで一つにすることや、配るタイミングに気を配ったことが、結果としてグループワークにみんなで参加させることができたことにつながったと思う。

2024年度 日本語キャンプ 初級2

- 今年のテーマ：健康な食生活（けんこう　しょくせいかつ）
- 1日目：学校の給食
- 2日目：食中毒
- 3日目：バランスの良い食事
- 4日目：保存食、非常食
- 5日目：ポスター発表

MT　手塚渚月（なつき）
　　廖風君（りんご）

AT　駒橋佑里乃（ゆりの）
　　李妤柔（よじゅう）

バランスの良い食事

8月26日　1時間目

最近、どんな食事をしましたか

- グループで自由に話してみましょう

例：今日の朝、何を食べましたか／何を飲みましたか？

最近食べたものの中で、一番美味しかったものは何ですか？

自分で料理をして食べましたか？
／他の人に作ってもらいましたか？

バランスの良い食事

- 意見を聞きたいので、中国語で話してもいいです。
- 自分の意見を一言で付箋に書いて、A3の紙に貼ってください。
- A3の紙を写真に撮って、LINEグループに送ってください。

① バランスの良い食事とは何ですか？
（什麼是均衡飲食？）
② バランスが悪いとどうなりますか？
（飲食不均衡的話會怎麼樣呢？）

- 食事のバランスは健康に関係があります。
- バランスの良い食事には必要なものがあります。

⇩

1日目の学校の給食の復習をします。

学校の給食

- 1日目に、誕生日に食べたい献立を考えてもらいましたね。
- その献立は、バランスの良い食事でしたか？

名前：手塚渚月　　自分の誕生日：7月29日

デザート
冷凍みかん

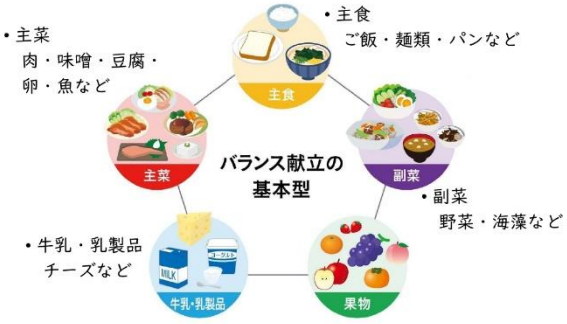
副菜
ポテトサラダ

主菜
ハムチーズカツ

飲み物
牛乳

主食
揚げパン

汁物
コーン
スープ




ご飯（はん）


麺類（めんるい）


パン

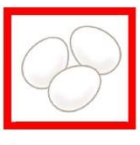

肉（にく）



味噌（みそ）



豆腐（とうふ）


卵（たまご）


魚（さかな）



野菜



海藻



チーズ



果物



カレーライス



味噌汁



ラーメン



スパゲッティ



サンドイッチ



海鮮丼



サラダ



ピザ

絵カードゲームをします！

- 料理の絵が書いてある紙と、材料カードがあります。
- 材料カードは５色あります。
- 材料カードをおけたら、写真を撮ってLINEグループに送ります。

絵カードゲームをします！

- 料理には、何の材料を使っていますか？
- 料理の横に材料カードを置きます。



カレーライス

バランスの良い食事

８月26日　2時間目

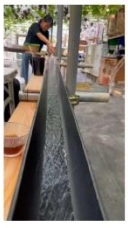
今日のMTとATが
一日の食事を紹介します！

なつきさん の食事

朝ご飯



流しそうめん



冷やし中華



りんごさん の食事

朝ご飯





鍋食べ放題



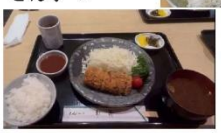


ゆりのさん の食事

朝ご飯



とんかつ



海鮮丼



よじゅうさん の食事

トースト





お弁当

晩ご飯





マンゴー

質問はありますか？

気になる写真や動画(どうが)があれば、先生に質問してください！

今の写真や動画は、LINEグループで見ることができます。

例：「これは何ですか？」

「これには何が入っていますか？」

良いところ・悪いところ

① 写真や動画で見た食事の中で、
バランスが良いところはどこですか？

② 反対に、バランスが悪いところはどこですか？
「この食事はバランスが（良いです／悪いです。）」

1グループ→なつきさんの食事　3グループ→ゆりのさんの食事
2グループ→りんごさんの食事　4グループ→よじゅうさんの食事

好きな食べ物・飲み物アンケート

LINEグループを使って投票してください。（１人3個まで）

・ハンバーガー
・チョコレート
・アイスクリーム
・から揚げ（炸物）
・まんじゅう（饅頭）
・ケーキ



・タピオカミルクティー（珍珠奶茶）
・野菜ジュース（蔬菜汁）
・コーヒー
・サイダー（蘇打汽水）
・スポーツドリンク（運動飲料）
・ヤクルト／カルピス



・好きなものはない

アンケートありがとうございました！

• 皆さんの好きな食べ物や飲み物が分かりました。

• これらの食べ物は、食べすぎないほうがいいですか？
飲みすぎないほうがいいですか？

⇩

食べすぎないほうがいいです！
飲みすぎないほうがいいです！

食べすぎる／食べすぎない
飲みすぎる／飲みすぎない

• 食べる



• 飲む



～ないほうがいいです

• 食べすぎないほうがいいです。
（不要吃太多比較好。）

• 飲みすぎないほうがいいです。
（不要喝太多比較好。）

食べすぎ・飲みすぎ（暴飲暴食）

名詞形（名詞型態）
食べすぎ（吃太多）
飲みすぎ（喝太多）

例：**食べすぎ**は良くないです。
ビールを**飲みすぎ**です。

※暴飲暴食(ぼういんぼうしょく)　＝（暴飲暴食）日本語でも同じ意味です！

バランスの良い食事

8月26日　3時間目

ハンバーガー＿＿個は食べすぎです。

LINEグループに数字を送ります。

• アイスクリーム＿？＿個　は食べすぎです。

• から揚げ（炸物）＿？＿個　は食べすぎです。

• まんじゅう（饅頭）＿？＿個　は食べすぎです。

• ケーキ＿？＿個　は食べすぎです。

スポーツドリンク____杯は飲みすぎです。

LINEグループに数字を送ります。

- タピオカミルクティー（珍珠奶茶）__？__杯は　飲みすぎです。
- 野菜ジュース（蔬菜汁）__？__杯　　は　飲みすぎです。
- コーヒー__？__杯　　は　飲みすぎです。
- サイダー（蘇打汽水）__？__杯　　は　飲みすぎです。

○○を食べすぎないほうがいいです

練習しましょう

- _____を食べすぎないほうがいいです。
- _____を食べすぎないほうがいいです。

- _____を飲みすぎないほうがいいです。
- _____を飲みすぎないほうがいいです。

お腹が空いてきましたか？

ところで…

- 食べ放題（吃到飽）に行ったことがありますか？
- 日本にも食べ放題があります！
- 日本の食べ放題を紹介します。

SWEETS PARADISE スイーツパラダイス です！

- 店名：スイーツパラダイス





https://www.sweets-paradise.jp/guide/
↑メニューはこのURLを見てください。

「スイーツパラダイスに行ったら…」

- 今日は、友達と午後から食べ放題に行きます。
- 朝から何も食べていません。
- スイーツパラダイスに行って、「フルパラコース」を選びます。
- 「何を食べるか」をグループで話し合ってください。
  （請在小組內討論會吃什麼。）

「スイーツパラダイスに行ったら…」

【例】

- 私はスイーツパラダイスに行ったら、
  __マンゴームースケーキ__（芒果慕絲蛋糕）を選びます。
- なぜなら__おいしい__からです。
- でも、__ケーキ__は食べすぎないほうがいいです。
- なぜなら__太る（ふとる）__からです。



「スイーツパラダイスに行ったら…」

- 私はスイーツパラダイスに行ったら、
  まず__（食べ物／飲み物）__を選びます。
- なぜなら__（理由）__からです。

- でも、__（食べ物／飲み物）__は［食べすぎない／飲みすぎない］ほうがいいです。
- なぜなら__（理由）__からです。

バランスの良い食事

- バランスの良い食事は簡単ではありません。
- でも、バランスに気を付けると、健康な食生活に近づきます！

バランスの良い食事　　グループ　名前

３時間目　ワークシート

【例】

・私はスイーツパラダイスに行ったら、 **マンゴームースケーキ**

（芒果慕絲蛋糕）を選びます。

・なぜなら **おいしい** からです。

・でも、 **ケーキ** は食べすぎないほうがいいです。

・なぜなら **太る** からです。

・私はスイーツパラダイスに行ったら（食べ物／飲み物）を選びます。

・なぜなら　（理由）　からです。

・でも、（食べ物／飲み物）は ┌ 食べすぎない
　　　　　　　　　　　　　└ 飲みすぎない　ほうがいいです。

・なぜなら　（理由）　からです。

（　　）の中に書きます。

・私はスイーツパラダイスに行ったら

（　　）　を選びます。

・なぜなら　（　　）　からです。

・でも（　　）は　食べすぎない／飲みすぎない　ほうがいいです。

・なぜなら　（　　）　からです。

第四日

8月27日(火) 4日目　担当者名 MT: 深田琴音　　AT:　詹佳倩・曽田優奈

学習目標

内容 Contents

- 保存食・非常食についての知見を深めることができる。

言語 Communication

- 自分の意見を日本語で表現できるようになる。

思考 Cognition

- 保存食・非常食のメリットデメリットを考えられるようになる。

協学・異文化理解 Community/Culture

- 活動を通して、仲間の意見を受け入れる。

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5分	個人	復習	MT:何を学んだか・覚えているか問いかける	PPT
9分	ペア	ペアで話す・聞く	MT:導入「台風が来たときどんな物を用意している？準備している人はいる？」と問いかけ意見を促す MT:自身の経験を紹介(能登半島大地震)	PPT
8分	個人	PPTを見る・説明を聞く 質問をする	MT:インスタント麺・缶詰の紹介 添加物の説明 質問に答える	PPT
8分	グループ	「日本の非常食」を知っているか話し合い(中国語可)	MT:非常食の簡単な説明・問いかけ AT・その他:巡回・意見を聞く	PPT
12分	個人	説明を聞く・動画視聴・質問	MT:非常食の技術の紹介・動画の再生・簡単な説明・問いかけ	PPT YouTube
8分	個人(ペア)	クイズに回答する(挙手)	MT:非常食クイズの進行 AT:非常食クイズの手伝い その他:巡回	PPT

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
10 分	個人	非常食の作り方を見て学ぶ	MT:非常食の作り方の導入・説明 AT:非常食の調理	非常食(3 種類) PPT
10 分	グループ	グループでクイズに参加 LINE で意見を送る	MT:クイズ大会の進行 AT:LINE の管理 その他:巡回	PPT
20 分	グループ(全体)	乾パンの説明を聞く 乾パン・非常食の試食・感想の共有	MT:乾パンの説明・試食の運営・感想を数人に聞きに行く AT:乾パン・非常食の準備・配布・回収 その他:巡回・感想を聞く	PPT 非常食・乾パン・皿・スプーン
10 分	個人・グループ	「～と思います。」「賛成です。」「反対です。」「なぜなら～だからです。」の学習(発音・意味・使い方)・練習	MT:文型導入・説明 AT・その他:巡回・補足説明	PPT

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
5 分	グループ(ペア)	今日の学習の復習	MT:今日の学習で印象に残っていることを聞く・この後の活動の説明 AT:ワークシートの配布(授業開始前)	PPT ワークシート
15 分	個人・グループ	非常食のメリットデメリットを考える・ワークシートに記入	MT:活動の説明・タイムキーパー AT・その他:巡回・ワークシート記入の手伝い	PPT ワークシート
10 分	グループ・全体	考えた意見を共有する (グループで共有後、クラスでもいくつか紹介)	MT:意見共有の進行・クラスで共有する意見の選定 AT:MT の手伝い・巡回 その他:巡回	PPT ワークシート
20 分	グループ・全体	ディスカッション(非常食を買いたいか？食品を備蓄しておくことには賛成か反対か？)	MT:ディスカッションの進行・議論テーマの説明・今日の活動のまとめ AT・その他:巡回・ディスカッションの手伝い	PPT ワークシート 付箋

学習者アンケートの結果

アンケートの満足度は高く、不満・やや不満はいなかった。授業の速さ・内容の難しさもちょうどよいという意見が多かった。しかし初めて耳にする単語が多かったため、やや速い・やや難しいという意見も少し見られた。学習者からは「日本の非常食を広めたい」「勉強になった」「面白くて実用になるテーマだった」など良意見が多数出た。

4 日目のふり返り

試食やグループワークなど時間がかかりそうな活動が多かったが、時間配分はうまくいったと思う。他の日よりもクイズが多かったのだが、学習者が集中して活動に取り組んでいる点も良かった。非常食の試食という変わった活動は「おいしくない」という意見が多数であったが、非常食のメリットデメリットの両方を一度に伝えられる効果的な活動であったと思う。一方で試食の乾パン等の配布物があると学習者の意識がそちらに向いてしまい、指示が通らないというマイナス面も見られた。

スライドに文章の説明が多かったり、クイズの説明が複雑であったり、学習者に混乱を招いたところがあったため PPT での説明や指示にもっと改善の余地があった。

日本語キャンプ 初級2
4日目
「保存食、非常食の健康面と安全面」

MT:ふかだことね
AT:そだゆうな・詹佳倩

今日のMT
深田琴音（ことね）
AT
曽田優奈（ゆうな） 詹佳倩（かせい）

復習（ふくしゅう）

・1日目
「学校の給食」
例）給食の献立を考えました
2日目
「食中毒」
例）細菌とウイルスを学びました
3日目
「バランスの良い食事」
例）食べ過ぎとはなにかを考えました

なにを学びましたか?覚えていますか?

中国語OK

台湾で台風が来たとき
どんな物 を食べますか?
何か準備している人はいますか?
（在台灣，颱風來的時候會吃什麼呢？）

日本で地震が起こったとき

・火も電気も使えません
・水も買えなくなります
・食べ物がスーパーマーケット にありません

※地面が割れているため

家に食べ物と水をおいておくことが大切です!



※わたしのともだちの写真です。

準備した方がいい食べ物

- インスタントラーメン
- 缶詰
- レトルトカレー
- お湯がいらないもの
- 火を使わないもの



インスタント麺

- **日本**



台湾



インスタント麺（カップ麺）

【良い点】
- お湯があればすぐ食べることができます
- 賞味期限が長いです（約1年）

【悪い点】
- 栄養がかたよります（營養不均衡）（野菜や海藻がほとんどはいっていません）
- 塩分が多いです（鹽分高）
- 添加物が多く入っています（加了很多添加物）

添加物（てんかぶつ）とは?

食品を加工したり、保存したり、味をつけたりするときに
使う調味料、保存料、着色料をまとめて
食品添加物といいます
（加工、保存、調味食品的時候用的調味料、防腐劑、食用色素，總稱為食品添加物。）

缶詰（かんづめ）

日本



台湾



日本には変わった缶詰もあります！



自動販売機で売っているものもあります

缶詰

【良い点】
- 長期保存が可能です（2～3年）
- 持ち運びがしやすいです
- 開けてすぐ食べられます

【悪い点】
- 缶のゴミが出ます
- 栄養がかたよります（野菜が少ない）
- 缶に悪性の物質が使われていることがあります（有時候罐頭中會使用有害物質）

非常食（ひじょうしょく）とは



災害などの非常事態のときに食べる食品のことです
家や学校などに保管をしておきます
普段から食べることはあまりありません

「日本の非常食を知っていますか？」

実は日本の非常食の技術はすごい！？



- 日本は災害大国（災害大國）です
  台風、地震、津波、土砂崩れなど（颱風、地震、海嘯、土石流）
  例）東日本大震災（2011年3月11日）
  能登半島大地震（2024年1月1日）



だから非常食の技術が他の国より発展しています！



実は日本は非常食の技術がすごい！？

- 「超保存食」
- 普通の保存食よりも賞味期限が長いです
- 特殊な技術を使っています
  https://youtu.be/5V397pPI5bg?si=2h9EztJtQpBOY6c4（0.75倍速）
- 3種類の保存食がでてきます

「超保存食」の動画

【レトルトの非常食】賞味期限5年
使用四層結構的包裝來隔絕空氣和光線，以實現長期保存
温めなくても食べられます

【クッキー】賞味期限10年
3種類の味が入っています
將產品放入包裝中，以高溫和高壓來殺菌

【チキンシチュー】賞味期限25年
缶にフレークが入っています
フリーズドライ（冷凍乾燥）で水分を98%なくしました

日本の非常食〇×クイズ

日本の非常食に「獅子頭」がある？

正解

〇



あきないように、いろいろな非常食があります
他にも魯肉飯、鹹粥、香菇雞湯などもあります。

日本の非常食〇×クイズ

火や電気を使わなくても温かくなる非常食がある？

正解



〇

発熱剤（はつねつざい）（放熱劑）

発熱剤を使えば火も電気もなくても温かい食事が食べられます
（只要使用放熱劑，即使沒有火跟電也可以享用熱呼呼的飯菜）

日本の非常食〇×クイズ



パンの缶詰がある？



正解



〇

「非常食にもなるパンの缶詰」があります

非常食とは思えない、ふんわり
やわらかなパンが特徴です
2個で1954円（440元）

日本の非常食〇×クイズ

チョコレートは非常食になる？



正解





×

チョコレートも非常食になります！
と
溶けないチョコがあります
カロリーが簡単（かんたん）にとれます
ストレスの軽減（けいげん）（可以抒壓）になります

日本の非常食〇×クイズ

生野菜（なまやさい）（新鮮蔬菜）の缶詰がある？

正解

×

かんそう　あと　かこう
乾燥させた後パウダーやチップスに加工されたものは
あるが、生野菜の缶詰はありません

生野菜の中にある水が食中毒のもとになるため非常食にはなりません

4日目　2時間目

この時間にすること

- 非常食の作り方
- 非常食クイズⅡ
- 非常食の試食（ししょく）、感想（かんそう）
- 文型（ぶんけい）の学習（がくしゅう）

実際の非常食

3種類の非常食

1）7年保存クッキー
2）7年保存レトルト食品五目ご飯
3）レスキューライス



グループ対抗（たいこう）クイズ大会

グループごとにチームになってクイズ大会をします。

グループの代表者（だいひょうしゃ）一人が回答をLINEに送ってください。

一位のグループに7年保存クッキーを渡します。

クイズ大会



これらは日本のアからウのどこの保存食でしょうか？

1）いぶりがっこ
將蘿蔔煙燻後，再用米糠醃製而成的醃漬物
2）スーチカー
鹹豬肉
3）くさや
用魚的內臟鹽漬發酵後的汁液醃製的魚

正解

ア（秋田県）→1）いぶりがっこ
イ（東京都）→3）くさや
ウ（沖縄県）→2）スーチカー

これは全て伝統的な保存方法です。



※くさやは東京都でも八丈島の名産品です

1


2


3


クイズ大会

•はちみつの賞味期限はいつでしょうか？

1）3年
2）5年
3）10年
4）ない（ずっと食べられる）



正解

4ない（ずっと食べられる）

• はちみつは低水分で高濃度であるため、微生物があまり増えません。
（由於蜂蜜是低水分、高濃度的關係，不太會增加微生物）

• 古代エジプトの墓から発見された数千年前のはちみつが、今でも食べられます。
（從古埃及墳墓中發現的數千年前的蜂蜜至今仍然可以吃）

クイズ大会

•非常食にならないものはどれでしょう？

• 1）プリン
• 2）インスタントコーヒー
• 3）乾パン（かんぱん）
• 4）フルーツ

正解



1 プリン

• 卵（たまご）や牛乳（ぎゅうにゅう）など賞味期限（しょうみきげん）が短（みじか）い材料（ざいりょう）が使われているため
基本的（きほんてき）に長持（ながも）ちしません。
• また冷やさなくてはいけないため非常食にはなりません。

乾パン（かんぱん）とは？

• 小さく薄（うす）くして焼（や）いたビスケットのようなパンです。
• 日本で有名（ゆうめい）な非常食です。
• 水分が少ないため長く保存できます。
• 元々（もともと）は軍用（ぐんよう）の食料です。
• 水もお湯もいりません。

• 1缶 300円 （63元くらい）



乾パンの中には



乾パンの缶の中には一緒に氷砂糖（こおりざとう）や金平糖（こんぺいとう）が入っています。

これは
糖分補給のため
（為了補充糖分）
口に入れてゆっくり溶かすことで唾液をだして、
水分の少ない乾パンを食べやすくするため
（入口後慢慢溶解，產生唾液，讓水分較少的餅乾能輕鬆吃下）

乾パンを食べてみよう！

中国語OK

• おいしい？ おいしくない？
• 大きさは想像（そうぞう）と一緒（いっしょ）？違（ちが）う？
• また食べたい？もういらない？

1自分（じぶん）の感想（かんそう）を考（かんが）えましょう。
2グループで自分の考えを話しましょう。Voice Tra OK

これから

3時間目にディスカッションをします。
次はその活動で使うことのできる日本語です。

「～と思います。」（我覺得～）

自分の意見を伝えるときに使うことができます。

例）「私は値段が高いと思います。」
「とても良い意見だと思います。」

「賛成です。」

他の人の意見に同意するときに使うことができます。

例）「私はこの意見に賛成です。」

「反対です。」

「賛成」と逆の意味です。

例）「あなたの意見に反対です。」

「なぜなら～からです。」

前の文の理由を説明するときに使います。

例）「私はこれが好きです。」「なぜならおいしいからです。」
「私は野菜をたくさん食べます。」「なぜなら体にいいからです。」

Voice Tra OK　日本語だけ

乾パンを台湾で売ることには賛成ですか？反対ですか？なぜですか？

私は 賛成／反対 です。
なぜなら___だからです。
私は___と思います。

例）私は賛成です。
なぜなら非常時に備えることは大切だからです。

4日目　3時間目

ディスカッション（討論）

今からすること

今日は「非常食、保存食」について学びました。
一番印象に残っていることは何ですか？

この時間は最後にグループでディスカッションをします。

1 考えてみよう

ペア活動　中国語OK　Voice Tra OK

「非常食の良い点と悪い点について」
例）**良い点** 賞味期限が長いです。
悪い点 値段が高いです。

- インターネットで調べてOK
- 時間は7分です。
- ワークシートに日本語で書いてください。

2 みんなに伝えよう

グループワーク　日本語だけ

考えた自分たちの意見をグループに伝えてください。

【ルール】
- グループでじゃんけん（猜拳）をしてください。
- 勝った人から時計回りに発表します。
（從贏的人開始順時針方向發表）
- 一人90秒話してください。

3 ディスカッション

グループワーク　中国語OK　Voice Tra OK

今日の授業を聞いて

1）「非常食を買いたいですか？」
（大家會想買防災食品嗎？）
2）「日本のように非常時のために、食品を備蓄しておくことには賛成ですか？ 反対ですか？」
（您贊成還是反對像日本一樣為了緊急時刻而預先儲備食品？）

- グループで話し合って賛成か反対か決めてください 理由も考えてください。
- 時間は10分です。
- 理由を書いた付箋をワークシートに貼ってください。（賛成はピンク、反対は黄色）
- 書いたワークシートをグループでひとりLINEに送ってください。

４日目　３時間目ワークシート

8/27（火）　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．非常食の良い点と悪い点を書きましょう。

【良い点】

【悪い点】

2）日本のように非常時のために、食品を備蓄しておくことには
賛成ですか、反対ですか？　　なぜですか？
（您贊成還是反對像日本一樣為了緊急時刻而預先儲備食品？
為什麼？）

1）　非常食を買いたいですか？買いたくないですか？

第五日

8月28日(水) 5日目　担当者名 MT: 西村穂香 AT: 深田琴音 廖凰君

学習目標

内容 Contents

- 5日間で学んだ内容を復習する
- 自他のグループのポスターの内容を理解する

言語 Communication

- 発表に用いる日本語を知り、実際に使用する

思考 Cognition

- 「健康な食生活で大切なことは何か」について考える

協学・異文化理解 Community/Culture

- グループで協力してポスターや発表原稿を完成させ、発表する

1時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
3分			MT:「1時間目を始めます」 MTとATを紹介する	PPT
	全体	【導入】 5日目の目標を確認する	【導入】 MT:5日目の目標を言う	
7分	全体	〈4日間で学んだことを思い出す〉	〈各日の学習内容を提示する〉 MT:「○日目は～について学びましたね」	
10分	全体	【展開】 〈発表テーマを確認する〉	【展開】 〈発表テーマを提示する〉 MT:「発表テーマは『健康な食生活で大切なことは何ですか？』です」	
	全体	〈時間配分を確認する〉	〈作業の時間配分を提示する〉	
			〈テンプレートを説明する〉 MT:「グループで意見を考える前にテンプレートを見ましょう！」	
	個人	〈資料でテンプレートを確認する〉	AT:資料を配布する MT:「テンプレートを参考にして考えましょう。ポスター発表に必要な	資料

			ことは必ず書きましょう」 〈話し合いの説明をする〉 MT：話し合いの進め方を説明する 　　ワークシートＡの説明をする AT：ワークシート Ａ と付箋を配布する 実習生：グループに ２ 人ずつサポートにつく	
15分	グループ	〈ワークシート Ａ に意見を書いた付箋を貼る〉	西村・李→1グループ 曽田・廖→2グループ 深田・駒橋→3グループ 手塚・詹→4グループ MT：ワークシートＢの説明をする AT：ワークシートＢ配布 実習生：各グループでサポートする	ワークシートA（グループに1枚）
10分	個人	〈意見をグループで1つにして、ワークシートＢに書き込む〉 〈ワークシート Ｂ の③ができたグループは先生に言う〉	〈内容の報告を受ける〉 実習生：言語面や内容面でアドバイスする。書いた日本語が正しく伝わるか確認する AT：発表原稿、模造紙、ペンを配布 実習生：各グループでサポートする	ワークシートB（1人1枚）
10分	グループ	〈テンプレートを参考にして、ポスター・発表原稿作成〉	MT：「続きは2時間目でします」 「1時間目はこれで終了します」	発表原稿、模造紙、ペン

2 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
3分	全体		【導入】 MT:「2時間目を始めます」 MT:時間配分　再提示 「1時間目に引き続き、ポスターと発表原稿を作りましょう」	PPT 発表原稿、模造紙、ペン
10分	グループ	〈ポスター・発表原稿作成〉	【展開】 〈ポスター・発表原稿作成〉 実習生:各グループでサポートする 各グループの原稿を把握し、活動の進捗を MT に報告する MT:進捗に合わせて時間配分を調整する。練習時間を多めにとる。	
15分	グループ	〈発表練習〉 ・ポスター・発表原稿の両方ができたグループから始める ・発表原稿を音読する ・グループごとに練習する	〈発表練習〉 実習生:正しく発音できているか、グループを回りながら確認する。 1人1文話しているか確認する。	発表原稿
20分	全体	〈ポスター発表〉 ・1グループ3分程度 ・1グループから順番にする ・原稿は持ちながらでいい	〈ポスター発表〉 MT:発表について再度説明する AT:発表するグループのポスターを黒板に貼る MT「発表を始めます。○グループのみなさんお願いします！」 MT:「○グループのみなさん、ありがとうございました！」 リアクションしっかりとる ☆発表しやすい空間作り MT:「続きは3時間目でします」 「これで2時間目を終わります」	模造紙 発表原稿 マスキングテープ

3 時間目

時間	活動形態	学習者の活動	教師の活動	教材・教具
3分	全体		【導入】 MT:「3時間目を始めます」 MT:「2時間目の発表の感想を書きましょう」	PPT
7分	個人	〈感想を書く〉 固定のグループに書く ☆固定のグループ 1グループ⇒2グループ 2グループ⇒3グループ 3グループ⇒4 グループ 4 グループ⇒1グループ	〈感想を書く〉 MT:「みなさん、発表お疲れ様でした！発表の感想を書きましょう」 MT:感想の書き方を説明する AT:1人1枚　付箋紙を配る ☆欠席者がいて、1グループに4人いないグループには AT/実習生	付箋紙
5分	個人	〈書き終わったら書いたグループのポスター周辺に付箋紙を貼る〉	全員:付箋紙を貼るのを手伝う MT:(全員貼り終わったら)「では、みなさん感想を見てください。他のグループのものも見ていいです。」	
10分	個人	〈感想を見る〉 ・実際に感想を見る ・1人1つ付箋を持って帰る	MT:(全員見終わったら)「見終わったら付箋を取りましょう」 実習生:付箋紙を剥がすのを手伝う。1人1枚持っているか確認する。	
15分	全体	〈修了式〉 ・グループ代表1人が前に行く ・修了証をもらう(6人分) →グループメンバーに渡す	〈修了式〉 MT:「今から修了式をします。今から呼ぶ人は前に来てください」 AT:修了証を準備 MT:各グループ代表1名に修了証を渡す→グループ全員分も渡す	修了証
8分	個人	〈アンケート記入〉 Google フォームか用紙に記入	〈アンケート記入〉 AT:紙で書きたい人にアンケート用紙を配布する MT:「どちらかに必ず答えてください」	Google フォーム、アンケート用紙
2分			〈まとめ〉 MT:「これで5日目を終わります。5日間ありがとうございました。」	

学習者アンケートの結果

- この五日間は全部面白くて、楽しかったです。
- 素晴らしい学習でした。先生方全員に感謝しています。来年また参加したいです。
- 皆の前で発表することができて、いい経験になりました。
- 自分たちで発表を作ることは、達成感がありました。
- みんなの発表が素晴らしかった。
- 発表は緊張したが、楽しかった。

5日目のふり返り

最終日はポスター発表に向け、決まった時間でポスター制作、発表原稿の作成、発表練習という3つの活動に取り組む必要がありました。したがって、時間配分が最も重要な一日となる一日でした。当日は写真撮影の影響で予定していた時間通りにはなりませんでしたが、3つの活動とも教師・学習者ともに納得のいくものにできたと思います。

また、5日目は「発表活動に取り組むだけでなく、それに対するフィードバックを学習者に感じてほしい」を目標に教案を作成しました。3限終了後、感想の書かれた付箋紙を受け取り、嬉しそうな表情を浮かべる学習者を実際に見て目標を達成できたと実感しました。

5日間の授業のまとめとなる修了式では、修了証を渡したあとに数名に感想を言っていただきました。みなさん日本語で感想を言ってくださり、心から楽しかったという気持ちが伝わってきました。

１時間目

- 今日のMain Teacherは、西村穂香（ほのか）です。
- 今日のAssistant Teacher　は、
  深田琴音（ことね）と　廖鳳君（りんご）です。

学習目標

・今までの学習で学んだことを通して、グループで意見を考えましょう

・グループでポスターを作って、発表しましょう

ポスター発表のテーマ



健康な食生活で大切なことは何ですか？
(您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢?)

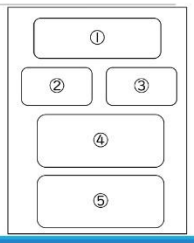


グループで話し合って考えます！

ポスター発表に必要なこと

①タイトル(標題)
②グループ番号：１～４グループ
③グループのメンバーの名前
④テーマに対するグループの意見
⑤その意見にした理由
⑥絵、図





中文OK

ワークシートA(學習單A)

①「健康な食生活で大切なこと」を、
　１人１つ、付箋に書きましょう
　２つ目を書いてもいいです！
②意見の似ている付箋を近くに貼りましょう
☆今から１０分書いて、貼ります



日本語で書きます

ワークシートB



①発表のタイトルを書いてください
②健康な食生活で大切なことは何ですか？
　グループで意見を１つ、枠に書いてください
③なぜ、その意見を書きましたか？
　理由を２つ書いてください

ポスターと発表原稿を作ります

☆ポスターと発表原稿を作りましょう
(來製作海報和發表原稿吧)
☆Voice Traを使ってもいいです
☆困ったら先生たちに聞きましょう
☆今から１０分で作ります



２時間目

発表の練習をします

☆発表原稿を声に出して読みましょう

☆グループで発表の練習をしましょう



発表原稿



①今から(　)グループの発表を始めます。
　よろしくお願いします。
②タイトルは○○○○です。
③健康な食生活で大切なことは○○○○だと思います。
④理由は(　)つあります。１つ目は○○○○からです。
⑤2つ目は○○○○からです。
⑥これで(　)グループの発表を終わります。
　ありがとうございました。

発表の練習をします

☆少なくとも１人１文、話しましょう
　(每個人至少要說一句話)
☆発表の時間は、１グループ３分です
　(發表的時間為一組三分鐘)
☆練習の時間は、今から１５分です



発表をします

☆発表の時間は１グループ３分です
☆大きな声で読みましょう！
　(大聲讀出來！)
☆発表原稿を持ってもいいです
　(拿著發表原稿也可以)



３時間目

付箋に感想を書きます

①グループ番号

②感想

①グループ番号
　感想を書くグループの番号を
　書きましょう
②感想
　感想を書きましょう



感想を書きます

中文日文OK

１グループの人 ➡ ２グループ
２グループの人 ➡ ３グループ
３グループの人 ➡ ４グループ
４グループの人 ➡ １グループ



感想を見ます

☆感想を見ましょう
☆他のグループの感想を見てもいいです
　(也可以看看其他小組的感想)
☆見終わったら、感想を取りましょう
☆ワークシートBの裏に貼りましょう



修了式

３時間目はこれで終わりです！

５日間ありがとうございました！

5日目　ワークシートＡ

「健康な食生活で大切なことは何ですか？」

（您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢？）

8月28日(水)

____グループ　名前_____

〈グループで出た意見〉

☆意見を付箋に書きましょう。中国語でいいです。

書いたら、付箋を枠に貼りましょう。

（請在便利貼中寫下意見。用中文寫也可以。寫好之後，請將便利貼貼在框裡。）

5日目　ワークシートＢ
「健康な食生活で大切なことは何ですか？」
（您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢？）

8月28日（水）

＿＿グループ　名前＿＿＿＿＿＿＿＿

☆ポスターは日本語で書きます。

ポスター発表のタイトルを枠に書いてください

（請在框裡寫下發表海報的標題。）

☆発表原稿を後で渡します。発表原稿は日本語で読みます。

⑴健康な食生活で大切なことは何ですか？

グループで意見を1つに決めて、枠に書いてください。日本語で書きます。

（您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢？請小組決定一個意見後寫在框裡。）

（例）健康な食生活で大切なことは、（　　）だと思います。

（您覺得健康的飲食生活中，最重要的是（　）。）

5日目　ワークシートＢ
「健康な食生活で大切なことは何ですか？」
（您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢？）

8月28日（水）

⑵なぜ、その意見を書きましたか？理由を2つ枠に書いてください。

（為什麼會寫下那個意見呢？請在框裡寫出２個理由。）

（例）理由は2つあります。

1つ目は（　　）からです。

2つ目は（　　）からです。

（理由有２個。第１個理由是因為（　）。第２個理由是因為（　）。）

1つ目： 2つ目：

☆他のグループからもらった感想の付箋を下に貼りましょう。

（從別的小組拿到的感想便利貼，請貼在下面。）

初級2クラス　5日目　ポスター発表に必要なこと

「健康な食生活で大切なことは何ですか？」

「您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢？」

8月28日(水)

____グループ　名前_____

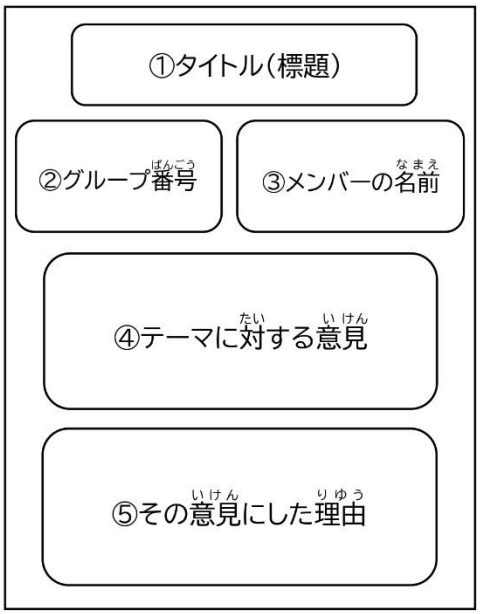
①タイトル(標題)

グループの意見がわかるようなタイトルを考えましょう。

(想一個能夠反映小組看法/意見的標題)

☆ポスターにタイトルを書いてください。
(請在海報上寫上標題)

【レイアウト】



②グループ番号

☆自分のグループの番号を書いてください。
(請寫下自己的組別)

③グループのメンバーの名前

☆自分のグループの人の名前を書いてください。
(請寫下自己組員的名字)

④テーマに対する意見

(例)「食生活で大切なことは○○だと思います。」

☆グループで1つの意見を決めて、書いてください。
(在小組中決定出一個看法/意見, 並寫下它)

⑤その意見にした理由

なぜ、その意見が健康な食生活で大切なのかを考えてください。

☆少なくとも2つ考えましょう。(最少想出兩個)
(例)「理由は2つあります。1つ目は～からです。2つ目は～からです。」
(例)「理由有兩個。第一個是因為～。第二個是因為～。」

☆ポスターに書いてください。(請在海報上寫下來)

⑥絵、図

☆ポスターにイラスト(絵、図)を描きましょう。

5日目　発表原稿
「健康な食生活で大切なことは何ですか？」
「您認為健康的飲食生活中最重要的事是什麼呢？」
8月28日(水)

☆発表原稿を書きましょう。(請寫下發表原稿。)

①今から(　　)グループの発表を始めます。
　よろしくお願いします。
②タイトルは(　　)です。
③健康な食生活で大切なことは
　(　　)だと思います。
④理由は(　　)つあります。
　1つ目は(　　)からです。
⑤2つ目は(　　)からです。

⑥これで(　　)グループの発表を終わります。
　ありがとうございました。

☆誰がどの番号の言葉を言うか、決めましょう。必ず1人1つ言いましょう。

（請決定誰要負責說哪一個小項目，每個人都一定要說一個。）

☆他に言いたいことがあれば、⑤と⑥の間に自由に書いてみましょう。

（如果還有其他想說的理由，請寫在⑤和⑥之間的空白處。）

アンケート集計結果
（初級二クラス）

最終問卷回饋結果

回答人數:16 人

1. 發表的難易度（発表の難易度）

簡單 （易しい）	稍微簡單 （やや易しい）	剛好 （ちょうどよい）	稍微困難 （やや難しい）	困難 （難しい）
1 人	0 人	15 人	0 人	0 人
6.3%	0%	93.8%	0%	0%

2. 發表後的感想(発表の感想)

很好的經驗。很開心(とてもいい経験です。楽しかったです。)
緊張でも、楽しかったです
這 5 天都很有趣、開心(この五日間に全部面白くて、楽しかったです。)
日文的瞭解更多(日本語についてもっと勉強しました。)
我覺得很好，因為除了能複習之前所上的內容，還能練習日文口說。(いいと思います。なぜなら、前回の授業の内容が練習できるだけなく、日本語の話す能力も練習できるからです。)
今から日本語を勉強しなければなりません
みんなのはっぴょうすばらしいです。
面白かったです
和朋友一起學習很快樂(友達と一緒に勉強することは楽しいです。)
上課的內容豐富性及動畫生動，記憶深刻(授業の内容は豊かで、動画も生き生きしいです。記憶が深いです。)
来年またきたいです。
日本の先生と学生さんたち、わざわざ台湾へいって、おしえてくれました。ありがとうございます。

3. 「健康な食生活」というテーマは満足しましたか（對於「健康的飲食生活」這個主題還滿意嗎？）

不滿意 （不満）	不太滿意 （やや不満）	普通 （どちらでもない）	還算滿意 （やや満足）	滿意 （満足）
0 人	0 人	0 人	1 人	15 人
0%	0%	0%	6.3%	93.8%

4. どの日の授業が一番満足しましたか（最滿意哪一天的課程？）

第一天 （一日目）	第二天 （二日目）	第三天 （三日目）	第四天 （四日目）	第五天 （五日目）	無 （なし）
0 人	1 人	3 人	4 人	8 人	0 人
0%	6.3%	18.8%	25%	50%	0%

5. 前の質問について、満足した理由は何ですか（承上題，滿意的理由是？）

很開心。有收獲(楽しいです。収穫があります。)
可以練習上台發表，累積經驗(皆の前に発表の練習できて、経験を積みます。)

一起製作海報(一緒にポスターを作るからです。)
自己做報告有成就感(自分で報告を作ることが達成感があるからです。)
有遊戲互動(ゲームのやり取りがあるからです。)
瞭解很多(もっと勉強しました。)
日本の生活文化紹介内容が豊富
學習方式很有趣(学習の方法は面白いからです。)
健康のためについて感想することを発表した
自身に大切だからです
いい情報です
對食中毒有深入的了解，受益匪淺(食中毒についてもっと理解して、いい勉強になりました。)
重視非常時期事先儲備食物是必需的(非常食を備蓄することを大切にしているのは必要です。)
非常食の意味はしっかり明瞭してます。

6. どの日の授業が一番不満でしたか（最不滿意哪天的課程？）

第一天 （一日目）	第二天 （二日目）	第三天 （三日目）	第四天 （四日目）	第五天 （五日目）	無 （なし）
0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	16 人
0%	0%	0%	0%	0%	100%

7. 前の質問について、不満な理由は何ですか（承上題，不滿意的理由是？）

ないです
每天的課都有特色，很喜歡(毎日の授業全部特徴があって、好きです。)
都很棒(全部は素晴らしいです。)

8. 五日間を通して最も印象的な活動授業の内容/活動は何ですか（五天下來印象較深的課程內容/活動有哪些？）

最後の日のポスターはっぴょうです
第五天(五日目)
讓我們試吃日本的緊急糧食(日本の非常食を試食させてくれることです。)
海報的製作(ポスターの作ることです)
分組討論/試吃永久食(グループでの討論／非常食を試食することです。)
報告、食物遊戲(報告、食べ物ゲーム)
非常食物的介紹(非常食の紹介)
超保存食
對非常食保存期限的了解(非常食の保存期限について勉強しました。)
学校の給食
日本の給食とバランスのとれた食事
小組討論後報告(グループに討論した後の報告)
3 日目(食物的保存和管理)
非常食及食中毒，因為本身對這類的題材缺乏常識，透過這次的上課內容，受益匪淺(グループに討論した後の報告)
5 日目はいいです
最後のポスター活動は素晴らしいで、おもしろいです。

9. 五日間を通しての感想（五天下來的感想）

日文進一步。多了解日本文化（日本語が進歩しました。日本の文化を理解しました。）
活動很棒，時間安排的很好，明年有機會的話，還會來參加！先生方、お疲れ様でしたー♡（活動が素晴らしいです。授業のタイミングがちょうどいいです。来年機会があれば、また参加します。）
開心（楽しかったです。）
對食物瞭解更多，也認識不同年齡的朋友（食べ物についてもっと勉強しまして、違う年齢層の友達にも出会えました。）
感謝各位老師的指導，讓我收穫頗多，很棒的營隊，明年也會想繼續參加（ご指導ありがとうございました。たくさんの収穫がありました。素晴らしいキャンプです。来年も引き継ぎ参加したいです。）
能來參加這個活動覺得很開心，學習到很多的知識（この活動に参加することができてとても嬉しいです。たくさんの知識を勉強しました。）
面白いと楽しいと思います
有趣的學習老師的熱心讓人對日語及日本文化更有興趣（面白い学習と熱心な先生で日本語と日本の文化にもっと興味を持っています。）
新鮮なくておもしろい授業です
5 日コースは、健康な食生活についてたくさん学べて、とても楽しかったです。先生方の日々のご指導に感謝します。ありがとうございました。
楽しく勉強しました。
非常感謝老師們對教材的搜集，透過動画，講義等（動画やプリントなどで教材を集めてくださった先生方にとても感謝しています。）
満足です。来年のテーマは旅行はどうですか。

10. 来年も参加したいですか（明年也會想參加）

不想參加 （したくない）	不同意也不反對 （どちらともいえない）	想參加 （したい）
0 人	1 人	15 人
0%	6.3%	93.8%

11. 周りの人に勧めたいと思いますか（會想跟身邊的人推薦嗎？）

不想推薦 （勧めたくない）	兩者都不 （どちらともいえない）	想推薦 （勧めたい）
0 人	1 人	15 人
0%	6.3%	93.8%

12. 提案や意見など（任何提案或意見）

繼續支持（応援を続けます。）
可以再套入更多文法及單字的解釋，加深印象！（もっと文系と単語の説明を増やしてほしいです。印象を深めます。）
多班但每班人數少一點（20 人以下）（クラスが多くてもいいですが、各クラスの人数が少なくてほしいです。（20人以下））
這個活動的天數可以再長一點（この活動の日数がもっと長くなってほしいです。）
いろいろな日本のお祭り紹介してください
グループで話し合うときに、1 つだけ答えが必要なら、解答用紙は 1 枚でかまいません。
期待每小組固定一位日本老師參與討論（各グループに一名ずつ日本人先生の話し合い参加を期待しています。）
来年、日本語上級クラスを開講してほしいです。先生に提案します。ありがとうございます。

實習生心得與反思

日本語キャンプの振り返り

曾品晶（東海大学）

今回の日本語キャンプに参加できて、本当に良かったと思います。最初は、ただ夏休みにダラダラ過ごしたくないのと、日本語を練習したいという理由でこのキャンプに参加しましたが、予想以上に多くのことを学びました。また、これから努力しなければならないことも知りました。

今回の実習では、日本語を話さなければならないので、最初はとても緊張しました。「もし日本語を話して、日本人に分かってもらえなかったらどうしよう…」や「間違った日本語を使ったらどうしよう…」など、いろいろな不安がありました。しかし、今回の実習を通じて気づいたことがあります。それは、いろいろな心配をする前に、まず話さなければ他の人は私の言いたいことを分からないということです。下手な日本語や間違った文法でも構いません。まずは口を開いて話してみることが一番大切です。おかげで、私は以前より日本語を話せるようになりました。また、今回の実習で感動したこともあります。それは、今まで授業で勉強した単語や文法を使って、本当に日本人とコミュニケーションができたことです。自分の頭の中の考えや言いたいことを日本語で話せるのは、以前の私には考えられないことです。

一方で、これから努力しなければならないことが二つあります。一つ目は日本語のスピーキング能力です。言いたいことがたくさんあったのに、日本語でうまく伝えられなかったことが何度もありました。「もう少し日本語が上手になったら、うまく伝えられるかもしれない…」という後悔の気持ちを何度も感じました。二つ目は翻訳能力です。今回の日本語キャンプでは「入門クラス」を担当しました。日本語が分からない学習者に日本の実習生の言葉を理解させるために工夫しました。パワーポイントに中国語の翻訳を入れたり、口頭で中国語で説明したりしました。しかし、授業では想定外のことも起こります。いきなり日本語を聞いて中国語に翻訳して話すことや、中国語を聞いて日本語に翻訳して話すこともありました。その時、本当に自分の力不足を感じて、翻訳の難しさを改めて実感しました。将来は翻訳の仕事をするかどうかはまだ分かりませんが、いつか翻訳能力を向上させたいと考えています。

今年の夏休みはとても充実しました。夜遅くまで教具を作ったり、プリントを印刷したりしました。その中で、教師の大変さを知りました。また、日本の実習生と一緒にご飯を食べたり、おしゃべりしたりして、仲良くなりました。日本語キャンプに参加して、疲れましたが、とても楽しい経験でした。ありがとうございました！

日本語キャンプ

佐藤和（甲南大学）

5月に行われた顔合わせにミーティングから始まり、夏休みの怒涛のクラス別ミーティングを経て、漸くスタートを切った台湾での教壇実習。私は、学習者のほとんどが日本語未学習の入門クラスを担当した。

実際に授業をすることで気づく事が多々あった。その中の 1 つは、習熟度の差である。学習者のスタート地点は同じでも、徐々に習得度合いに個人差が現れた。差が生まれること自体は問題ではないのだが、グループワークでの習熟度に差がある学習者への対応が課題となった。結局、実習生の 1 人がフォローにまわり、ほかの学習者にはペアワークをさせたり、別の実習生を付けたりして対応した。この課題は5日間通して出てきた。もし今後、今回のように授業をする機会があれば、この課題が出てくることを想定し、その対応策まで考えておくべきだと感じた。

もう 1 つは、授業が押した時の対応である。1 回目の担当授業の時に学習者の何人かは、助詞に疑問を持ったり、発音に苦戦したり、思わぬところでの躓きがあった。そのため、予想より時間が押してしまった。私は少し焦ったものの、予定していたものを飛ばすことで対応できた。しかし 2 回目の担当授業の時は、1 つ前の授業が押してしまったことと事前準備が不足していた事が相まって、かなり慌ててしまった。教師側が焦る事で、学習者や他の実習生に上手く伝わらない。時間が押しても焦らず済むように事前準備を入念にする必要があると再確認した。それと同時に、想定外のことが起こっても落ち着いて対応することの難しさを思い知った。教師というのは常に臨機応変な対応を求められる職業で、そのすごさを痛感した。

今回の実習は、習者自身が学ぶことをモットーに、実際に使用しそうな単語やフレーズを、場面シラバスを基にして教えていく授業を心掛けた。また、知言語識を与えるばかりではなく、文化を学んだり、社会問題についての意見交換をしたりする機会を設けることも意識した。これらの要素も満たしつつ、学習者のニーズを考え、できるだけ楽しい授業を作るのは本当に骨が折れるような思いだった。しかし、その分授業がうまくできて、学習者の上達していく日本語を聴くと達成感でいっぱいになった。

5 日間という時間は、案外長く感じられた。朝から昼まで授業をし、月が皓皓とするまで次の授業の準備をした。毎日の授業も思い通りにいかなかったことがあったものの、たいへん楽しいものであった。1 日 1 日が刺激的で充実していた為に、そう感じられたのだろう。準備・実習中はしんどい思いをすることが多かったが、学習者からの「ありがとう」の一言に救われることがあった。しかし、学習者からの感謝以上に、仲間という存在が私を支えてくれた。いうまでもなく、今回の実習は私 1 人でできたものではない。今回の出会いと経験に感謝し、これからの糧にしていきたい。

日本語キャンプふりかえり

村林芽明（愛知県立大学）

今回の実習を通じて、学習者の視点に立って授業を構成する重要性を深く学ぶことができたと思う。

これまでオンライン会議を重ね、十分に準備を整えたつもりでいたが、実際に授業を進める中で多くの課題が浮かび上がった。特に、学習者個々の習熟度に対し配慮しながらも、授業の進行を滞らせないことが大きな課題であった。例えば、私たちの入門クラスでは五十音が読める人と読めない人、ローマ字に慣れている人とそうでない人が混在しており、その差が授業進行のネックとなっていた。また、学習者の中で 13 歳から 70 代までと年齢の幅も広く、それぞれのニーズに対応する必要があった。自分が学習者の立場だったらどう感じるかを常に考えて授業を作ることを意識することができた。

こうした中で、私たちは受動的ではなく「主体的に学んでもらう」という目標を掲げ、学習者に指示を出しつつ進捗を把握するという、非常に難しいバランスを取る必要があった。授業では一人一人を取り残さないことが重要ではあるが、特定の学習者に集中しすぎて他の学習者を置き去りにしてしまうということが多々起こってしまった。こういった状況はどの教室でも直面する課題だと思うが、今回は実習生が複数いたために対応できたものの、今の未熟な状態の自分一人では到底対処できなかったと感じた。この点は今後の課題としてさらに取り組んでいきたいと思う。

課題を痛感する一方で支援者側を体験しての喜びもあった。最終クエストを通して、短期間ながらも学習者が日本語を習得している手応えを感じた。学習者が自ら五十音表を手に取って調べてくれるようになったり、翻訳機を使って自らコミュニケーションを取ってくれるようになったりと、学習者の嬉しい変化が多々見受けられた。授業内でグループワークやクエストを組み込んだことで「主体的に学ぶ」姿勢が育まれていたということは大きな成果だと思う。支援者が学習者に知識を一方的に詰め込む授業の方が簡単ではあるかもしれないが、自発的に学ぶ機会を提供する方が、学習者の理解や吸収が深まることを実感することができた。

この日本語キャンプは非常にハードなスケジュールで、辛いと感じるときもあった。しかし、学習者が楽しそうに学んでいる姿を見て、準備した甲斐があったと達成感を強く感じている。また、個人的に今回の実習を通して自身語学力の無さを痛感できた。この悔しさをバネにもっと勉強に励んでいきたい。そしてこの貴重な機会をいただけたことに感謝し、今回の日本語キャンプで出会えたご縁を大切にしていきたいと思う。

日本語キャンプを通して

朝岡沙月（愛知県立大学）

日本語キャンプが始まる何日も前からオンラインでグループの方々と話し合い、先生のアドバイスを聞き、何時間も試行錯誤して授業案を練ったため、これだけ考えていれば大丈夫だろうと私は少し高を括っていた。しかしいざ東海大学での実習が始まると、直前に生徒数が変更したり、初級クラスの生徒が私たちの入門クラスに変更したいと希望してきたりと、想像していない面での変更が多々あり、グループワークを中心に授業を考えてきた私たちはグループや生徒の変更に臨機応変に対応しなければならなかった。また、入門クラスの生徒を、年齢などは把握していたが、“日本語がほとんど話せない学習者“としてしか認識しておらず、蓋を開けてみるとローマ字は読めないがひらがなは読める方、勉強したことはないが趣味などの影響から簡単な単語は理解できる方、一切日本語を知らない方など、様々なレベルの学習者がいた。学習者のレディネスを理解することは授業づくりで重要だと十分に習っていたはずなのに、実践でようやくその難しさに気が付いた。急な変更や学習者の様々なレディネスは、その全てを事前に予測し対応できるようにしておくことは難しいが、授業づくりの段階でもっと様々な面から予測しておく必要があると感じた。しかし、このような学習者がいる、という気付きやこの変更にはこう対応したが別の方法があったかも、など感じたことを授業毎に共有して次の授業に生かすことができたと思う。

また、今回の日本語キャンプで、教師が知識を与える授業ではなく、学習者が自ら知識を得ようとする授業が学習者にとって最も意味のある体験になるのではと感じた。私たちは日本語学習に直接関係があるわけではない（授業内容には関係する）アクティビティも頻繁に行い、教室の外で動くような学習方法も取り入れ、学習者が聞くだけにならないような授業づくりを心掛けたが、学習者から動く形にすることで学習者が受け身でなくなり、ゲームのクリアなどのために自分から日本語を使おうとする姿勢が見られた。また、授業の最後にクエスト、MT がゆっくり読んだら復唱する、などのやり方をリピートすることで学習者が授業の流れをつかみ、慣れてくると自主的に動き（復唱してくださいと言わなくてもしてくれる、毎授業の最後に行うクエストのために授業中から単語を覚えようとするなど）スムーズに授業が行えたと感じた。このように、いかに学習者が自分から動きやすいような授業を考えられるか、が授業づくりにおいて難しくもあり重要なことだと学んだ。

実際に初めて自分で授業をしてみて、時間配分がうまくいかなかったり、スライドがフォントや色など細かい要因で見にくくなってしまったり、中国語と日本語の割合が難しかったりと、反省点がたくさんあり授業づくりの難しさを改めて感じた。グループの方々には本当に夜遅くまで沢山迷惑をかけてしまったし、特に東海大学の方々には実習以外の面でもお世話になってばっかりだったが、学習者の方々の感謝の 声や成長から達成感も感じ、私にとってこの日本語キャンプは反省と実りが沢山のすごく貴重な体験となった。今回の学びを国内実習でも活かしていきたい。

日本語キャンプの振り返り

謝欣妤（東海大學）

私にとって、今回の日本語キャンプは大きい挑戦だ。元々はもっと日本人との交流経験がほしいので、このイベントを参加したけど、想像以上に大変だった。キャンプの間に、何度も「どうしてこのキャンプに参加したか」と考えた。諦めたい気持ちも持ったことがあったが、今はこのキャンプを参加させて、よかったと思う。

実習の間に、先生たちの大変さを感じた。授業の内容を考えだけではなく、何を伝いたいとか、どうのような内容が学生の興味に引けるとか、いろいろなことを考えなければならない。もし授業の時、学習者の反応が冷たい、または返事がない場合はどうしたらいいのかと心配したが、5 日間でみんながとても盛り上がって、いい雰囲気を作った。

五日間の授業で、日本人大学生との連携も同じ重要だと思う。中国語がほとんどわからないので、授業にする指示や内容を中国語で学習者に教えたり、学習者の意見を日本語で彼らに伝わったりするのが必要だ。また、授業で突発的な状況もたくさんあるため、臨機応変に対応するのが大事だが、私はこういう状況が苦手で、慌てやすい。課題として、もっと自分の経験を増やして、臨機応変の能力を身につけたい。

日本語の能力以外、ちゃんと自分の意見を話すことも同じ重要だと思う。でも、私にとって、それは一番難しいことだ。小さい頃から、何を話しても家族に否定させたので、自分の考えを話すことに怖がり、だんだんうまく自分の意見を出さなくなった。欠点を直したいこともキャンプを参加する理由の一つだが、教案を討論する時も、反省会の時も、無力感を感じた。「この考えは本当にいいのか」や「この内容を話すのが大丈夫か」など、話す前にいろいろな疑問と不安が出てきて、結局話せなかった。入門クラスのみんなは自分の意見をしっかり持つ人から、彼らの足を引っ張らないように、私が必死に追いつかなければならない。一気に欠点を直すのができないけど、少しずつ前に進むことが感じました。

目が覚めた時、最終日になるといいなと考えたこともあったけど、最後の授業が終わった後、ちょっと悲しかった。とても疲れたが、学習者たちが書いたアンケートを見って、夜遅くまで教具を作ったり、教案を直したりするのがよかったと思う。そして、入門クラスの実習生たちも面白くて、優しい人だ。みんなとたくさんお喋りしたり、ご飯を食べたりして、とても楽しかった。これらのメンバーと出会えて、よかったと思う。

日本語キャンプの振り返り

ジョリーサンスステラ（甲南大学）

私は入門クラスを担当した。入門クラスを選んだ理由は、初めて日本語を学ぶ学習者への指導を経験してみたかったからである。日本語教師としての難しさを承知しての挑戦であったが、予想以上に多くの出来事があった。

台湾に行く前のミーティングでは、授業のテーマがなかなか決まらず、計画を立てるのに時間がかかった。CLIL の方法を用いて日本語を教えるため、どの文法を教えるべきか悩んだ。テーマが決まってからも、内容にアクティビティをどう組み込むかを考えるのが非常に難しかった。フィードバックをもらって案を修正することを何度も繰り返した。また、オンラインミーティングだったため、話し合いがしにくい状況もあった。しかし、時間が経つにつれ、意見を出しやすくなり、入門クラスのチームの雰囲気も和らいでいった。

授業では先生それぞれの故郷に旅行するというテーマに基づき、私は神戸、特に三宮を紹介した。教材を収集するため、実際に三宮を訪れて約 20 枚のパンフレットを集めた。地元の人にはあまり意識されないような点にも目を向け、日本について再学習する機会にもなった。

台湾に到着してからも授業の準備は大変であった。入門クラスでは毎日 3 時間目に「クエスト」を行うため、その内容の再確認やカード作成に夜遅くまで取り組んだ。大変ではあったが、その分チーム内の仲も深まった。夜ご飯を一緒に食べたり、雑談や趣味を共有したりする時間も楽しみの一つであった。このような交流の時間が私たちを強くし、授業での連携もしやすくなった。

本番の授業では、学習者への指導がどこまで通じるのか不安であった。メインティーチャーをしているときは東海大学の学生が通訳してくれたため問題は少なかったが、私一人でグループを担当しているときは言葉の壁を感じた。若い学習者には英語が通じたため、日本語での指示がわからないときは英語で補足したが、高齢の学習者には共通の言語がなく、指導が難しかった。ジェスチャーで伝わることもあったが、他の学習者を通して説明することもあった。学習者の年齢差が大きく、それぞれ異なる対応が必要であると感じた。また、ひらがなを教えるときにローマ字で説明することが一般的だが、私が担当した高齢の学習者はローマ字が読めなかったため、音で覚えてもらう必要があった。これは予想外の課題であった。

この入門クラスの指導経験を通じて、日本語を初めて学ぶ人々への指導には多くの準備と工夫が必要であることを実感した。特に学習者の年齢や背景に応じた柔軟な対応が求められ、一筋縄ではいかない場面も多くあった。しかし、仲間と助け合い、話し合いながら問題を乗り越える中でチームワークの大切さや指導者としての成長も感じることができた。今回の実習で得た気づきや知識を今後も活かしていきたい。

日本語キャンプの振り返り

彭嘉誠（東海大学）

日本語キャンプの一年前から台中の中学校、高校の日本語クラブで初級日本語の講師をやっていて、実習生募集の情報を聞くと、自分にとって勉強になる大きなチャンスだと思って、参加を決めた。

五月から八月はオンラインでのミーティング。顔や動きが見えないから話が止まったり伝えなかったりコミュニケーションをうまくいかないことが多くて、他の実習生との交流も取れないから少し不安を感じた。テーマを決めることや授業計画を立てるのは方向性がわからなくて、模索しながら進めていた。

そして意外に、自分の経験はあだとなった。CLIL教授法の理解が足りてないし、いつも深く考えず授業をデザインしているから、いつものやり方で計画を立てて、入れたいものを全部そのまま入れると、先生からたくさんの改善点が言われた。何度も頭のなかで考え直して通日のミーティングでたくさんの時間をかけて検討した。担当した初日は時間をかかるせいで、四日目と五日目は空白のまま本番を迎え、すごく心配になった。

台湾で対面すると、緊張や心配の気持ちはあるけど、オンラインよりコミュニケーションができることで安心になった。ATがいるの共同授業もはじめて、初日の最初は学習者も実習生たちも緊張して、連携が悪くて指示が明確にできなかったりずっと教室前に立ったりなど上手くできてないところは多かった。しかし、先生のアドバイスを聞いて、リアルタイムに修正してみるとだんだん良くなってきた。

午後からは検討会、そして次の日に向かって教材や道具などを準備。毎日も夜遅くまで会議室で作業。中国語より日本語を話す生活を過ごすのは何年ぶり、思ったことを伝えやアドバイスを話すのは普段の何倍に 頭を使える。大変だったが、これまでのない交流経験ができた。作業しながら雑談して、授業のことに限らず生活経験や趣味などのことを話し合ったり、台湾のことを説明したり、いい思い出になった。こんな密度が高い生活の中で、もし日本の実習生たちは台湾に楽しむことができたらうれしい。

二日目から主にATをやって他の人をサポート。準備のときはきちんと伝えてくれたおかげと、学習者たちとの母語も同じだから特に難しいことは感じていない。予想外のことは、他のクラスから年配の方が移動してきた。中高生がメインから年齢層を一気に広まった。若者より熱情で、スマホの操作や勉強はちょっとなれなくて挑戦になったけど、順調に進めることができ、年配の方に教える方法も勉強になった。最終日は自分のカメラをもってきて、簡単な振り返り動画を作っていい締めができた。

今回の日本語キャンプを通して、自分は先生としてすごく成長ができると思った。授業計画を立てるときの意識や教壇に立つときのやり取りなど、いままで気付かなかったことを勉強した。この経験を生かして四年生の専題研究とそのまえに進めたい。

実習全体の振り返り

呉沛恩（東海大学）

この日本語キャンプは私にとって大きな挑戦であり、今までとは異なる新たな経験を得た。自分も日本語学習者であるため、日本語を学ぶ際にどのような困難に直面し、どこで詰まったのかをよく覚えている。そのため、経験者として初心者にアドバイスを与えることができる。また、授業を行う際にはアシスタントティーチャーとして学習者をサポートしたり、会議では一人の言語学習者として日本人の実習生たちがデザインした授業が適切かどうかを判断する役割を担った。

最初は、初級 1 のレベルでオーバーツーリズムという社会的議題を教えるのは少し難しすぎると感じた。それに、教える旅行に関する語彙や文法がどのようにオーバーツーリズムと関連するのか、工夫が必要だった。しかし、みんながができるだけわかりやすく、ゲーム形式で教えたことでそれを克服できた。同じ日本語を教える授業ではあるが、学科内の授業とは全く異なり、ただ座って聞いているだけではなく、先生とのやりとりや学習者同士の交流が多かった。そのため、教師と学生の関係もより深まったと思う。

この五日間では、笑顔や涙、不満など、さまざまな感情が交錯していた。普段も日本人と交流する機会はあるが、日本語キャンプのように一つの目標に向かって共に努力する経験は珍しいと思う。また、ゼロから授業をデザインすることがいかに難しいかを知ることができた。しかし、最終日には学習者の成長を目の当たりにし、今までの苦労が価値あるものであったと感じた。

この経験を通じて、私は日本語教育の楽しさや難しさを感じた。教えることは学ぶことでもあり、自分自身の日本語能力を見直す機会にもなった。特に、学習者の反応を見て自分も刺激され、最初に日本語を学んだときの気持ちを思い出せた。それから、日本人の実習生とのディスカッションを通じて、異なる視点や新しい言葉を学んだ。この日本語キャンプはたくさんの人と出会い、私にとって非常に有意義な経験だと思う。互いに助け合いながら学ぶことで、より実践的なスキルを身につけることができた。このような環境は、私自身の成長にもつながったと思う。

台湾実習をふりかえって

井上稚葉（愛知県立大学）

今回の実習で、私は初級 1 のメンバーとして活動した。実習を終えて今思うことは「参加することができて本当によかった」ということに尽きる。会ったことのない学生たちとゼロから 5 日間の授業を作りあげるという経験は、私の中でとても大きな挑戦であったし、準備期間中は不安に襲われることもあった。それでも同じチームのメンバーのおかげで無事に乗り越えることができ、この経験は私の大切な財産になっている。

授業準備は６月上旬頃から、オンラインで進められた。「観光とオーバーツーリズム」という大テーマと、各日の担当者は早い段階で決定したが、1 日ごとの内容と、5 日間全体の内容に一体感を持たせることには最後まで頭を悩ませた。私は初日を担当したが、初級 1 は 3 クラスの中では真ん中のクラスであり、最も学習者の日本語レベルが未知であった。そのため、以後 4 日間の授業の難易度を考えるうえで、学習者のレベルを図ることができるような授業を構築する必要があった。それを踏まえ、初日はクラス全体がお互いを知り合うこと、日本と台湾について教え合うこと、オーバーツーリズムについての知識を得ることを目標とした授業を考えた。作成した教案やスライドに渡航直前まで修正に修正を重ねたものの、「うまくできるのだろうか」という不安は消えず、さらにオンライン会議のほとんどを初日の授業検討に割いていたため、なかなか先に進めない状況にもどかしさを感じていた。しかし、チームのメンバーが作業を分担してくれたり、内容や表現の難易度を指摘してくれたりしたのを通じ、授業は 1 人ではなく、全員で作るものだと改めて思い直した。

授業当日は、学習者が声を出して学習したいこと、1 つの活動をするだけでも時間がかかることなど、教案を組む際には分からなかった、想定外のことが起こり、準備していた内容全てを披露することはできなかった。教案はあくまで「案」であり、教室の状況に臨機応変に対応し、学習者とともに完成させるのが授業なのだと痛感した。活動内容や時間をその場で変更しながら授業をするのは大変ではあったが、準備した内容に優先順位を付け発表したからこそ、重要だと思う内容に時間をかけて説明できたのではないかと思う。

5 日間の授業では、文字を書くよりも話す活動を多く行った。それは初日の授業で得た気づきからでもあったが、私たち日本の大学生が台湾に来たからこそできる活動を行いたいとチームで考えたからでもある。初日の 1 時間目には教師側にも学習者側にも緊張した空気が流れていたが、5 日目の修了式ではともに別れを惜しみ、涙を見せるメンバーも続出したほど距離が縮まった。教師と学習者としてだけではなく、1 人の人としてお互いのことを話しあってコミュニケーションをとることで、机に向かっているだけでは得られない楽しさを学習者が感じていたらとても嬉しいし、2 ヶ月間一生懸命準備してきた甲斐があったといえるだろう。

最後に、初級 1 のメンバーと学習者には実習中とてもお世話になった。東海大学の学生が話す日本語の流ちょうさと、学習者の学習意欲の高さと積極性には驚かされてばかりだった。「生涯学び続ける」という台湾の方の姿勢を肌で感じ、毎日がとてもよい刺激になった。今回の貴重な機会に感謝しつつ、出会えたご縁をこれからも大切にしていきたい。

実りある日本語実習

豊岡菜帆（愛知県立大学）

実習を通して他言語を学ぶこと、多国籍の人と交流することの意味について改めて考える時間となった。英米学科に所属しており、常に自分が言語を学ぶ側にいたが、今回の実習は初めて大人数の学習者の人たちに言語を伝える側になった。実習を行う前は他言語を学ぶことのゴールは自分の言いたいことが言葉で伝えられる、伝わることだけだと思っていた。アメリカ留学の経験から完璧な言語ではなくても人と会話、コミュニケーションがとれるというのは理解していたが、自分がいざ支援者になると、話せるようになってほしい、支援者、教師側が1から10まで手トリ足取り教えなきゃと思っていた。しかしこの実習では、言葉だけじゃないコミュニケーションの仕方、教師と学習者のやりとりだけではなく、学習者同士が相互で助け合う大切さを学びんだ。

私たちのグループのテーマは「観光とオーバーツーリズム」という初級1のクラスにしては難しいテーマであった。日本旅行が好きな台湾の人たちに教えるようなテーマではあるのかと多くの議論を交わした。正直納得のいっていないメンバーもいたことは理解していたが、ネットではあまりでてこなく、自分たちが住んでいる、訪れているからこそわかる現実を伝え、台湾と日本を比較しながらも旅行者、住民がどうするべきなのかを一緒に考えていきたかったため、私はこのテーマをおした。挑戦的なテーマであるという意見を多くの先生からも受け、不安であったが、初級1のメンバーの多様な意見のおかげでよい授業が出来たと思う。私たちは最終日の課題として、日本のオーバーツーリズムに調べ、解決策を考えるというものを提示した。4日間で注目した地域ではなくてもいいとしたところ、授業では教えていない日本のオーバーツーリズムについて発表したチームが2つもあり、自分たちが伝えたかったことが学習者の人に届き、新たな知識を逆に教えてもらうということに繋がった。この経験は今までの教室づくりの考えを変えてくれたものであった。

また言語教育というのは決して生徒と教師という教える側などがはっきりしているものではなく、相互に刺激しあい学びあうものであるなと感じた。それは世代間の中やチーム内で起こり、予期せずチームの中で教えあう環境が出来ており、また若い世代から高齢者世代へと授業のなかで自然と助け合う雰囲気が出来ていた。自分たちが一つ一つやってほしいことを提示するのがいいのではなく、一人ひとりが自分たちで考え、動け状況ができるように仕掛けをちりばめられている教案作り、教室つくりが大事なのだと学んだ。

また授業のなかではポスター作りを活動の一環に入れた。それまでなかなかグループに馴染めなかった人や、日本語に自信がなく言葉を発しなかった学習者の方たちが、絵を描くことや、日本語の書き方を積極的にネットで調べ始めるなど、自分が想像している以上にグループ内の人間関係の変化や、一人一人の特性などをみることができた。この嬉しい発見はのちの授業にも活かすことができ、教室作成は試行錯誤であると感じた。

準備と授業で大変な 5 日間であったが、それ以上に自分の中で学びと楽しさを得る時間となった。授業最終日に日本語で感謝の言葉を伝えてくださった際には、たのしんだ気持ちが伝わり涙がでてしまった。5日間で学んだことをこれから行う日本語教育だけではなく、自分の人生にも活かしていきたい。

台湾での日々

蓮井明莉（甲南大学）

日本語教師の教壇実習である東海大学の日本語キャンプから二ヶ月ほど経ちましたが、今も私の中で非常に大切な大きな思い出として残っています。台湾で送った日々はとても学びのあるもので、毎日が新鮮でした。そしてそれは初級Ｉクラスの方々がいなければ成り立たなかったものだと思います。皆一人一人が大変な中で、優しく自分を支えてくれたことは本当に実習の励みになりました。

私にとって初めての教壇実習でしたが、学ぶ気持ちにおけるコミュニケーションの大切さを特に実感しました。学びのモチベーションにおいて人との交流はとても大きな影響をもたらすと思います。自分自身、3日目の教壇実習を進める際に学習者の方とのコミュニケーションを２日目まで取った状態で行ったため、そのアットホームな空気感が大きな心の支えとなりました。また、オンライン上での会議と対面で行なう会議は全く別のものだと感じました。やはりフェイス・トゥ・フェイスの円滑でフレンドリーなコミュニケーションは人間関係の何においても欠かせないツールなのだと思います。

そして、たくさんの人が教壇実習に向けて試行錯誤し頑張っている姿を見ていると、より自分の未熟さを実感しました。私の教壇実習の計画は前日までに完成しておらず、本当に皆さんの協力がなければ達成できなかった目標だと感じます。学習者の方の笑顔、愛知県立大学・東海大学の方々の支えがなければ、私は実習を終わらせることができず日本に帰れなかったのではないか、とふと思います。こんな私を支えていただいた皆さんには感謝しかありません。東海大学の方が連日頼んでくださったテイクアウトのタピオカミルクティーの、あの味の優しさは普段では得られないものです。色々な方々に助けられ支えられ、国境を越えて人の暖かさが身に染みた約十日間でした。

長いのか短いのか、２ ヶ月経った今でも台湾の街並みや夜の空気、皆さんの素敵な笑顔が頭に浮かんできます。このようにして得たたくさんの思い出は今でも私の心の中に深く残っており、私は街でその片鱗を見かけるとすぐに「これ、台湾」など口走り、そのため友人からはまた言ってるんだねという評価を受けています。この思い出は約十日間で終わるものではなく、一生引きずって老後の語り草になることには間違いありません。台湾の皆さんもあの空気も、あの原付もあの奶茶も、全部日本にはないのだなと思うと、次に台湾に行く日が既に待ち遠しいです。学習者の方を含め初級１クラスの面々に出会えたことは、私がこの道で日本語教員の資格取得を選んだことにおける大きな成功体験です。

そして、力を合わせて国外で教壇実習を行うという貴重な経験をさせてくれた皆さんには心からありがとうと我愛你と伝えたいです。

最後に、大好きな初級Ｉクラスに精一杯の感謝を込めて…

忘れられない経験

黄妍欣（東海大学）

大学二年生の時に、甲南キャンプの説明会と先輩たちの話を聞いて、ずっと参加したいと思っていました。でも、張先生が「このキャンプはとても大変で忙しいですが、頑張ればたくさんことを学べます」と言っていたので、少し心配でした。二年生の時は、自分の日本語の能力に自信が持っていなくて、参加しませんでした。でも、今回は友だちの応援と北海道 SL での経験をおかげで、挑戦することにしました。今では、それが正しい判断だったと思います。

キャンプの準備は 5 月末頃から始まり、ポスター作成やミーティングなど、何もかもが未知で非常に緊張していました。ミーティングのとき、teams のcc字幕を使って、みんなの話についていきましたが、先生やグループのメンバーはとても優しくて、私たちが話すのがゆっくりでも待ってくれて、わかっているかどうかも確認してくれました。そのおかげで、たくさんのミーティングでも安心して参加できました。本当に感謝しています。

教案を作る時は、たくさんの問題がありました。例えば、大きなテーマを決めた後、5 日間の授業をどうやって作るかや、文法をどう入れるかなどです。特に授業のレベルをどう決めるかが大変でした。申し込みの時にアンケートをしましたが、みんなさんの日本語のレベルが違っていたので、教案の難易度を決めるのが難しかったです。でも、野々口先生のおかげで、教案を完成させることができました。

甲南大学や愛知県立大学の学生が台湾に来てからは、さらに教案の設計、検討、修正に取り組みました。東海大学の私たちは、主に教案の設計や意見交換、授業当日の通訳支援などを担当しました。皆が真剣に取り組み、互いに助け合っていたので、毎日とても疲れましたが、それ以上に充実感と楽しさがありました。初級1クラスのメンバーたちと一緒に準備を進められたことは、本当に幸せな経験でした。

5 日間のキャンプで、いろいろな年齢の学生と話すことで、彼らの学ぶ気持ちや優しさが感じしました。このキャンプはとても大変でしたが、心が満足しています。異文化の人と話す時には、お互いを理解して助け合うことが大切だと学びました。そして、授業を作ることや教えることがどれだけ大変かもわかりました。でも、みんなで協力すれば、どんな問題も解決できると思います。最後に、初級1のメンバー全員と野々口先生に感謝します。皆さんのおかげで、この大切な思い出を作ることができました。

台湾実習を通しての学び

梶井万葉（甲南大学）

台湾での実習の10日間は発見と学びの日々だった。特に、5日間の授業を1からチームで作り上げることの大変さ、コミュニケーションをとる大切さを感じた。

台湾で実習を行う2ヶ月ほど前から授業の準備は始まった。兵庫、愛知、台湾の学生が参加し一つの授業を作るためミーティングは夜にオンラインで行われた。授業形態が CLIL だったため5日間全体のテーマと伝えたいこと、1日ずつのテーマを全体で決めた。私たちのクラスは「観光とオーバーツーリズム」というテーマに決まった。しかし、私の外国語教師のイメージは「学習言語の授業を受けることでより好きになってもらう」というものだった。そのため、私たちのクラスの「オーバーツーリズム」をテーマとすることは外国人にする授業として適切なものなのかと、とても心配していた。自分の価値観だけで授業を作ることはできないため、チームの意見のすり合わせがとても大切だと感じた。私は夜に用事が多くあまりオンラインでのミーティングに参加できないことが多かった。また、私は4日目の教案担当だったのだが、初日2日目3日目の教案によってつながりを出すために授業内容をいつでも変更できるように台湾に行くまで教案をあまり詰めることができなかった。チームの人との考え方のギャップと完成していない教案に不安を覚えながら台湾に入国した。

台湾で実際にチームのメンバーと会って授業の話やいろいろな話をした。そのときに、オンラインでのミーティングでは分からなかったメンバーの考え方が分かり、私の考え方にも変化があった。テーマは「オーバーツーリズム」でも伝え方を工夫すれば外国人にもうまく授業できるのではないかと思い、教案を考えた。また、私の割り当てられた授業は自分一人で作らなければならないと思い込みいっぱいいっぱいになっていた。しかし、チームで作っている授業なのだから、たとえ一日だとしても自分一人で作ろうとしているから、他の人のつながりがうまくいかないのだということに気づいた。そこからは、チームのメンバーに意見を求めたりワーク作りを手伝ってもらったりと正しい協力の求め方を学んだ。

4日目の MT 当日、とても緊張の中教壇に立った。元々、大人数の前に立って発言することがあまり得意ではなかったため、緊張で授業内容が全て飛びそうになった。しかし、1～3日間で沢山コミュニケーションをとって仲良くなっていた学習者の皆さんに私らしい授業をしたら良い、頑張ってと声をかけてもらい緊張がとけた。そこから、1～3日を通して学んだ学習者の皆さんのレベルやどのようなことに興味を示しているのかなどを考えた授業の進め方ができたのではないかと感じた。私の授業の終わりに、「このアクティビティーが楽しかった」や授業で教えたことのより詳しいことを聞きに来てくれる人もおりとてもやりがいを感じた。

チームで何かを作るときに一人で考えるのではなくみんなの意見を聞きそれを取り入れ協力を求めることや授業をより良くするためにコミュニケーションがとても大切だということを2ヶ月にわたる台湾実習で学

ぶことができた。この台湾実習に関わり支えてくださった全ての人に感謝をし、今後の日本語教師の勉強にも生かしていきたい。

振り返り

張家怡（東海大學）

甲南キャンプに色んなことを体験して、初級一のみなさんに出会って、すごくよい活動だと思います。最初このキャンプに参加するかどうかためらっていました。キャンプに参加したら、日本人の大学生と交流できますし、日本語教育は私にとって接触したことない領域ですから、自分を挑戦できます。一方、不安のこともいっぱいあります。人見知りで、それに教案を作るとか難しそうなこともよくあります。最後は、やってみないとどうなるか分からないでしょうという気持ちを持って参加しました。今振り向いて、参加したのが良かったと思います。

甲南と愛知のみなさんが台湾に来るまでに、teams でオンラインミーティングをして、授業のテーマや教案など討論します。初めて教案はどう作ることその難しさを知りました。授業を順調に進むため、細かく作ったほうがいいのも知りました。教案を作る時、一番難しいのはやはりオーバーツーリツムと甲南と愛知のみなさんとのつながりだと思います。単純に有名な観光スポットのオーバーツーリズムを紹介することはこのテーマにする目的が見えませんと先生に言われました。そこに工夫をして、ミーティングをして、この問題を解決しました。

実際に授業をやって、思ったより楽しいと思います。授業を始める前に、初級一の学生年寄りの方が多いので、ちょっと心配しました。授業を始めてから、その心配は余計なことでした。逆に、年寄りの人がいるからこそ、授業の雰囲気が活発になりますし、各クループ内の話し合いもちゃんと進みました。でも、問題点もあります。学生たちはレベルの差があります。例えば、動詞の変化を教えて、わかる人とちょっとわからない人大体見えます。それについて、初級一のみなさんと討論して、解決策を探しています。最後はグループのメンバーを少し変更しました。レベルが違いは相手の隣座れば、授業中やグループ内の話し合いも低い方に手伝いを上げます。こうして 8/23 から、毎日、朝起きて、授業をして、午後にミーティングを再開しました。空が暗くなっても終わりません。明日のプリントを印刷するとか、スライドの修正や翻訳とか、色んなこと準備しなきゃいなりません。毎日疲れるけど、こころは充実でした。

このキャンプで新しいことはいっぱい試しました。名札作成の担当や緊張しやすい自分はアシスト担当として学生たちの前に話すことなど挑戦しました。甲南と愛知のみなさんと出会うこともキャンプでの貴重な思い出は大切にします！

5 日間の台湾実習を振り返って

前川礼奈（愛知県立大学）

実習から 1 カ月経った今も、写真を見返しては思いを馳せる日々を過ごしている。私にとって今回の実習は、日本語教師の楽しさと難しさに気づき、人との出会いに感謝すべき経験となった。

実習に向けて 6 月頃から準備を始めたが、実習開始後に初めて分かることが非常に多かった。例を挙げると、資料のルビの量は適切か、東海大学の学生による通訳はどの程度お願いすべきか、どんなアクティビティが主体的に参加してもらえるのか、といった点である。特に文字の表記に関しては、漢字圏であるということを踏まえ、ひらがなにするとかえって読みづらくなることは気づきであった。また、授業を構成するにあたって、ひたすら情報を提示する授業は時間の見通しが立てやすいが、それが続いては学習者が楽しく参加することができず、主体的な活動と理解が深まるようなアクティビティを意識する必要があることを学んだ。さらに、教室のレイアウトにおいても、意見を出しやすいようなグループ構成、座席の配置を行い、学習者と向き合って授業をより良くしていこうとすることの大切さと楽しさを学んだ。

一方で、日本語の難しさに改めて向き合う機会となった。学習者の方は積極的に質問をしてくださったが、うまく答えられないこともしばしばであった。例えば、「歌が歌えます」と「歌を歌えます」では意味が違うのか、という質問に分かりやすく答えることができず、自分の勉強不足と日本語の難しさを再認識した。しかしながら、教師と学習者という関係であっても、一緒に考えて理解を深めることができるのは日本語教師の面白さなのかもしれないとも考えた。

5 日間の授業のうち、私は最終日を担当し、4 日間の学習者のリアクション、理解の様子を見ながら、復習となるような授業を構成していくことに面白さを感じていた。具体的には、あえて正答率の低かった文法を扱ったり、資料の文章や口頭での説明を最大限学んだ文法を使ったりした。実習前は、学習の集大成となるアクティビティに、制作物を作成する予定はなかったが、2 日目の模造紙を使ったアクティビティに対する学習者の参加の様子から最終日も取り入れることとした。このような点で、日本語教師には学習者に応じた臨機応変さが求められることも学んだ。

実習を通して得た台湾での出会いは一生ものだと感じている。全員が授業を良いものにしようと意見を出し合い、デリバリーしたドリンクとともに毎日夜遅くまで作業をした。実習以外でも、アルバイト先のお店で食事をしたり、大学やバイト、趣味について沢山話をした。最終日の授業後、実習生が一言ずつコメントする時間が設けられた時、私は話すと同時に涙が溢れてしまった。自分でも涙が出るとは想像もしておらず、それだけ大変で、達成感を感じる日々であったことを気づかされると同時に、仲間とともに楽しく頑張った日々が終わってしまうことの寂しさを感じていたように思う。最後に学習者の方からお手紙や台湾のお菓子などをいただき、仲間とともに泣きながら笑って締めくくった 5 日間となった。このような経験と出会いをさせてくださった、各大学の先生方、初級 1 の仲間、学習者の皆さんに感謝を伝えたい。

日本語学習キャンプをふり返って

手塚渚月（愛知県立大学）

日本を飛び出して日本語を教えるという経験をしてみたい。そう思って、この実習に参加しました。しかし、大学で専攻しているのはフランス語で、中国語はあいさつしか知りませんでしたし、台湾に行くのも初めてで、台湾についての知識はあまりありませんでした。このような状態だったため、参加を決めた当初は、自分が教壇に立って授業をしている様子が全く想像できませんでした。

約３か月前から最初の全体会議がオンラインで行われました。もともと私はこういう場面で意見を出すのが苦手で、促されて初めて発言するようなことを何度もしてしまいました。その後複数回にわたって初級2クラスの中でオンライン会議を重ねました。授業テーマや内容を決めるにあたって、「日本の私たちがわざわざ台湾まで出向いてやる意味があるか」を常に考えなければなりませんでした。これを意識して５０分×3の授業の教案を書くのは難しく、何度も修正を重ねました。今振り返ると、私がＭＴをした授業において、最初の頃の教案と当日行った授業では、アクティビティの順番や内容にかなり差があり、苦労して授業を作ったことが思い出されました。

台湾に来てからも、毎日学びがありました。初級2の学習者は、授業中の反応が良く、グループワークなどのアクティビティにも積極的に参加してくださったので、初めて大人数を前に授業する側としては授業がしやすかったです。一方、学習者の中には、グループワークのはずが個人作業になってしまう方もいて、どのように私たちの意図通りにグループワークに参加してもらうかが初級2の中での課題でした。私は３日目のＭＴを務めましたが、１日目と２日目の授業後の反省会で出た意見を基に、配布物をグループで一つにすることで、一つのアクティビティに対して協力する姿勢が生み出され、グループの全員がグループワークに参加するようにできたことが良かったと思います。また、学習者アンケートであったり、授業後の反省会をしたりすることでフィードバックを得られたのも勉強になりました。

そして、私が一番心に残っているのは、授業準備です。３日目の教具である、材料カードやスイーツパラダイスのメニューは、前日の夜遅い時間まで初級2のメンバー皆に協力していただき、画用紙やプリントを切り貼りして作ったものです。突然このような教具づくりをお願いすることになってしまったにもかかわらず、懸命に作ってくださったおかげで、翌日の授業を何とか形にすることができました。本当にありがとうございました。

みんな最初は緊張していましたが、みんなが同じくらいキャンプに向けた熱意や思いやりも持ち合わせていたので、より良いものができたと思っています。初級2のみなさんには本当にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

振り返り

詹佳倩（東海大学）

他の多くの実習生の皆とは違い、私は日本語の先生を目指して今回の実習に参加したのではない。日本語だけではなく、今まで学んだことをこの活動で活かしたいと思ったからだ。この実習で学んだことや反省したいことは多いが、簡潔にまとるため、印象深いことを三つの項目に分類して述べる。

まずは授業中のことだ。私がいった初級二クラスにはお年寄りと若者との人数差が大きかったので、両方が上手くグループ活動できるか心配していた。初日や二日目のディスカッションでは、若い人たちが自分の意見をお年寄りの前に出すのを恥ずかしがり、あまり発言していない状況だったが、五日目の発表準備では全員が積極的に討論していた。しかも経験者の若者たちを中心にポスターを作ろうと、グループで決めていた。このことからみると、学習者たちはコミュニケーションが取れ、協力し合えるようになったことが分かる。もちろん、この結果は先生や皆さんが巡回し、学習者と交流したのが大きな影響を与えたのだと思う。また、私は二日目の授業で通訳していたとき、学習者が言いたいことをしっかり確認できず、緊張していた。結局、最後まで相手の話を聞いてから通訳してしまったのが反省点だ。当日の検討会に東先生から一文ごとに区切って通訳するアドバイスをいただいたので、次からはその方法を意識したいと思う。

次に、授業準備についてだ。ミーティングや検討会では、私はあまり意見を出していなかった。日本語のレベルの不足はさておき、考えが遅いことや発言のタイミングをつかめないことも問題だと気が付いた。

最後に、授業以外のことだ。今回、日本の皆さんを迎える役割を担っていたが、事前準備は不十分でタクシーを手配るのがうまくいかなかった。改善策として、事前にグループ分けをしてもらったり、運転手さんに行き先を書いた付箋を渡したりすればよかったと思っている。

実は、私はこのようなチームワークの欠かせない活動が苦手だが、何もしないと進歩できないと思い、自分への挑戦としてこの実習に参加した。少なくても自分の成長は感じたが、さらに日本語、特に話す力を磨きたいと思っている。そして、他人の助力になれるように頑張りたい。今回の実習では、他者との交流通じて新たな考え方や物事の処理方法を得ることができ、今まであまり接触していなかった分野への理解も深まった。本当に貴重な経験となったと思っている。

実習を振り返って

西村穂香（甲南大学）

台湾での日本語教育実習全体を振り返ってみると、たくさんのことを学べた数か月だったと思います。私にとって、台湾での実習は初体験の連続であり、そのたくさんの刺激の中で自身の成長を感じることができ

ました。数か月にわたる準備段階を経て現地に到着、そして実際に教壇に立つ。この過程でさまざまな人と助け合い、よりよいものを作ろうと奮起しました。ときには悩み、大変なときもありましたがチームの人たちに支えられながら、私なりの授業を作れたと思います。また、授業だけでなく初の海外生活という点で、東海大の方々には本当に助けられ、また愛知県立大の方々とはお互い助け合いながら過ごした数日間でした。

実習1日目から最終日に至るまで、何度も会議した初級2クラスのみなさんには本当にお世話になったなと思います。元々、リーダーシップを取ることが得意とは言えない私ですが、今回は自身の成長のためにチームの会議の司会をしたり、書記をしたりすることにも挑戦しました。うまくまとめられた自信はありませんが、チームの皆さんの気遣いや意見がありがたかったです。また、オンライン会議を経て、実際に会えたときの喜びは今でも忘れられません。

次に、自身の担当した授業を振り返ってみると、満点に近いものができたと感じています。なぜなら、私が授業で実現したいと思っていた事項が達成できたからです。私が担当した最終日の活動はポスター発表でした。ポスター発表のテーマ決めや時間配分は困難で、何度もチームのみなさんに意見をもらいながら修正を重ねました。その中で「学習者の皆さんの学びを第一に考えながら、自分のしたいことを組み込む」ことができ、それは私にとって大きな財産になりました。このような結果になったのも、初級2クラスのチームの皆さんの力、そして学習者の皆さんの協力があったからこそだったと思います。これらを通じて「教師」と「学習者」の信頼関係を実感しました。五日間という短い間でも、このような関係を築くことができるのかと驚きました。

このような貴重な実習に参加し、さまざまな学びを得ることができて本当に幸運でした。実習生の方々、先生方、学習者の皆さんには本当に感謝しています。今後、今回で得たことを別のものに活かせるよう、これからも成長していきたいなと思います。

実習を通して学んだこと

駒橋佑里乃（甲南大学）

初めての台湾訪問で楽しみな気持ちと、無事に授業をやり遂げることができるのかという不安を抱え、台湾を訪れました。この実習のために 6 月から何度も会議を重ね、どのような授業にするか話し合いました。CLIL（内容言語統合型学習）での授業ということと、初級2のクラスは50～60代の方が多いことからテーマ決めに苦戦しました。また、授業の内容を決めるうえで、「日本に住む私たちにしか伝えられないことはなにか」「この活動をすることにより、学習者はなにを得られるのか」について考えて決めることが難しかったです。台湾に着いてからはあっという間でした。日本にいる間に事前準備をしていたおかげで大きな変更点はありませんでしたが、学習者の日本語のレベルや雰囲気など、実際に授業をしてみないとわからないことが

多くありました。

私は 2 日目の「食中毒について」授業を行いました。いざ前に立つと緊張しましたが、東海大學の方々が横について翻訳などのサポートしてくださったので安心して授業を進めることができました。1 日目の反省会で、先にワークシートを配ってしまうと指示する前に始めてしまう学習者が何人か見られたという報告があったため、ワークシートは使う直前に配りました。しかし、それでも先に始めてしまう方がいたため、一枚のワークシートに色々詰め込みすぎず、指示の仕方も工夫した方が良かったなと思いました。また、グループで意見を共有する際、話し合いに参加するグループとそうでないグループで差があったため、改善が必要だと考えました。このような、授業を行っているときに気付いたことは、授業後の反省会で共有をしました。この反省会があることによって、出た意見や改善点を次の授業で取り入れることができていたので良かったです。また、各回の授業後にアンケートに答えていただいたのですが、学習者の方々が嬉しいコメントをしてくださり、励みになりました。

この実習を通して学んだことは「周りを見ることの大切さ」です。初めての授業で、進めることばかり気にしていましたが、学習者の反応を見ながら進めることの大切さを知りました。少し周りを見渡すだけで、学習者の表情や反応が見えるため、「わかりにくかったかな」「ついてこれていないかな」ということがわかり、学習者に合わせて授業を進めることができます。また、学習者から教えてもらうことも多くあり、教師は教えるだけではないことを実感しました。

支えてくださった皆さんのおかげで大きなトラブルもなく、無事に 5 日間のプログラムをやり遂げることができました。終えたときには大きな達成感があり、実習に参加で良かったなと心から思いました。この実習で得た経験や学び、ご縁を大切にしていきたいです。

日本語学習キャンプを通して学んだこと

廖 凰君（東海大学）

私は 2021 年と 2022 年の甲南キャンプのオンライン授業を参加した。楽しくていい勉強になったんだ。それがきっかけで、去年、東海大学の学院生になった。2024 年の日本語学習キャンプは東海大学、甲南大学、愛知県立大学の三つの学校の教授と学生が28人で、東海大学に行った。6月から、日本と台湾がオンラインで、LINE などのメッセージや、Teams などの会議が三か月間続いた。CLIL（内容言語統合型学習）での授業ということと、私の初級2のクラスは年上の学習者が大部分で、日本語を教える側の MT と AT がほとんど若者だ。日本語学習キャンプの活動を通して、異世代間の異文化交流の機会として行われていた。日本から実習生達は台湾の文化を理解するの必要があるので、教材も学習者の習慣や日常などを合わせるのが必要であった。東海大学の私達三人が橋渡しになった。

私はMT として、3 日目の「バランスの良い食事」授業を行った。まだ、AT として、5 日目の「ポスター発表」授業を行った。、MT と AT の両方を体験できて、いい勉強になった。毎日の反省会で、授業の内容が時間内に完成できるのを目標だった。この工夫は教授の適切な補強的指導と皆さんと一緒に考え、台湾と日本が使用する漢字が同じで、そのうえ、意味も同じのを探すことだ。そして、学習者のレベルは初級だから、簡単な意味で適切な教材を作るという毎日の反省会であった。実際に皆さんと一緒に教案を作ったり、教材の材料をしたり、お互いに意見を聞いたり、受けたり、討論をしたり、協力をするという交流の動きも行われた。皆さんのおかげで授業の雰囲気や授業の進め方、色々なものが順調で助かった。授業後のアンケート調査に学習者が嬉しくて、楽しい勉強ができたという色々なプラスエネルギーのコメントがいただいた。すごく励みになった。日本語学習キャンプの活動を参加できて、光栄だと思っている。素晴らしい経験だと思っていた。

今回の経験で、私の能力不足な部分を反省をしている。補強すべきだと思っている。今まで経験したことを再度使い、今後に多元文化交流に役立てると思っている。「日本語学習キャンプ」が、今後も対面でも、オンラインでも、 台湾と日本を繋ぐ架け橋という役割を担い続けることを、心からそのように思う。

東海大学での実習の振り返り

深田琴音（愛知県立大学）

私は初級 2 クラスを担当しました。教案作りから、一つの教室で日本語非母語話者に授業を行うこと等、初めてのことが多く不安がたくさんありました。またオンラインの打ち合わせでは東海大学と甲南大学の方達とはじめましてだったため、全員人見知りを発揮し、なかなか意見がでない場面もありました。しかし最終日にはそれぞれが自分の役割を理解し、より良い授業作りのために全員が助け合える環境へと変化しました。

私たちのクラスは「健康な食生活」というテーマで授業を行いました。教案作りでは、「私たちが授業を行う意味」ということを常に考えていました。3 つの大学の大学生だからできる授業と言う点で、私たちの経験を授業に交える、試食、動画の視聴、教材など様々な工夫を行いました。この工夫は学習者にも有効で、実際に日本で売られている非常食を食べてみるという活動では、ほぼ全員が興味をもって試食をしてくださり、良い経験になったと言っていただけました。また私たちの食事を紹介する動画も前のめりで視聴し、たくさんの質問が出るという有意義な活動となりました。このように自分たちがたくさん悩んで考えた活動が成功して本当にうれしかったです。

一方で実際に授業が始まってみると、学習者が PPT の日本語を書きたいと言われ、予定していた活動時間を過ぎてしまったり、自分たちの日本語の説明が学習者に伝わらず戸惑わせてしまったり、反省点もたく

さん挙がってきました。しかしその都度失敗したところや、より授業の理解度を高めるにはどうしたらよいかと言うことを議論し、改善していきました。そのため、最終日には後悔なく授業を終えることもできましたし、学習者にも食の健康と言う観点から、より学びのある日本語学習になったと思います。

私自身今回一番苦労したことは PPT 作成です。自分なりに学習者の方にわかりやすく作成したつもりでも、逆に説明が多くなり見にくくなったり、うまく活動の指示が伝わらなかったりの可能性を指摘され、何度も修正をしました。また日数を重ねるごとに学習者の特徴や活動の進め方の改善点をでてきたため、そのような点からもたくさんの修正を行ったことが一番大変でした。また私が MT の日には非常食の試食があったため、どう紹介するか、授業を進めると一番興味を引くかということを思考することも苦労しましたが、その努力もあってか何人もの方が「おもしろかった」「楽しかった」とアンケートで回答をしてくださりました。

今回は教壇に立ち、外国の方に授業を行うことの難しさと準備の大変さを目の当たりにできる貴重な経験でした。普段何気なく使用している自身の日本語にも立ち返り、この説明は理解できるかな、この単語や漢字は知っているかな、この文法の使用は避けようなど、日本人と生活するだけでは考えないことにまで神経をとがらせる機会となりました。さらに開催場所も日本ではなく台湾ということで、学習者の住んでいる環境との比較等日本ではできない授業を行うことができました。反対に学習者の方から私自身が得られる学びもたくさんあり、このプログラムに参加することができて良かったです。

台湾の言葉が全く話せず、不安でいっぱいのスタートでしたが、東海大学の学生が様々な面からサポートしてくださったことも本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

振り返り

李妤柔（東海大學）

今回のキャンプはいろいろなことを学びました。もともとは日本語を向上させたいため、このキャンプを参加しました。実際に参加した後、日本語の能力を勉強することだけでなく、教育のことも勉強しました。

最初はオンラインミーティングで教案の準備でした。私の日本語の話す能力はまだまだですから、何を言っているのか理解してもらえるか心配でした。ミーティングで間違いが怖いので、直接に話すことはできませんでした。しかし、このキャンプを通じで、変な日本語を使っても、一番大事なのは伝えたい言葉を伝えることです。

それから五日間の授業が始まり、MT ではありませんでしたが緊張しました。オンラインミーティングとは違う緊張感でした。例えば、私は二日目の AT で、PPT の内容と MT の話を翻訳する役割を担いました。学習者の前に話すことがとても緊張で、間違った翻訳をすると、間違った情報が伝わってしまうのではないかと不安になりました。しかし、緊張していたのは最初だけで、だんだん緊張しなくなりました。そして、ワー

クシートと活動の時間で学習者に手助けを与えることも重要です。自分が話したことが学習者に理解されたかどうかは、私が注意すべきことです。次は教材を準備することは印象が深いです。もともとの三日目のMT は、突発的状況により四日目の MT と交換しました。ですから、教案と教材の準備は急がれるようになりました。皆と会議室で教材用のメニューを切ることは印象が深いです。チームの関係で、突発的状況は完璧に解決したからです。

今回のキャンプはオンラインミーティングから実際の授業までの収穫は参加する前に想像もできませんでした。もともとは主にスピーキングの練習ができると考えていましたが、実際に教案のデザイン、授業で学習者をどのように支援するか、突発的状況に対しての対応策も学びました。私はただの AT ですが、このキャンプを通して先生方の大変さを知りました。どのように学習者を飽きさせずに日本語を学ばせるのは、CLIL の魅力的な部分だと思います。最後は学習者のアンケートの中に今回の授業が満足して今後も参加したいと見ると、嬉しかったです。それは皆の努力が報われました。

実習を終えて

曽田優奈（愛知県立大学）

海外経験が全くなく、かつ人前に立つことを避けてきた私にとって、今回の実習に参加することは大きな挑戦でした。活動を通して、先を見通して指示を出すことの難しさを痛感すると同時に、チームの一員としてどのように授業づくりに貢献できるかを学ぶことができました。

私は 1 日目の MT を担当し、「学校の給食」というテーマで授業を行いました。授業後に行ったアンケートでは満足度が高く、授業中も活発に意見交換をする様子がみられ、手応えを感じました。

一方で、行き当たりばったりで他の実習生の対応力に甘えすぎた授業となってしまい、悔いも残りました。例えば、グループワークの時間が予定時間を大幅に過ぎても次の活動に移るかどうか踏み切れなかったり、説明が分かりづらいと感じたときにその場で突然通訳をお願いしてしまったりしました。他の実習生が各グループの様子を報告してくれたり、快く通訳を引き受けてくれたり、「次は〇〇をすればいいですか？」と聞いてくれたりしたおかげで、落ち着いて授業を進めることができました。

授業中だけでなく、授業前の準備や打ち合わせでも、グループのみなさんに何度も助けられました。教案を一人で作るのは初めてでしたが、オンライン会議で相談すると「とてもいいと思います！」「～はどうでしょうか？」と肯定のことばや複数のアドバイスをもらえて、不安を解消できました。教案の前日の打ち合わせでは、反省点や資料の修正点が多く見つかり、直前までスライドやワークシートの修正や翻訳の追加を行うことになってしまいました。しかし、夜遅くにお願いしても快く翻訳を引き受けてくださったり、日本語学習者の目線からアドバイスを出してくださったりしたおかげで、満足のいく資料を作ることができました。

1日目にMTを経験してから2日目以降にAT等の立場で授業に関わったことで、何をすればMTの負担を軽減できるか、教壇に立っていないからこそできることは何かを意識するようになりました。グループワーク中に各班の進捗を報告し、安心して授業を進められるようにするほか、個別に学習者からの質問に答えたり、学習者の反応を見て補足説明をしたり、前日からの改善点が学習者の理解や参加度につながっているかを確認したりするなど、多くの役割があることに気づくことができました。

全体を通して特に難しく感じたことは、学習者に対してどのように働きかければ負担なく活動に参加してもらえるかということです。MT の説明を聞かずに作業を始めてしまう学習者がいたとき、初日は「聞いてください」を連呼することしかできませんでした。しかし、反省会を経て、ワークシートをアクティビティの直前に配るようにしたところ、書く時間と話したり聞いたりする時間を分けることができました。また、全員に話し合いやアクティビティに参加してもらいたいとき、ワークシートや教材を1人1つではなくグループに1つ用意することで、全員の意識がテーブルの中央に集まり、自然と全員が身を寄せ合って話し合いができる雰囲気が生まれていました。この経験を通して、教師の行動や教材の工夫によって、学習者の心理的負担を減らしたり、授業を円滑に進めたりすることができると分かりました。

チームのみなさんの温かさや細やかな気遣いに何度も助けられ、無事に実習を終えることができました。私一人では決して乗り越えられなかった実りある経験を糧に、これからも成長していきたいです。